

上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会 平成 27 年度の各団体の取組一覧

1 各団体（市以外）の取組 1~22 頁

※「上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」付属資料 個別事業プランリスト
（平成 27 年 10 月 29 日現在）に登載した個別事業 ID 別に掲載

2 上越市の取組 23~36 頁

※「上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における体系別に掲載

3 国の地方創生交付金を活用した事業
（平成 27 年度）の効果検証資料 37~38 頁

※国の地方創生交付金（先行型）を活用した事業の一覧（交付金事業単位で掲載）

【参考：上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略における取組の体系一覧】

政策分野	取組の方向性	体系番号	具体的施策	
A	しごとづくり	1 上越の強みをいかした地域産業の活性化	A-1-1 農・商・工・環連携による新しい上越産品の開発と市場拡大	
			A-1-2 地域資源・地域特性をいかした新産業創出	
			A-1-3 地域産業支援のためのネットワーク強化	
			A-1-4 上越の農業の競争力強化と担い手確保	
	2 観光振興を通じた地域産業の活性化	A-2-1 観光コンテンツの充実と観光関連産業の強化		
		A-2-2 コンベンション誘致による交流人口拡大		
	3 誰もが生きがいをもち働ける環境づくり	A-3-1 キャリア教育の推進		
		A-3-2 若者の就労支援と定着促進		
		A-3-3 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援		
	B	結婚・出産・子育て	1 仕事と生活が調和した社会の形成	B-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進
				B-2-1 若者の自分磨きと交流促進
			2 出会い・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり	B-2-2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
B-2-3 子どもの育ちへの支援の充実				
B-2-4 地域ぐるみの子育ての推進				
B-2-5 上越の子育て環境の魅力発信				
C	まちの活性化	1 多様な地域特性の磨き上げと活用	C-1-1 中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上	
			C-1-2 農山村の暮らしを支える機能の確保と魅力の向上	
			C-1-3 都市のストックの活用促進	
		2 地域活動の担い手確保と活性化	C-2-1 地域活動の担い手確保と活性化	
			C-2-2 まちづくり・地域づくり活動への支援体制の強化	
		3 地域と地域を結ぶつながりの強化	C-3-1 公共交通の利便性向上と利用促進	
C-3-2 地域と地域を結ぶストーリーづくり				
D	UIJターンとまちの拠点性	1 UIJターンの促進	D-1-1 UIJターンの促進	
		2 まちの総合力の強化による求心力の向上	D-1-2 まち・ひと・しごと創生推進協議会推進事業	

【参考：協議会構成団体一覧】

主な活動テーマ	No.	区分	団体類型	団体名	部会(H27年度)		
					しごとづくり部会	結婚・出産・子育て部会	まちの活性化部会
A 協議会会員団体							
産業全般	1	産	経済団体	上越商工会議所	○		○
産業全般	2	産	経済団体	上越市商工会連絡協議会	○		
農業	3	産	経済団体	えちご上越農業協同組合	○	○	○
雇用	4	官	行政機関	上越公共職業安定所	○	○	
農業	5	官	行政機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター 北陸研究拠点	○		
全般	6	官	行政機関	新潟県上越地域振興局	○	○	○
教育	7	学	国立大学法人	国立大学法人上越教育大学	○		○
教育	8	学	大学法人	公立大学法人新潟県立看護大学		○	
金融	9	金	金融機関	上越信用金庫	○	○	○
労働環境	10	労	労働団体	連合新潟上越地域協議会	○	○	
地域自治	11	民	民間団体	上越市町内会長連絡協議会			○
子育て	12	民	民間団体	上越市小中学校PTA連絡協議会		○	
全般	13	官	行政機関	上越市	○	○	○
協議会会員団体の合計: 13団体					10	8	7
B 公募団体							
農業	1	産	民間団体	金谷北地区農村元気会	○		
	2	産	民間団体	上越市中山間地域元気な農業づくり推進協議会	○		○
食	3	産	民間団体	上越発酵食品研究会	○		
	4	民	NPO法人	食の工房ネットワーク			○
環境	5	民	民間団体	雪だるま財団	○		
医療福祉	6	産	民間団体	商工会議所政策委員会(A)【飛田グループ】	○		
金融	7	金	金融機関	株式会社大光銀行	○		○
	8	金	金融機関	株式会社第四銀行	○		○
	9	金	金融機関	株式会社富山第一銀行	○		○
	10	金	金融機関	株式会社八十二銀行	○		
	11	金	金融機関	株式会社北越銀行	○		○
	12	金	金融機関	新潟県信用組合	○		○
観光	13	金	金融機関	日本政策金融公庫高田支店	○	○	○
	14	産	企業	株式会社オアシス	○		
観光	15	産	民間団体	商工会議所政策委員会(B)【謙信公聖地構想】	○		○
	16	産	民間団体	上越観光コンベンション協会	○		
	17	民	民間団体	上越観光案内協会			○
観光	18	民	民間団体	頸城区観光協会			○
	19	民	民間団体	上越ワーキングネットワーク	○		
情報技術	20	産	NPO法人	上越地域活性化機構	○		
産業関連 その他	21	産	企業	東京海上日動火災保険上越支社	○	○	
	22	産	民間団体	商工会議所政策委員会(C)【青年部】			○
結婚・出会い	23	産	企業	平安セシモノー株式会社		○	
	24	産	民間団体	商工会議所政策委員会(D)【女性部】		○	
出産	25	民	民間団体	上越助産師会		○	
子育て	26	民	NPO法人	マミーズ・ネット		○	
中心市街地 活性化	27	民	企業	LLCまちみらい直江津	○		○
	28	産	企業	高田本町まちづくり株式会社			○
	29	産	民間団体	商工会議所政策委員会(E)【大島グループ】	○	○	○
	30	民	民間団体	城下町高田花ロード実行委員会	○		○
	31	民	民間団体	直江津まちづくり活性化協議会			○
	32	産	民間団体	本町3・4・5丁目商店街振興組合連合会			○
田園地域まちづくり	33	民	NPO法人	くびき振興会			○
中山間地域 振興	34	民	NPO法人	かみえちご山里ファン倶楽部			○
	35	民	民間団体	寺野の自然と暮らしサポートセンター			○
歴史資産活用	36	民	民間団体	高田の文化遺産継承実行委員会			○
	37	民	民間団体	Pens Renovation & Planning Organization	○		○
公共交通	38	産	企業	えちごトキめき鉄道株式会社			○
	39	産	企業	株式会社頸城自動車			○
	40	産	企業	北越急行株式会社			○
国際貢献	41	民	民間団体	しゅしゅクラブ		○	○
	42	民	民間団体	新潟青年海外協力隊を育てる会	○		○
情報交流	43	産	報道機関	株式会社上越タイムス	○		○
公募団体の合計: 43団体					24	8	29
協議会会員を含めた団体の合計: 56団体					34	16	36

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の実行内容
A02	上越市商工会連絡協議会	10	特産品開発及び販路開拓による地域産業の活性化と雇用の維持・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○特産品開発及び販路開拓により地域産業の活性化と雇用の維持・拡大を図る <ul style="list-style-type: none"> ・どぶろくを活用した特産品開発と販路開拓事業(牧商工会) ・地域の食材を活用したスイーツの開発と販路開拓事業(大湯商工会) ・地域の食材を活用した土産品開発と販路開拓事業(三和商工会) ・区内特産品の販路開拓事業(名立商工会) 	<ul style="list-style-type: none"> ○どぶろくを活用した特産品開発と販路開拓事業(牧商工会) 地元のどぶろくを素材として開発したスイーツ5品の販売活動を推進。いずれもメイド・イン上越の認証を受け、新たな販路として市内3ヶ所のメイド・イン上越認証品常設販売コーナー及びインターネットショッピングモールでの販売を開始した。 ○地域の食材を活用したスイーツの開発と販路開拓事業(大湯商工会) 一般公募による創作スイーツコンテストを実施。受賞作品の製造・商品化について準備中。 ○地域の食材を活用した土産品開発と販路開拓事業(三和商工会) 地元の栗及び柿を使用した2種類の土産品を開発。販売促進グッズを作成し、東京・表参道にある新潟県のアンテナショップに出展した。さらに、開発した土産品のうちの1品「栗の甘酒」を使った和菓子を会員事業所が開発し販売を開始した。 ○区内特産品の販路開拓事業(名立商工会) 東京・表参道にある新潟県のアンテナショップにおいて物産展を開催し、区内特産品のPR及び販売を行った。 ○農業法人と連携した特産品開発と販路開拓事業(牧商工会) 区内4農業法人と連携して牧区産コシヒカリの食べ比べセットを開発。新潟市や東京・池袋で開催された物産展に出店し、市場調査及び試験販売を行った。
A02	上越市商工会連絡協議会	20	観光客増加による地域産業の活性化と雇用の維持・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客増加により地域産業の活性化と雇用の維持・拡大を図る <ul style="list-style-type: none"> ・食による情報発信事業「上越どんぶり巡り」(上越南地区5商工会) ・上越市道の駅連携事業(名立、安塚、吉川商工会) ・鉄道資源を活用した地域活性化事業(中郷商工会) 	<ul style="list-style-type: none"> ○食による情報発信事業「上越どんぶり巡り」(上越南地区5商工会) どんぶり巡り参加店に他の事業者も加えて「お店巡り・お祭り巡り」のスタンプラリーを実施し、観光客増加を図った。 ○上越市道の駅連携事業(名立、安塚、吉川商工会) 道の駅スタンプラリーを実施し、道の駅への誘客及び特産品購入等の消費促進を図った。また道の駅運営者により産品交流やイベントへの相互参加を継続実施した。 ○鉄道資源を活用した地域活性化事業(中郷商工会) 二本木駅のスイッチバックに着目した旅行商品開発に取り組んだ。また観光ガイドブックを作成し、観光客の利便性向上と観光客増加を図った。
A02	上越市商工会連絡協議会	30	地元購買促進による地域商業活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○地元購買促進により地域商業の活性化と雇用の維持・拡大を図る <ul style="list-style-type: none"> ・地域商業活性化事業 100円商店街(柿崎商工会、大湯商工会) 得するまちのゼミナール「まちゼミ」(吉川商工会) スタンプラリー(浦川原商工会ほか) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「100円商店街」(柿崎商工会、大湯商工会) 地元の商店等を気軽に利用してもらうため、各店が限定の100円商品を用意する「100円商店街」を実施し、地元購買促進を図った。(柿崎商工会は2回、大湯商工会は3回実施) ○得するまちのゼミナール「まちゼミ」(吉川商工会) 地域及び商店のファンづくりを目的として、店主がプロの専門知識やコツを客に無料で教える「まちゼミ」を1回実施し、地元購買促進を図った。 ○買い物スタンプラリー(浦川原商工会ほか) 複数店で買い物をした客に抽選で商品券をプレゼントする「スタンプラリー」を実施し、地元購買促進を図った。
A03	えちご上越農業協同組合	40	総合機能を発揮した多様な担い手の育成・支援と地域農業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○総合機能を発揮した多様な担い手の育成・支援と地域農業の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域農業ビジョンの策定 ・青年部活動を通じた次世代農業後継者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域農業戦略の策定、青年部の組織化と育成(新規設立2組織)
A03	えちご上越農業協同組合	50	複合営農による園芸振興と地域条件に応じた特産品等の生産基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○複合営農による園芸振興と地域条件に応じた特産品等の生産基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・上越野菜販路開拓と作付誘導 ・あるるん畑を核とする地産地消複合直営施設の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○地産地消複合直営施設の設置計画策定と雪下野菜の生産拡大に向けた調査研究
A03	えちご上越農業協同組合	60	食と農のあり方を次世代につなげる親子教室や学校等への出前講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○食と農のあり方を次世代につなげる親子教室や学校等への出前講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・子供対象の「ちゃぐりん道場」、若い世代対象の「よい食カレッジ」、学校等の「広がれ弁当の日」支援 ・JA女性大学「さくらカレッジ」による食・農・暮らしを軸とした活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ちゃぐりん道場」「よい食カレッジ」の開催、学校への「広がれ弁当の日」活動支援 ○女性大学「さくらカレッジ」第2期生受け入れ
A03	えちご上越農業協同組合	70	親しみとふれあいのある暮らしの創出と地域活性化への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○親しみとふれあいのある暮らしの創出と地域活性化への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・男性講座の開催、女性部組織の活性化 ・こころときめき活動(結婚支援活動)による出会いの場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○男性講座の開催、女性部組織の活性化支援 ○こころときめき活動(結婚支援活動)の開催(上越市の後援)
A03	えちご上越農業協同組合	80	支店を核とした協同活動による地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○支店を核とした協同活動による地域コミュニティの活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・各支店で支店協同活動を実施し、地域貢献活動にも積極的に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○全支店での支店協同活動の実施による地域貢献

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
A04	上越公共職業安定所	90	新規学校卒業予定者等に対する就職支援	<p>(1)新規学校卒業予定者等に対する就職支援</p> <p>①高等学校卒業予定者に対する就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校と連携した個別就職相談の早期実施 ・応募前企業説明会(高校生就職準備ガイダンス)の実施 ・未内定生徒を対象とした企業説明会の開催 <p>②大学等卒業予定者に対する就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等就職WEB提供サービスの活用 ・郷土就職ゼミナールの開催 	<p>①高等学校卒業予定者に対する就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高等学校との連携により、5月より就職希望者と学卒ジョブサポーターによる個別相談を実施。また、7月には上越市との共催により管内企業と就職希望者による応募前企業説明会を実施。引き続き希望者全員が就職できるよう個別に就職支援を実施。 <p>②大学等卒業予定者に対する就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登録学生等へは大学等就職WEB提供サービスの活用を周知。また、6月には平成28年3月卒及び既卒3年以内の者を対象に上越商工会議所と連携して郷土就職ゼミナールを開催。 ○3月には平成29年3月卒及び既卒3年以内の者を対象に上越商工会議所と連携して郷土就職ゼミナールを開催。
A04	上越公共職業安定所	100	フリーター等の正規雇用化に向けた就職支援	<p>(2)フリーター等の正規雇用化に向けた就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越わかもの支援窓口による担当者制による就職支援の実施 ・各種助成金を活用し、フリーター等の正規雇用化の促進 ・若者しごと館上越サテライト、上越地域若者サポートステーションと連携による就職促進 	<p>○年間を通じて若者支援窓口で担当者制による就職支援を実施。また、必要に応じて若者しごと館上越サテライト、若者サポートステーションと連携した支援を実施。また、非正規雇用労働者の正社員転換等に向けた取組について、関係団体及び企業への要請を実施。</p>
A04	上越公共職業安定所	110	U・Iターン希望者に対する就職支援	<p>(3)U・Iターン希望者に対する就職支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にいがたUターン情報センター」と連携した就職支援の実施 	<p>○U・Iターン希望者へは、にいがたUターン情報センターと連携した就職支援を実施。</p> <p>また、ハローワークの待合室内にUターン情報コーナーを設置し、にいがたUターン情報センターの周知等を実施。</p>
A04	上越公共職業安定所	120	子育て女性等に対する再就職支援の推進	<p>再就職支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て女性等に「マザーズコーナー」を周知し利用の促進に努める。 ・各種子育て支援サービス等に関する情報提供 ・求職者ニーズを踏まえた担当者制による就職支援の実施 ・子育て女性等を対象としたセミナーの開催 ・新潟県、上越市等の関係者による協議会を開催し、総合的な支援の実施 	<p>○関係機関による「子育て等就職支援協議会」を開催し、マザーズコーナーの周知等を実施。</p> <p>また、再就職希望者に対しマザーズ再就職支援セミナーを7月、9月、2月に実施。</p>
A04	上越公共職業安定所	130	障害者の雇用対策の推進	<p>障害者の雇用対策の推進</p> <p>(1)障害者の再就職の促進</p> <p>(2)雇用・福祉・教育・医療等の連携による一般雇用への移行の促進</p> <p>(3)障害者の職業能力開発支援の推進</p>	<p>○障害者の再就職促進として10月、2月に就職面接会を開催。また、新潟テクノスクールと連携して、障害者対象の職業訓練を推進した。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
A05	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター 北陸研究拠点	140	新品種・新技術による地域農業の競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ○事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・作物の新品種育成と生産技術の開発ならびに育成品種・開発技術の農業者等への技術移転 ○事業目標 <ul style="list-style-type: none"> ・新品種・新技術を開発し農業者に技術移転することでその技術力を向上し、地域農業や食品産業等の発展と競争力強化に貢献する。 ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地域農業に適した新品種育成と生産技術の開発を行う。育成した品種、開発した技術をマッチングフォーラム、研修会、技術指導、技術相談等を通じて農業者等へ迅速に技術移転する。 ○実施体制 <ul style="list-style-type: none"> ・新品種・新技術開発は国立研究開発法人として定める中期計画に基づき実施。技術の評価や技術移転については農業者・農業団体、行政機関等と協力・連携する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 醸造適性に優れた大麦品種「ゆきみ六条」を育成し、平成27年1月に品種登録出願、8月に公表となり審査中である。この間、新潟県内外での試験栽培を進めるとともに、新潟薬科大学および酒造メーカー、新潟市や社会福祉法人との共同研究を経て、麦焼酎や焼き菓子の商品化が進んでいる。 2) 和菓子製造に適する水稻新品種候補「北陸糯236号」、早生で多収の極良食味品種候補「北陸255号」を育成し、品種登録の出願を予定している。 3) 平成27年12月、農業者および関係者を対象とした農業イベント「北陸地域マッチングフォーラム」を上越市内で開催し、ダイズ新品種の特長や高効率なダイズ栽培体系に関する最新の研究成果を発表、育成品種や開発技術のPRも実施した。 4) 上越市内で開催されたダイズ生産の現地研修会への協力をはじめ、技術指導・相談、イベント出展等のPR活動を行った。
A05	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター 北陸研究拠点	150	農業と科学技術に対する市民理解の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・農業と科学技術についての市民、児童・生徒への啓発活動 ○事業目標 <ul style="list-style-type: none"> ・農業と科学技術について、市民、児童・生徒への広報活動を行い、市民の理解を深めるとともに将来の人材育成の基礎とする。 ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・研究所一般公開、研究所見学、食と農の科学教室、有線放送話題提供等により広報・啓発活動を行う。 ○実施体制 <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動については行政機関と協力・連携する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「食と農の科学教室」開催：平成27年7月の一週間、上越市および周辺地域の小学校5年生を対象として実施した。内容は、稲の歴史や品種改良のお話し、粃すり体験、お米の試食、様々な稲品種見本田んぼの観察、農業機械の見学など、実験や観察を中心とした体験型の学習プログラム。参加希望多数のため、翌週に試食を除いたプログラムを実施、参加は合計22校、約870名であった。 2) 研究所一般公開：広く一般市民向けのイベントとして8月22日に開催、研究成果の展示、ミニ講演会、育成品種の試食、実験・体験等の内容。来場者総数は約620名。 3) 研究所見学への対応：高田農業高校1学年の訪問を含め、農業者、JA、自治体等の見学者を随時受け入れ。 4) 上越有線放送等における話題提供：毎月定例の番組「北陸研究センター情報」において、最新の農業研究情報を紹介。その他、上越ケーブルTVへの出演等、マスコミ対応を行なった。
A06	新潟県上越地域振興局	160	新潟県U・Iターンコンシェルジュ事業	<ol style="list-style-type: none"> 1.目的 <ul style="list-style-type: none"> ・U・Iターンを希望する県外在住者に対し、県内の企業・団体等への就職支援や生活情報の提供等、総合的な支援を行うこと。 2.対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県外に住むU・Iターンを希望する求職者(新卒者除く) 3.事業期間 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年5月1日～平成28年3月31日 4.サポート内容 <ul style="list-style-type: none"> ・希望する業種や職種、勤務地等についての個別相談に対応 ・ニーズに沿った企業へのアプローチ、企業との面談などのマッチングを実施 ・住居や学校、保育園などのU・Iターン後の生活に関する情報を提供 5.利用方法 <ul style="list-style-type: none"> ・相談に当たっては事前登録が必要(専用Webサイト(http://www.niigata-uitc.com)で登録可) ・登録後、コンシェルジュから希望者に連絡し、個別相談を開始(登録及び相談は無料) 	<p>○本県へのU・Iターンを希望する方をきめ細かくサポートする「新潟県U・Iターンコンシェルジュ」を開始。(平成27年5月1日)</p> <p>(サポート内容)</p> <p>首都圏等に在住のU・Iターン希望者に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ○希望する業種や職種、勤務地等についての個別相談に対応 ○ニーズに沿った企業へのアプローチ、企業との面談などのマッチングを実施 ○住居や学校、保育園などのU・Iターン後の生活に関する情報を提供
A06	新潟県上越地域振興局	170	にいがた出会いサポート事業	<p>新潟県では、独身男女に出会いの場を提供する「にいがた出会いサポート事業」を実施しています。出会いのきっかけとなる各種イベントやパーティを企画・運営いただける方はお気軽にご連絡ください。イベントの実施方法は、「県共催イベント」、「イベントアドバイザーサポーターズイベント」の2区分があります。</p> <p>県は、イベント等に対し次の支援を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> □県の広報媒体を活用した参加者募集等 □県共催又は県が関与するイベント等であることの明記を許可 	<p>○県内各地で実施される独身男女の出会いの場となるイベントに支援(共催イベント8回、イベントアドバイザーサポートイベント30回)。</p> <p>内 上越市 イベントアドバイザーサポートイベント 2回 妙高市 イベントアドバイザーサポートイベント 4回</p> <p>※イベントアドバイザーサポートイベント=県が委嘱するイベントアドバイザーやイベントサポーターが関与しているイベント</p>
A06	新潟県上越地域振興局	180	地域づくり支援制度ライブラリー	<ol style="list-style-type: none"> 1 概要 <ul style="list-style-type: none"> ○市町村や地域づくり団体等の地域づくり活動を支援するため、国・県等が所管する地域づくり支援制度等に関する情報を提供するライブラリーです。 ○地域づくりに活用できるソフト・ハードの各種助成制度、アドバイザー派遣制度、表彰制度を21のテーマごとに紹介します。 2 検索方法 <ul style="list-style-type: none"> 次のURLから、「地域づくり支援制度ライブラリー」を検索してください。 http://www.chiiki.pref.niigata.jp/dukuri/library/index.html 	<p>○国、県等が所管する地域づくり支援制度がホームページで検索可能。</p> <p>○7月に平成27年度版を公開済み。 http://www.chiiki.pref.niigata.jp/dukuri/library/index.html</p>
A06	新潟県上越地域振興局 (上越東農林事務所)	190	耕作放棄地での薬草栽培推進事業	<p>平成27年度(初年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会の開催：地域に適した品種選定、栽培適地の検討、地域の担い手の組織化等 ・先進地事例の視察 ・生薬メーカーの助言・指導 <p>事業費 200千円</p> <p>[内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅費 100千円(研修講師@50,000×2回) 需用費 20千円(消耗品) 使賃料 80千円(バス借上) <p>次年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕田を利用した試験栽培等を行い、定着に向けて継続的に事業を実施する。 	<p>○大島区藤尾集落、地元企業、上越市職員、県職員が集まり、耕作放棄地を活用した薬草栽培についての勉強会を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月21日 富山県薬用植物指導センター視察 ・8月31日 大潟区ウチダ和漢薬視察 <p>○その後の意見交換で、薬用植物は販路などのハードルが高いため、健康食品等にも視野を広げ、その中でアシタバ栽培について検討を始めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月6日 藤尾多目的共同利用室にて「アシタバ勉強会」開催 <p>内容：講師によるアシタバ栽培方法の講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アシタバをおいしく食べるためのアシタバ料理試食会 ・栽培候補地視察

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の実施内容
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	200	地域連携・大学 間連携事業	○地域連携推進室における事業展開 ・別紙「平成27年度地域連携推進室に係る地域連携・大学間連携等の主な事業・活動構成」にあるとおり、「基幹的な地域連携推進事業」、「公募型地域貢献事業」、「出前講座」、「公開講座」、「大学等との連携推進事業」、「産学官に関する連携事業」など、本学の教育研究で培った様々な資源を有効に活用した各種事業を、本学地域連携推進室の下で、教職員、学生、本学各組織が、地域の自治体や産業界、また、大学等との連携を得て実施している。 ・直接、「しごとづくり」又は「まちの活性化」と結びつかない事業もあるが、何らかのかたちで貢献できているのではないか。 ・ほかにも、教員個々、各センターやコース・科目群などの組織が、それぞれの専門性や資源を活かし、地域の各種団体・機関からの要請などに基つき連携した活動(共同研究など)をしていると考えられる。(活動状況は把握していない。)	○他の個別事業に係る報告のとおりとなります。
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1050	基幹的な地域連 携推進事業	1 戦略的な地域教育連携事業 2 上越地域教育委員会との連携推進事業 3 上越市学校教育支援事業 4 教師の専門職化をフォローする研修体制の構築事業 5 総合的な教師力向上のための調査研究事業	1. 戦略的な地域教育連携事業 ①学校教育課題に対応した教職員のための自主セミナーを実施した。 ②妙高市(11月)、糸魚川市(1月)、柏崎市(10月)の各教育委員会と連携した研修会を実施した。 ③学校評価支援アンケートシステムによる学校評価活動への支援を行った。(通年) ④地域の学校教育文化(統廃合された各学校の教育資料)の収集及び整理を行った。 2. 上越地域教育委員会との連携推進事業 上越市、妙高市、糸魚川市、柏崎市の4市教育委員会と今後の教員養成等について意見交換を行った。(11月) 3. 上越市学校教育支援事業 上越市校長会、上越市教育委員会及び上越地域学校教育支援センターと連携し、上越市学校教育支援協議会を開催した。(7、12月) 上越市教育コラボ2015へ本学教員が出展する等協力した。(11月) 4. 教師の専門職化をフォローする研修体制の構築事業 新潟県、長野県、富山県に本学教員が外向き研修講座を複数回実施した。 教師の専門職化フォーラムを実施した。(2月) 5. 総合的な教師力向上のための調査研究事業 新潟県立教育センターにおいて、本学教員等を講師として県内各学校のミドルリーダー教員に対して研修会を実施した。(年3回)
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1060	公募型地域貢 献事業		○子育て支援事業、地域活性化事業等の各分野で17事業を実施した。
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1070	各種講座・講習 等	○出前講座 ○公開講座 1 一般公開講座及び現地教員公開講座 2 免許法認定公開講座 3 新潟県立看護大学との連携公開講座 ○文化講演会 ○各種講習 1 学校図書館司書教諭講習 2 特別支援学校教員専門性向上事業免許法認定講習	1. 出前講座 延べ79講座を実施し、延べ6,069名参加した。 2. 公開講座 (1)一般公開講座:10講座を実施し、延べ129名参加した。 (2)公開講座(理科野外観察実習):3講座を実施し、延べ5名参加した。 (3)新潟県立看護大学との連携公開講座:「青年期・成人期の発達障害のある人への支援を目指して」をテーマに実施し、186名参加した。(7月) 3. 文化講演会 上越市教育委員会及び春日山城跡保存整備促進協議会と連携してシンポジウムを開催し、308名参加した。(6月) 4. 各種講習 (1)学校図書館司書教諭講習:資格取得に必要な5科目(10単位)を開講し、延べ80名参加した。 (2)特別支援学校教員の専門性向上事業免許法認定講習:資格取得に必要な5科目(5単位)を開講し、延べ161名参加した。
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1080	大学等との連携 推進事業	1 新潟県立看護大学との連携推進事業 2 新潟大学との連携推進事業 3 信州大学との連携推進事業 4 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立妙高青少年自然の家との連携推進事業 5 富山大学、富山国際大学との連携推進事業 6 高等教育コンソーシアムにいがたによる事業 7 上越市、妙高市、糸魚川市(糸魚川ジオパーク協議会)との連携医協力事業 8 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携事業	1. 新潟県立看護大学との連携推進事業 連携協議会を開催し、学生生活の交流や教員の研究における交流について、情報交換を行った。(12月) 2. 新潟大学との連携推進事業 新潟大学等と連携し理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー(CST))養成拠点を構築し、CSTを育成した。 3. 信州大学との連携推進事業 信州大学と連携し、小中学生を対象とした剣道大会及び実技指導を行った。 4. 富山大学、富山国際大学との連携推進事業 両大学において教員研修講座を実施した。 5. 高等教育コンソーシアムにいがたによる事業 新潟薬科大学において開催された産学官連携フォーラムに事業補助として参加した。 6. 上越市、妙高市、糸魚川市(糸魚川ジオパーク協議会)連携協力事業 上越市中学生の職業体験として、1名を受け入れた。 大学見学として糸魚川市4中学校延べ319名を受け入れた。
A07	上越教育大学 (地域連携推進室)	1100	各種事業	1 春日山城跡等の整備・活用事業 2 新幹線まちづくり推進上越広域連携会議による事業 3 上越市「三城物語」検定 4 新潟県ICT研究会事業	1. 春日山城跡等の整備・活用事業 学内に協力者を集め、整備事業に参加した。 文化講演会として、春日山に関係したシンポジウムを開催した。 2. 上越市「三城物語」検定 検定にあたり、大学施設を開放した。 3. 新潟県ICT教育推進連携協議会 新潟県内各種学校ICT担当者を集め、各学校における活用事例等発表を行い、課題等について意見交換した。

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
A08	新潟県立看護大学	210	出前講座	○看護研究交流センターにおける事業展開 ・地域の教育機関、市民団体及び企業等の求めに応じて、本学教員が出向いて講義等を行う出前講座を実施している(平成26年度～)。 ・平成27年度は用意した18テーマのうち、「子どもには生きる力がある」「いざという時に役立つホームケア」「自分のからだ・健康・いのちについて考えてみよう」が子育て支援に関連する内容である。小児看護学の教員2名が講師である。 ・看護研究交流センターのホームページから申し込む。依頼者側から旅費を負担していただく。	○市内の幼稚園2園と小学校1校において、保護者や教師、児童を対象に「いざというときに役立つ“子どものホームケア”」「子育ては慌てずゆっくり」「自分のからだ・健康・いのちについて考えてみよう！」をテーマとした出前講座を実施した。 ○参加者からは、「説明が具体的でわかりやすい」「楽しかった」「また出前講座を利用したい」等の感想をいただいた。
A09	上越信用金庫(融資部企業支援室)	220	上越創業支援ネットワーク事業	・上越信用金庫が、上越市、上越商工会議所、(株)日本政策金融公庫の3機関と連携し、「創業支援ネットワーク」を設置。 ・本ネットワークに行政や経済団体、金融機関などの情報、ノウハウと集約しながら、創業希望者が創業しやすい環境を整備し、創業を促進することで、地域経済の活性化に結びつける。 ・創業前の創業相談、資金相談、創業セミナー、創業塾の開催。 ・創業後の創業フォローアップの実施。	○平成27年4月10日 第1回業務連携連絡会議 加盟4機関参加 ○平成27年7月7日 創業・eコマースセミナーの開催 21名参加 個別相談5件 ○平成27年7月16日 関係機関調整会議 加盟4機関+新規加盟3機関参加 ○平成27年9月7日 イブニングセミナー&個別相談会開催 30名参加 個別相談2件 ○平成27年9月26日～11月28日 創業塾(全10回)の開催 31名参加 講師派遣 ○平成27年11月13日 上越市創業支援ネットワーク会議 加盟7機関参加 ○平成28年1月24日 第2回業務連携連絡会議 加盟7機関参加予定 ○平成28年2月24日 上越市創業支援ネットワーク会議 加盟7機関参加 ○平成28年3月22日 上越市創業支援ネットワーク会議 加盟7機関参加 ※セミナー、創業塾等の開催により、その後の創業相談、創業実績につながっています。
A09	上越信用金庫(融資部企業支援室)	230	上越地域連携プラットフォーム事業	・上越信用金庫が代表機関となり、上越商工会議所、新井商工会議所、糸魚川商工会議所、新井信用金庫、糸魚川信用金庫の5機関と連携し、登録支援機関「上越地域プラットフォーム」を設置。 ・主に、ITシステム(支援ポータルサイト:通称ミラサポ)を活用し、専門家派遣事業、合同セミナー、ビジネスマッチング、連絡協議会、合同研修会等の地域機関連携を行い、地域の中小企業・小規模事業者へのビジネス創造や経営改善・革新等のサポートを行うことで、地域経済の活性化を図る。	○平成27年6月23日 第1回連携連絡会議 加盟5機関参加 ○平成27年8月3日 構成機関向け「販路開拓支援セミナー」開催 加盟6機関39名参加 ○平成27年8月6日 にいがた中小企業支援ネットワーク会議 新潟 加盟6機関参加 ○平成27年9月4日 新潟県よろず支援拠点関係機関連絡会議 新潟 加盟6機関参加 ○平成27年10月27日 第2回連携連絡会議 加盟6機関参加 ○平成28年3月4日 新潟県企業引継ぎ支援センター事業説明会 加盟6機関 36名参加 ※今年度は、構成機関向けの研修等に重点を置き、専門知識等の集積を図りました。
A09	上越信用金庫(融資部企業支援室)	240	信州大学繊維学部との産学金連携	長野県信州大学繊維学部との業務連携により、取引先企業の技術開発や製品開発等について大学への橋渡し役を担い、取引先企業の課題解決の支援を行いながら、地域経済の活性化を図る。	○通年を通じた連携体制 技術相談、共同研究、受託研究、研究者の紹介(専門知識の提供)、大学の設置機器の利用、分析・試験依頼、産学連携(企業間のビジネスマッチング)、地域産業振興関連、教育・研究に関すること、その他 ※本部、営業店のPR活動により、平成27年度も相談実績があります。
A09	上越信用金庫	250	各種ローン・積金等の円滑な提供	若い世代の経済的安定、結婚、出産・子育てへの支援、仕事と生活の調和を図るため、金融機関の本業を意識した課題解決支援を実施。 ◆各種ローン(カードローン、カーローン、教育ローン、ブライダルローン、住宅ローン)の提供。 経済負担を考慮した金利優遇もあり。 ※地域に就職する若年層、地元出身の新社会人、Uターン、Iターンの新社会人への支援等、あらゆる場面での円滑な資金提供を支援。 ◆ファミリーサポート積金の提供 余暇・レジャー、健康・医療、生活サービス(保育・介護)等のさまざまな生活シーンで利用できる「ライフサポートサービス」や24時間電話健康サービス、セカンドオピニオン、糖尿病臨床医紹介サービス、あたまの健康チェックテスト等が無料で利用できる「健康関連サービス」が付加されている積金。	○通年を通じた取組み あらゆる場面での、各種ローン(カードローン・マイカーローン・教育ローン・ブライダルローン・住宅ローン)やファミリーサポート積金の円滑な提供を実施しております。
A09	上越信用金庫(ふるさと絆プロジェクト作業部会)	260	ふるさと絆プロジェクト事業	当金庫は経営理念に掲げているとおり、地域社会の繁栄を願い、人々の夢の実現と中小企業の発展に貢献していくことが、地域金融機関としての社会的使命であると考えております。 これら「信用金庫の原点」でもあります取組みを一層強化していくため、「ふるさと絆プロジェクト」を立ち上げ、2つの柱を基に継続的な活動を行っています。 一つは、『課題解決型金融への取組み』です。 活力ある地域経済の活性化と中小企業への各種サポート、事業性評価に基づいた融資、コンサルティング機能の発揮により一層の金融仲介機能を強化し、地域密着型金融を通じて地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。 もう一つは、『地域貢献活動』です。 金融機能の提供にとどまらず様々な地域貢献活動の実施により、地域における存在感を一層高め、地域に暮らす皆様との密接な関係を継続してまいります。 上越信用金庫は、常に「地域」を大切に活動を行ってまいります。	○平成27年4月16日 第1回ふるさと絆プロジェクト作業部会開催 ○平成27年6月3日 第2回ふるさと絆プロジェクト作業部会開催 【課題解決型金融の取組み】 ○しんきんの安心サポート相談会の実施 ○休日相談の実施 【地域貢献活動】 ○高田公園、船見海岸の清掃、景気動向調査の実施・公表、小学生図画展の実施、中・高校生の職場体験受入 ※平成27年度 全店における地域行事への参加43事業 総勢437名参加 ○平成27年度 上越市中山間地域支え隊への参加 1事業 6名参加

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
A10	連合新潟上越地域協議会	270	働くことを軸とする安心社会の構築事業	<p>「働くことを軸とする安心社会」は、働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型の社会である。</p> <p>知識や学歴によってその夢を果たすことができない若者。非正規労働で働き、将来の展望が見いだせない労働者。職場の理解も得られずに就労をあきらめている母親。親の介護で支援を受けられず就労をあきらめざるを得ない労働者。トラブルで職を失ったり、心身の障がいから就職先が見つからない失業者。年をとってこれまでのようなかたちでは働くことが困難になった人々は、もっと柔軟なかたちで働ける就労環境を望んでいるのに彼らの力を活かせる職場が少ない。社会参加したいのにそのような機会が限られている。</p> <p>そのための具体的な活動として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.地域の問題点を掘り起こすため労働相談ダイヤルを常設し、個々、団体の問題解決を行う。また、メンタルダウンしている相談者には連携機関への取り次ぎ等を行っている。 2.最低賃金、ワークルール等の啓発のため、街頭行動等を行っている。 3.基礎的なワークルールを知らないまま社会へ出て、トラブルによる離職を防ぐため、学校等へ出向き出前講座を行うとともに、チラシ等の配布を行っている。 4.関係自治体へ労働問題に対する要請を行っている。 	<p>【ライフサポート事業】</p> <p>○年間通じての労働、生活、よろず何でも相談窓口の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間約100件の相談あり ・2月4、5、6日 集中相談日とし、上越タイムスに広告掲載
				<p>【オータムパーティ】</p> <p>○平成27年10月11日</p> <p>市内飲食店を貸切。35才以下の男女各20名での婚活パーティの実施。</p>	
				<p>【ボランティア事業】</p> <p>○平成28年2月7日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市中山間地域支援隊 ・うらがわら灯の回廊 灯籠づくりへボランティア30名派遣 	
A11	上越市町内会長連絡協議会	280	地域コミュニティの窓口と人材育成事業	<p>当協議会は市政執行の円滑な運営に協力するとともに、関係機関等に対して所要の連絡を密にし、市の発展に寄与することを目的に市内816の町内会で組織している。</p> <p>〈町内会長まちづくりの集い〉</p> <p>地域コミュニティの核である町内会を代表する町内会長(816人)や町内会役員等を対象に、市長による市政に関する講話やまちづくりの専門家による講演会を実施し、まちづくりに関する情報を提供することで地域の活性化や課題解決に取り組む。(6月下旬開催)</p> <p>〈先進地視察研修〉</p> <p>歴史的街並みを活かしたまちづくりや防災のまちづくりに取り組む市外の先進地等の視察を行い、各地域の活動に活かす。(10月下旬～11月上旬実施)</p>	<p>○「町内会長まちづくりの集い」の開催(606人参加)</p> <p>○視察研修の実施(防災委員会との合同実施・38町内会長参加)</p>
A12	上越市小中学校PTA連絡協議会	290	小中学校PTA連絡協議会研究大会	<p>期 日:平成27年11月23日(月・祝)</p> <p>会 場:上越文化会館大ホール</p> <p>参 加 者:市内小中学校PTA会員 1,500人</p> <p>開催目的:子どもたちの抱えている課題を把握し、今後のPTA活動の方向性を参加者全員で模索する。</p> <p>内 容:著名な講師による講演会を実施する予定です。(現在交渉中)</p> <p>講演内容は今年度、市P連が取り組んでいるアウト・メディアの推進に関する内容でお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの利便性と危険性を踏まえた正しい使い方の一層の周知 ・携帯・スマホに係る問題 <p>学年を追うごとに携帯依存が顕著になり生活習慣が乱れること。</p> <p>ライン等による友人間のトラブルが発生していること。</p>	<p>○日 時:平成27年11月23日(祝・月)</p> <p>○会 場:上越文化会館大ホール</p> <p>○参加者:市P連会員、来賓、一般来場者 合計約700名</p> <p>○内 容:アトラクション 城北中学校吹奏楽部による演奏</p> <p>講演会 講師・藤原和博氏</p> <p>演題「つなげよう!学校と地域社会 子どもたちの未来を拓くために」</p> <p>正解主義からの脱却～納得解へ クリティカルシンキングについて</p>
A12	上越市小中学校PTA連絡協議会(各ブロック)	300	ブロック別 交流親善大会	<p>市内を10ブロックに分け、各ブロックでPTA会員相互の交流と親睦を深めるために実施している。</p> <p>内 容:各ブロックにより実施種目は異なるが、野球大会、バレーボール大会を実施しているブロックが多い。その他の種目としてはソフトバレー、ボーリング、綱引きなど。</p> <p>各ブロックが趣向を凝らして実施している。</p> <p>その後、懇親会(情報交換会)を実施し、更なる親睦を図っているブロックもある。</p>	<p>○日 時:平成27年6月から11月</p> <p>○会 場:各学校グラウンド、体育館など</p> <p>○参加者:市P連会員</p> <p>○内 容:10ブロック別による親善大会</p> <p>野球、バレーボール、ソフトバレーボール、ボーリングなどで交流を図った。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
B01	金谷北地区農村元気会	310	集落活性化に向けた地域の将来ビジョンの作成	1 地域の将来ビジョンの作成 (1) 大学教授を招聘し、多角的な視点からのアドバイスを受けるワークショップを開催する。 (2) 地域住民の意識改革を促すため、将来ビジョンを作成する。	○4回のワークショップを終了し、3月に冊子を全戸に配布した。市役所や報道機関にも配布した。
B01	金谷北地区農村元気会	320	コメや野菜の特産化と販売方法の拡大	2 コメや野菜の特産化と販売方法の拡大 (1) 地域特産物の発掘と集荷方法の検討と実施 (2) 購買者のためのサービス体制の構築(朝市・トラック市、正善寺工房等の直売所の活用)	○上越妙高駅で11月22日に直売を実施した。 コメ部会(滝寺ファーム) ・顧客を開拓し販売した。反省点として、商品価値上積みのために、農法の統一や工夫を課題とした。顧客の更なる確保も課題である。 野菜部会(規約を設定し、正善寺・滝寺出荷組合を組織化した) ・上越信用金庫昭和町支店駐車場で朝市が6月6日から開始された。 ・正善寺工房でも、月1回の野菜販売、年3回の祭りでの野菜販売が始まった。 ・上越妙高駅での直販の定例化が必要である。
B01	金谷北地区農村元気会	330	集落活性化に向けたイベントの実施と地域PR・バス利用促進	3 イベントの実施と地域PR・バス利用促進 (1) 地域資源(歴史や文化)を活用したイベントの実施 ・イベント実施体制の確立と近隣へのPR ・地域住民のイベントへの参加と意識改革 ・正前寺線バス利用を促進し、地域発展の足がかりとする (2) 地域資源の再発見のための講師招聘による講演会を行う	○11月6日に上正善寺から春日山山頂までの散策、権現堂を経ての帰路のイベントを行った。そのため、10月11日に中正善寺から権現堂までの古道の復活を実施した。 ○3月20日に南三の丸から権現堂までの散策路に階段を付け、通行しやすくした。 ○活動の成果として、正善寺線バスの存続が決まった。 ○次年度は3回のイベントを計画する。
B01	金谷北地区農村元気会	340	野生鳥獣被害対策	4 野生鳥獣被害対策 (1) イノシシ被害対策の実施: 電気柵の設置と捕獲、見回り (2) 捕獲したイノシシを活用した地域住民の親睦・交流の促進検討	○電気柵を張り防御したが、効果が大きく被害も激減した。獣肉活用のためジビエ視察・解体施設の視察を行った。また、住民に対しイノシシ肉を振舞い、振興と活性化を図った。
B02	上越市中山間地域元気な農業づくり推進協議会	350	上越市中山間地域元気な農業づくり推進事業	中山間地域等直接支払交付金を活用し、農地保全と担い手育成を推進することにより、中山間地域農業の振興を図る。また、地域マネジメント組織を核とした中山間地域の農業と農村を持続的に担う体制の確立を図る。 ○農産物等庭先集荷サービス事業、多様な主体との連携活動支援事業、ふるさと玉手箱事業による支援(市補助事業) ○推進協議会、現地研修会等の開催 ○国の「農村集落活性化支援事業」の活用と取組支援 ・2つのマネジメント組織を含む市内4地区が平成27年度から5か年計画で農村の維持活性化を図る取組を実施する。 (事業実施者: 榎池農業振興会、板倉区中山間地域農業振興会、川谷もより協議会、金谷北地区農村元気会)	○農産物等庭先集荷サービス事業: 実施地区11地区(市補助金を活用しない取組含む)、販売額計13,981千円、市補助額計1,406千円 ○多様な主体との連携活動支援事業: 実施地区6地区(市補助金を活用しない取組を含む)、実施回数計19回、市補助額計253千円 ○ふるさと玉手箱事業: 実施地区7地区(市補助金を活用しない取組含む)、販売額計10,903千円、市補助額計977千円 ○推進協議会(6/22・2/18)、現地研修会(7/22)、推進大会(2/14)、農政研修会に兼ねる)の開催 ○国の「農村集落活性化支援事業」の活用と取組支援(4組織)
B03	上越発酵食品研究会	360	発酵食品の研究開発と「発酵のまち上越」のPR	農水・商・工連携により、発酵食品による地域ブランド創りを通じて、「発酵のまち上越」を確立する。 【実施体制】 別紙のとおり 【取組内容】 ・市の支援メニュー等を活用し、既存の発酵食品の磨き上げや発酵を活用した新商品開発を促進 ・上越の伝統食品として、食育やイベント参加による啓発活動 ・研究会の活動に関する情報の受発信 ・上越の発酵食品の販路拡大 今後はより多くの市民から「発酵のまち上越」をPRしてもらえ体制をつくる。	○市の個別相談会や特産品開発補助金等を活用し、既存の発酵食品の磨き上げや発酵を活用した新商品開発を支援した。 ○上越の伝統食品として、食育フォーラムで味噌をPRしたり、SAKEまつりで各種発酵食品を販売したりした。 ○研究会のホームページを通じて発酵食品をPRした。 ○優れた発酵食品が市のメイド・イン上越に認証され、PRと販売促進につながった。
B04	NPO法人食の工房ネットワーク	365	食のネットワーク事業	○地場産農作物を使用した加工品の製造や販売活動等により、生産者と消費者、地域と地域との交流を促進し、地産地消を推進する。 1. 地場産野菜等を素材とした農産加工品の開発研究 2. 農産物や農産加工品の販売促進 3. 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援	1. 地場産野菜等を素材とした農産加工品の開発研究 ・生産者や消費者からの聞き取りにより、生産者の掘り起しや食材情報、調理方法についてとりまとめた。 ・上越野菜等を活用した商品開発を行った。(乾燥野菜) ・地場産農産物を使った料理教室等を開催し、上越市の風土が育んだ食文化の継承を図った。(平成27年度実施回数:138回) 2. 農産物や農産加工品の販売促進 ・正善寺工房内のあじさいショップでの農産物の直売を行った。 ・地域住民と連携した、イベントを開催し、地場農産物の販売促進を行った。(実施日:5/10、7/5、8/9、11/3) 3. 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援 ・農産加工品の製造販売を行うことで、女性の知識や技術をいかし活躍する場を創出した。 ・障害を持つ方の働く場として受け入れを行い、積極的に就労支援に取り組んだ。

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
B05	雪だるま財団	370	雪エネルギーを活用した商品研究・開発	○雪エネルギーを活用した商品研究・開発((仮称)雪むろ食品推進プロジェクト) 雪をキーワードに上越地域における新たな雪むろ食品のブランド化を目指した「(仮称)雪むろ食品推進プロジェクト」を立ち上げ、雪むろ食品を開発し販売する。開発した商品を広く紹介し、あわせて地元飲食店での活用促進を図る。	○6月30日 長野県山ノ内町へ視察(倉庫を改修した雪中貯蔵施設の見学と運用の説明) ○商品開発として、7月から安塚区の雪室にナス粕漬・味噌を貯蔵。 ○10月15日 あるるん畑を会場に雪むろ食品の試食会を開催(アンケートの実施) ○12月2日 改修後の信濃坂雪室の視察 雪むろ推進プロジェクト組織立上げ ○3月23日 雪むろ推進セミナーの開催(予定)
B05	雪だるま財団	380	農山漁村・自然を活用した体験交流の受入	○農山漁村・自然を活用した体験交流の受入(越後田舎体験推進協議会) 観光自然を農山漁村・自然・人と捉え、「体験交流」を観光の目玉としてほんものの体験・暮らしを提供できる地域として売り込む。	○上越市と十日町市で17年間、受入を行っている越後田舎体験の受入は主に学校団体中心。 27年度の実績は、28年1月末で43団体、3,800人、泊数は8,600泊 受入数、人数ともに減少傾向が見られる。 ○受入拡大のため 民泊受入家庭の拡大 学校団体に限らない、営業を強化
B06	上越商工会議所政策委員会(飛田G)	390	地方創生による総合福祉特区の開発提案	・総合福祉事業特区を設置。(総合病院などの医療機関を核とする) ・介護施設不足の深刻化が進む東京圏の市または区などと提携し介護者移住を促進、受入れ地となる本市においては新たに1000人規模の雇用機会の創出、定住人口の増加を図りたい。ただし、上越市の介護保険事業を圧迫させない措置が同時に必要。 ・特区は上越妙高駅周辺に設置。 ・総合病院、特別養護老人ホーム、専門学校(看護・介護・保育士)、里山環境の改善を組み合わせた再生可能エネルギーの導入 ……など ・先ごろ行われた日本創生会議において、上越市は「医療・介護サービスを十分に受けられる可能性が高い地域」に挙げられており、北陸新幹線効果により東京から2時間圏域で往来が出来るなど、他候補地と比較して交通利便性が非常に高い。 ・さらに、上越市は豊かな自然と重厚な歴史と街並みが織り成す郷土色あふれる地域であることから、単に介護サービスを受けるだけでなく、都会の雑踏を離れ、ゆったり・健康的なセカンドライフを過ごしてもらえるポテンシャルを有しているなど、中高年層の取り込みに優位的である。 ○エリア構想 ①上越妙高駅・東口 ・総合病院、特別養護老人ホーム、各種学校、再生可能エネルギー導入地域など ②上越妙高駅・西口 ・高齢者と共生する保育園、商業施設やマンション、ホテル開発など ※全て提案イメージです ○想定される事業推進団体(あくまで想定として) ・自治体(上越市、新潟県、東京圏) ・民間企業(飛田グループを中心とした上越地域の介護・医療事業者、銀行など) ・学校(大手専門学校、地元大学など)	-
B07	株式会社大光銀行	400	しごとづくり応援事業	1.目的:上越の新事業創出、地場産業の活性化を支援 2.取組内容:①創業支援体制の構築 ②クラウドファンディングを活用した地域産品のPR ③医療・介護・福祉分野、農業・六次産業化分野、環境・エネルギー分野、事業承継・M&A分野への支援 ④ビジネスマッチング、商談会等による販路開拓支援 ⑤各種セミナー開催による情報提供 3.連携体制:上越市、金融機関、商工会議所、その他関係団体	①「たいこうビジネスプランコンテスト2015」の開催(上越市内より3プラン申込。1プランが2次審査へ進出) ②クラウドファンディングマッチングサービスの取扱開始 ③農業・六次産業化、環境エネルギー、創業に係る金融支援。事業承継・M&Aへの相談支援。 ④ビジネスマッチング、各種商談会の出展支援。 ⑤「新潟県へのUIJターン創業・就農・就業支援」の取扱開始(日本政策金融公庫と連携)
B07	株式会社大光銀行	400	まちの活性化応援事業	1.目的:空き家問題への対応、持ち家を活用したゆとりあるセカンドライフづくり 2.取組内容:①空き家ローンの活用 ②リバースモーゲージの活用 3.連携体制:上越市、その他関係団体	①「空き家ローン」取扱受付中 ②「リバースモーゲージローン」取扱受付中

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の実施内容
B08	株式会社第四銀行	410	地場産業の競争力強化に向けた創業・事業承継支援	<p>【創業・事業承継支援】</p> <p>目標:地域の新しい事業柱の育成支援、既存産業の持続的な発展の支援</p> <p>現状の取組:創業セミナーの開催、事業承継へのコンサルティング、M&Aの仲介</p> <p>将来的な取組:助成金を活用した新たな地場産業の支援、既存産業の持続的な発展の支援</p> <p>連携機関:上越市、新潟県信用保証協会、日本政策金融公庫、M&A提携会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市創業支援ネットワーク事業加入による創業支援取組強化。 ・「だいの創業支援、求ム、起業家」の広告ツールの作成。 ・「にいがた創業アワード」を活用した創業支援の取組企画、平成28年度に実施決定。
B08	株式会社第四銀行	420	地場産業の競争力強化事業に向けた販路拡大支援	<p>【販路拡大支援】</p> <p>目標:メイドイン上越産の全国へのPR</p> <p>現状の取組:新潟県内外でのビジネスマッチング、展示会・商談会の開催、ブリッジにいがたを活用した観光・地元産品のPRを東京へ直接発信</p> <p>将来的な取組:クラウドファンディングの活用提案、導入サポート</p> <p>連携機関:上越市、大学、他金融機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸新幹線とあかねで行こう！新潟上越・佐渡」をテーマに当行取引先9社が参加し、ブリッジにいがたで物販販売や観光をPR。 ・「にいがた食・環境・健康の展示商談会」の開催、上越市からも多数の企業が出展者として参加。
B08	株式会社第四銀行	430	地方都市における経済・生活圏の形成に向けた住宅取得促進	<p>【住宅取得促進】</p> <p>目標:移住者の居住を安心してサポートできる体制作り、小さな拠点の仕組づくり</p> <p>現状の取組:①中古住宅の担保評価を売買価格を前提とした商品内容の充実 ②上越ローンプラザによる利用しやすい相談窓口の充実</p> <p>将来的な取組:「中古住宅の情報館」として市・民間業者・金融機関による共有化された情報データの提供(築年数・建築業者名・町内案内図ほか)</p> <p>連携機関:上越市、住宅関連業者、不動産業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市が行う移住、空き家活用の支援策の情報発信協力。 ・移住・住みかえ支援機構(JTI)との提携による「だいの住み替え住宅ローン」の新設。
B08	株式会社第四銀行	440	地方都市における経済・生活圏の形成に向けたPFI・PPPの推進	<p>【PFI/PPPの推進】</p> <p>目標:PFI/PPPの潜在ニーズの具現化</p> <p>現状の取組:PFI/PPPセミナーの開催、地公体ニーズの具体的なサポート、新潟県との共同セミナーの開催</p> <p>将来的な取組:地方の公共施設のPPP活用提案、マーケット調査支援、事業計画策定支援</p> <p>連携機関:新潟県、上越市、中核企業、他金融機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟大学との包括連携協定に伴い、地元就職に向けた学生・企業との交流促進の企画。平成28年度に上越市の企業2社に新潟大学生が交流訪問実施決定。
B09	株式会社富山第一銀行(直江津支店)	450	仕事づくり事業、就労支援事業	<p>「地域(ふるさと)創生ファンドの提供」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出条件面での金利優遇 ・事業計画の策定支援(目利き力による融資) ・専門家派遣支援 ・各種事業にマッチした補助金情報の提供 ・当行ネットワークを利用したビジネスマッチング情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業・新規事業開拓の支援 ・外部専門家を通じた創業支援アドバイス及び補助金活用の情報提供を行っております。 ・創業・新規事業開拓支援として、経営相談会や個別相談を実施しています。 ○海外展開の支援 ・海外進出に関する専門家の紹介、海外情勢、法規制についての情報提供を行っております。 ○成長段階における支援 ・大規模商談会の主催や協力、食の商談会の実施等を通じて、取引先の販路開拓支援を行っております。 ・「地方創生「食の魅力」発見商談会2015」参加企業数180社、来場者数1,623名 ○事業承継期における支援 ・本部及びビジネスプラザ支店に事業承継M&A専任者を配置し、営業担当者と連携してお客様へのご支援を行う体制を整備しました。 ○経営改善、事業再生、業種転換等の支援 ・事業者の経営改善支援の実行性を高めるため、外部機関、外部専門家との適切な連携を促進し、適切な助言・指導に努めております。
B09	株式会社富山第一銀行(直江津支店)	460	「地方創生」に対する推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・各地方自治体の「地方版総合戦略」の策定に関し、当行は情報提供・分析・提案等を積極的に行います。 ・ビジネスソリューション部を本部とし、富山県内の16自治体、新潟県内の2自治体について当該自治体を拠点とする支店の支店長等を「地方創生担当窓口」に任命しました。 また、当行ビジネスプラザ支店にビジネスソリューション専任者を3名配置し、体制整備に努めています。今後プロジェクトチームを立ち上げ、推進体制のさらなる構築を図る予定です。 ・「しごと」と「ひと」の好循環作りを加速させるため、当行では「ビジネスマッチング」、「創業・新事業支援」、「海外事業支援」及び「事業再生・資源再配分」といったサポート機能を発揮するとともに、「地域(ふるさと)創生融資」等の提供を通じ、地方創生支援に向け本部、営業店が一丸となって取り組みを進めていきます。 	

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の実施内容
B10	八十二銀行 (高田支店)	470	八十二銀行の地方創生に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 別添「八十二銀行の地方創生に向けた取組」に基づく地方版総合戦略策定への協力 想定している取組方針、サポート内容につきましては別添資料参照願います。 ※一部長野県向け施策については対象外となります。(コクーキングスペース、サポートファンド等) 具体的には、補助金を活用した創業支援への協力が、一番現実的であると考えます。 	<p>※別紙 上越市との地方創生事業計画シートを参照</p> <ol style="list-style-type: none"> 上越市内企業と長野県内企業等とのビジネスマッチング支援・協力 12月: 打ち合わせ実施。海外展開支援等について改めて打ち合わせ実施することとした。 1月: 1/7市場国際部同行で、食品類の海外進出支援について協議。今後連携していくこととした。 上越市内への進出企業情報の提供による企業誘致支援・協力 12月: パンフレット配布について打ち合わせ。 1月: 工業団地パンフレット配布の準備(当行シールの大きさ等)。 (3月: 県外店でパンフレット配布開始) 直江津港の利用促進に向けた長野県内企業への情報提供支援・協力 12月: 11月26日 上越市と当行担当レベルでの協議。直江津支店でも打ち合わせ実施。 1月: 個別訪問による利用促進選定準備 ・直江津港の長野県内でのセミナー打診(3/3長野、上田決定) (3月: 3/3セミナー開催) その他上越市との連携協定の目的を達成するために必要な事項 12月: 11月26日上越市と当行担当レベルでの協議。観光面での連携協力することとなった。 1月: 1月18日観桜会等のポスター配布100部配布決定。上田市と上越市の観光案内を支店レベルで企画。 (2月: 支店にてポスター掲示) (3月: 上田の3店で上越市関連展示)
B11	株式会社 北越銀行 (高田支店)	480	「地域企業応援パッケージ」による「しごとづくり」への貢献事業	<ol style="list-style-type: none"> 背景(「地域経済分析システム(RESAS)のデータより) <ul style="list-style-type: none"> 企業数の減少(2009年と2012年の比較: 469社減少) 創業比率の低迷(2009年～2012年: 全国平均1.84%に対して1.37%) 目的・目標 地域産業の競争力強化と雇用の創出 実施内容(「地域企業応援パッケージ」の実施) <ol style="list-style-type: none"> ふるさと投資(クラウドファンディング)、②総務省の「地域経済循環創造事業交付金」、③六次産業化ファンド、④技術協力室、⑤日本政策金融公庫との女性活躍応援連携融資パッケージ「トップレディー」など当行の金融・コンサルティング機能を発揮していくことで、創業、地域資源活用、地域ブランド化、成長分野強化、女性の就労先確保などを支援していく。 実施体制 上越市内3ヶ店(高田支店、直江津支店、南高田支店)と本部(コンサルティング営業部他)が、貴市(「メイドイン上越」認証制度とも連動)ならびに長岡技術科学大学・長岡造形大学など大学や外部機関とも連携し、上記事業を進めていく。なお、上記3.①については補助金を検討いただきたい。 	<p>○地域金融機関として、金融・コンサルティング機能を発揮することで「しごとづくり」に貢献例)「補助金・省エネ施策セミナー」開催(新潟県との共催)等</p>
B11	株式会社 北越銀行 (直江津支店)	490	「地域企業応援パッケージ」による「まちの活性化」への貢献事業	<ol style="list-style-type: none"> 背景 <ol style="list-style-type: none"> ①2014年4月、公共施設等総合管理計画策定要請。2015年6月、骨太の方針に人口20万人以上の自治体のインフラ整備にPPP/PFI検討原則化 ②地域交流・地域支え合いの拠点としての機能強化の必要性 目的・目標 公共施設・公的不動産の利活用についての民間活力の活用、安心な暮らしの確保 実施内容(「地域企業応援パッケージ」の実施) <ol style="list-style-type: none"> ①PPP/PFI事業化・組成支援 独立採算型による地域密着型PFI事業の取り組みサポート ②高齢者見守り事業への協力 日常活動の中で発見した異変を関係部署に連絡 実施体制 <ol style="list-style-type: none"> ①民間資金等活用事業推進機構などと連携 ②貴市による事業実施が前提(警察・消防、他金融機関、社会福祉協議会などと連携) 	<p>○地域金融機関として、金融・コンサルティング機能を発揮することで「まちの活性化」に貢献例)「こいがたPPP/PFIセミナー」(新潟県・第四銀行との共催)等</p>
B12	新潟県 信用組合 地方創生推進 委員会	500	地方版総合戦略の策定・推進に向けた協力	<ul style="list-style-type: none"> 「けんしん地域活性化支援資金」による金融支援 平成27年5月1日～平成28年3月31日 関係団体との協議、連絡による協力体制の策定 	<p>【地域活性化支援による貢献事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「けんしん地域活性化支援資金」による金融支援 創業、新事業支援ローンによる金融支援 3先支援 ○上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会への参画

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の実施内容
B13	日本政策金融公庫 高田支店	510	事業創生プロジェクト	<p>○事業創生プロジェクト</p> <p>・日本公庫では、「新規開業資金」などのご融資を通じて、あらたに事業を始める方や事業開始後の方のお手伝いをさせていただきます。地元での開業企業数を増加させ、地域の雇用を創出していきます。具体的には、上越市創業ネットワークのメンバーとして、創業セミナーの開催や公庫創業サポートデスクを通じて、様々な情報提供や提案と創業を志す方のバックアップを行っていきます。</p>	<p>○上越市創業支援ネットワークによる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回創業セミナー(インターネット関連) 27年7月開催 ・第2回創業セミナー(女性向けセミナー) 27年9月開催 ・創業塾開催 9月26日から11月28日の毎週土曜日(全10回) <p>○新規開業貸付等の融資を実施</p>
B13	日本政策金融公庫 高田支店	520	事業継続支援プロジェクト	<p>○事業継続支援プロジェクト</p> <p>・事業の安定と発展、廃業の抑制を図るためのお手伝いをさせていただきます。事業所の維持・発展は、地域の雇用増加にもつながり、市内への人の流入にもつながります。具体的には、全国152支店網を活かしたビジネスマッチングシステムの活用や公庫主催の国内最大規模の国産農産物展示商談会(アグリフードEXPO)を通じての、上越市内の企業家や農業家等の販路の開拓支援を行います。また、廃業の抑止に資する事業承継支援資金を通じての金融支援を進めていきます。</p>	<p>○商談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリフードEXPO東京の開催(27年8月18日、19日) ・アグリフードEXPO大阪の開催(28年2月18日、19日予定) <p>○事業承継支援資金等の融資を実施</p> <p>○まち・ひと・しごと創生貸付利率特例制度創設(28年2月22日)</p>
B13	日本政策金融公庫 高田支店	530	子育て支援プロジェクト	<p>○子育て支援プロジェクト</p> <p>・日本公庫の「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」及び「教育の機会均等」を目的として、昭和54年に創設されました。これまでに全国で延べ500万件のご利用をいただいております。</p> <p>・日本公庫では、昨今の厳しい経済状況において多くのご家庭で教育費負担が増大している中、「国の教育ローン」を通じて、国内外の大学、専修学校、高校などの進学・在学されるお子さまをお持ちのご家庭の方を対象に融資による修学面の支援を行っていきます。</p>	<p>○教育資金貸付(国の教育ローン)を上越市報へ掲載(1月15日号)</p> <p>○教育資金貸付(国の教育ローン)の融資を実施</p>
B13	日本政策金融公庫 高田支店	540	ソーシャル支援ネットワークプロジェクト	<p>○ソーシャルビジネスネットワーク構築プロジェクト</p> <p>・日本公庫では地域社会の課題解決に取り組み、安定的な雇用を創出しているソーシャルビジネスの担い手である、NPO法人など地域の問題を解決しようとする事業者さまを積極的に支援しています。</p> <p>・日本公庫でソーシャルビジネス支援等の経営支援を目的とするセミナーを全国各地で開催しています。</p> <p>・社会的課題の解決を目的とする事業者さま、保育サービス、介護サービス等を営む方、NPO法人などを対象とした「ソーシャルビジネス支援資金」を創設いたしました。</p> <p>・上越市や支援機関さまと連携させていただくことにより、NPO法人などの事業者さまからの融資のご相談・お手続きに対して、迅速に対応できます。</p>	<p>○上越市ソーシャル支援ネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市共生まちづくり課、くびき野NPOサポートセンター、上越信用金庫、当公庫においてネットワーク構築。2度の事前会議を開催(27年9月、11月)
B13	日本政策金融公庫 高田支店	550	高校生ビジネスプラングランプリ	<p>○高校生ビジネスプラングランプリ</p> <p>・活力ある日本を造り、地域の活性化のためには、次世代を担う若者の力が必要です。高校生を対象に実社会で求められる「自ら考え、行動する力」を培うことを目的に日本公庫では「高校生ビジネスプラングランプリ」を開催しています。第2回(平成26年度)グランプリには全国1,717件(207校)のエントリーがあり、最終審査会に選ばれた10校が東京大学伊藤謝恩ホール(東京都文京区)プレゼンテーションに臨みました。</p> <p>・日本公庫では応募いただいた高校を訪問し、ビジネスプランや資金計画の作り方などについて「出張授業」を行っています。</p>	<p>○高校生ビジネスプラングランプリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高田農業高校(9月15日)、高田商業高校業(9月24日)へ出張授業を実施 ・上記2校がビジネスプラングランプリにエントリー

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度 of 取組内容
B14	株式会社オアシス	560	上越まるごと応援隊 MogMogシスターズプロジェクト	<p>1.上越市の食材を使ったイベントの計画 2.トラックを使った移動PR部隊の都会への派遣(MogMogシスターズ) ・地域の農産物:米・野菜・加工品など ・地域のイベントの紹介PR(観光) ・ツアー商品の紹介など 3.旅行代理店を共に行うMogMogツアー(雇用) 上記についての計画を実行 これらについて新規雇用を生む</p>	<p>○「農」に関する方々との連携 ○MogMogシスターズの教育→採用ができていないので、平成28年度へ移行。 ○上越妙高駅でのPR活動と同時に、シスターズの募集も行う。 ○PR手法について検討(問い合わせ、打合せの実施)</p>
B15	上越商工会議所政策委員会(謙信)	570	謙信公聖地構想/春日山城を核とした「しろ巡り&まち歩き&食べ歩き」	<p>・上越商工会議所と(公社)上越観光コンベンション協会が平成26年策定した「謙信公・聖地(フィールド・ミュージアム)」構想を推進し、観光交流人口の拡大を図る。 ・上越市の観光振興重点地区である「春日山城跡」の景観整備・観光客の受入れ体制の構築、地域資源を活用した物産品・食の開発を通して魅力向上を図る。 ・同構想の各事業を順次実施していくことで「謙信公・春日山」に観光客を呼び込み、同所を起点とした市内周遊ルートを構築し、経済波及効果を作り出す。=上越市観光の産業化 ・上越商工会議所、(公社)上越観光コンベンション協会、自治体、市内事業者、地域連携(上田市等)を想定している。</p>	<p>○上田商工会議所と連携し、上越と上田を巡る着地型旅行商品を造成するため旅行エージェントモニターツアー、エージェントと地元事業者との商談会、一般モニターツアー(2回)を実施。 ○平成28年度の商品化が決定</p>
B16	上越観光コンベンション協会	580	魅力ある観光地づくり事業	<p>当協会では、観光事業及びコンベンション事業を本市への誘客の主軸とし、観光交流人口を拡大させ、経済波及効果・定住人口の増加につなげることを目標とする。 ○観光施設の運営:上越妙高駅、高田・直江津駅観光案内所の窓口業務、海水浴場等の管理運営 ○観光イベント:高田城百万人桜観覧会の運営 ○観光宣伝事業:上杉謙信公、春日山、高田公園の桜を中心にPRを展開 ○食を通じたPR:飲食店ガイドブックの作成、ご当地グルメの開発・普及 ○着地型旅行商品の開発:観光ボランティアガイド、二次交通、体験型商品 ○広域観光ネットワークの推進:上越・妙高市連携事業、新潟・佐渡・上越市の3市周遊ルートの形成、 ○コンベンション誘致:学会・スポーツ大会の誘致、コンベンション主催者への支援 ○観光物産展推進事業:姉妹都市等での物産展の開催 ○各種事務局:フィルムコミッション、上越まつり、上越運まつり、レルヒ祭</p>	<p>○北陸新幹線の開業効果及び首都圏、関西圏、北陸の観光キャンペーンが奏功し、観桜会などのイベントは過去最高の入込を見た。 ○北陸新幹線の開業に向けて誘致活動を行った全日本クラスのスポーツ大会が当市で開催され、多くの観客でにぎわった。 ○上越妙高駅を起点とする2次交通の着地型旅行商品である観光タクシー、観光周遊バスの利用客が増加傾向となった。</p>
B17	上越観光案内協会	590	古民家を核とする地域コンテンツ創造事業	<p>地域の担い手になる者の定住を促進する為には、働く事だけでなく趣味や遊びを通じて生き生きとした暮らしの糧を得ることのできる場が必要であり、また時代や環境の変化に対応出来る柔軟な発想力を併せ持つ粘り強い産業振興が必要。 上越地域の基幹産業の農業や観光の振興はもとより、自然志向型(信越トレール・冬期間のバックカントリースキー・スノボ・光ヶ原キャットツアー・クラブフルド妙高)等々、上越地域ならではの地域資源を生かした都市部との交流事業の更なる魅力化を図る。 (UIJターンの取り込みを狙った)取り組みとして日本人のみならず、旅慣れた外国人旅行者に対し、日本の雪国の原風景を残す築400年の古民家(江戸初期)と約3000坪の庭園、山林、農地を持つ清里区のS邸を有効利用し体験型ゲストハウス及びカフェ&レストラン・パン工房・ケーキ工房・地域の生産者が作る、美味しく安全な米と野菜の販路開拓販売。 訪れた人々にこの地域に豊富にある自然・歴史・文化資源などをピンポイントで案内しこの地のファンになってもらい共に適切に保全する。 上越地域の過疎地固有(中山間地)の地域資源 雪・食・住・環境を組み合わせながら取り組む(休耕田を利用する山菜園や雪を利用した抑制栽培など)基盤を作り、この古民家を新たな地域のコンテンツとして位置づけ上越地域(糸魚川・十日町)の顧客志向宿のモデルを目指す。</p>	<p>○保坂邸 平成26年11月21日～23日の間「紅葉に遊ぶ」と題し、一般公開を実施。 新潟県内屈指の豪農であった保坂家の歴史を知り、現存する建造物を始め所蔵品等の歴史的価値を再認識する場の設定。蔵をリノベーションしたギャラリーでの地元作家による「三人展」、「ジャズ演奏」。雁木を模した軒先での地元生産者による「マルシェの開催」など三日間で約850名の来場者に沸き、保坂邸の多くのファン及び事業賛同者が現れ一歩、地域活性化の核に近づいたように考える。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の実施内容
B18	頸城観光協会	600	観光による地域活性化	<p>頸城地域協議会で平成24年に区内の地域団体等に地域活性化の為の事業提案を促したところ65項目の意見や提案が寄せられ、頸城区に貴重な歴史・文化自然資産があり、これらを地域で守り、NPOや住民団体があるが、地域を上げて魅力を総合的に、企画、発信する機能に欠けている。観光を核とした地域振興策が必要であるとの多くの声があがり、これを受け地域協議会が区内の各団体に対し、連携した地域振興による、地域振興への参画を呼びかけたところ多くの賛同を頂き、地域が主体となって、取り組む、頸城区観光協会の設立を中心とした、【観光振興を核とした頸城区地域活性化事業】を地域を元気にするために必要な提案事業として、提案した。上越市の第6次総合計画の[すこやかなまち～人と地域が輝く上越～]に合致するものとして第一号に認定していただいた。</p>	<p>○3月27日 頸城区観光協会設立 ○4月30日 頸城区観光協会事務所開設 ○12月1日 ホームページの開設 ○新総合事業の地域支え合い事業にて送迎用のワゴン車を購入していただいております、空いている時を利用して11月に先進地視察、28年3月にスタッフによる区内の観光資源の勉強会を実施した。</p>
B19	上越ワーキングネットワーク	610	共同受注・共同販売事業	<p>・平成22年4月1日に市内の障害福祉施設のネットワーク(上越ワーキングネットワーク)を設立した(7月1日現在市内外15施設加入、利用者約500人) ・ネットワーク設立以前は基本的に各施設での仕事の受注となっており、大規模な仕事の受注は困難であった。 ・共同で受注することで大規模な仕事の受注も可能となる。 ・ワーキングネット内に、共同受注・共同販売に関する部会を設置し、活動している。</p>	<p>○県・市から農福連携事業委託。先進県(長野)の視察。 ○共同受注業務の受託。県と市、企業から。 ○共同販売会の実施。イトーヨーカドーエルマール等 ○PR活動。商工会議所へチラシ配布。毎月FMJに出演。</p>
B20	NPO法人上越地域活性化機構	620	デジタルサイネージ事業	<p>【目的】 デジタルサイネージのネットワークを構築することで、ICTを活用した情報伝達の基盤を確立し、地域を活性化します。 1.上越地域の情報ターミナルを確立し、日本一のICTを活用した街を目指します。 2.上越妙高駅を核として上越を訪れた人々を地域へ誘導します。 3.交通の各拠点にデジタルサイネージネットワークを構築し、利用効果を高めます。</p> <p>【事業内容】 (1)デジタルサイネージの機器販売、設置 (2)デジタルサイネージの運用管理、保守 (3)広告営業 (4)コンテンツ制作 (5)地域の観光・産業さとの情報発信 (6)デジタルサイネージの普及拡大 (7)災害時等の緊急情報発信</p>	<p>○新プラン企画等による上越妙高駅デジタルサイネージ広告の契約拡大 ○観光案内システム(ルートコンシェル)のフル機能版リリースに向けての開発(3月上旬にフル機能版をリリース) ○デジタルサイネージ事業運営の継続・拡大に向け、合同会社 地域情報プラットフォーム(通称LIP)へ事業運営を業務委託。</p>

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
B21	東京海上日動火災保険株式会社	630	東京海上グループソリューションによる地方創生実現サポート	●BCP策定支援((株)東京海上日動リスクコンサルティング) 「巨大災害時の減災、早期復旧・復興に向けたBCP策定支援(※自治体との連携要)」	○「巨大災害時の減災、早期復旧・復興に向けたBCP策定支援」については、(株)東京海上日動リスクコンサルティングの提供可能メニューとして準備が整っている。
B21	東京海上日動火災保険株式会社	640	海外輸出支援(海外PL団体制度)	●海外輸出支援((株)東京海上日動リスクコンサルティング) 「輸出先国の法規制調査」「製品リスク洗い出し」「取扱説明書・警告ラベル診断」「海外PL制度」	○「輸出先国の法規制調査」「製品リスク洗い出し」「取扱説明書・警告ラベル診断」について、(株)東京海上日動リスクコンサルティングの提供可能メニューとして準備が整っている。また「海外PL保険制度」については2015年7月～制度を立ち上げ、海外展開企業はもちろん、間接輸出の可能性のある企業も対象に情報提供を随時実施している。
B21	東京海上日動火災保険株式会社	650	農業経営安定化支援(異常気象災害時のリスク低減)	●農業経営安定化支援(東京海上日動火災保険(株)、(株)東京海上日動リスクコンサルティング) 「異常気象災害時のリスク低減(※金融機関様と提携要)」「食中毒事故対応、品質管理コンサル」	○「異常気象災害時のリスク低減」「食中毒事故対応、品質管理コンサル」について、(株)東京海上日動リスクコンサルティングの提供可能メニューとして準備が整っている。
B21	東京海上日動火災保険株式会社	660	外国人観光客の緊急時医療相談窓口開設	●外国人観光客の緊急時医療相談窓口開設(東京海上日動メディカルサービス(株)) 「日本国内での外国人向け医療相談(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語対応)」	○「日本国内での外国人向け医療相談(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語対応)」について、東京海上日動メディカルサービス(株)の提供可能メニューとして準備が整っている。
B21	東京海上日動火災保険株式会社	670	人材採用・雇用対策	●人材採用・雇用対策((株)東京海上日動キャリアサービス、東京海上日動火災保険(株)) 「社員採用時の人材紹介」「代理店候補生の採用・育成による雇用創出」	○「代理店候補生の採用・育成による雇用創出」を軸に、ハローワークへの公募をはじめ人材採用に関する情報発信を随時実施している。「社員採用時の人材紹介」については(株)東京海上日動キャリアサービスにて人材登録を行い、希望企業へのご紹介を実施している。
B21	東京海上日動火災保険株式会社	680	団体保険制度による企業防衛(「海外PL(間接輸出を含む)」「業務災害補償(ストレスチェックサービス提供)」)	●団体保険制度による企業防衛(上越商工会議所、東京海上日動火災保険(株)) 「海外PL制度(グレーゾーン対応型)」「業務災害補償制度(ストレスチェックサービス付帯)」	各制度ともに商工会議所会員企業向け団体制度として立ち上がっている。 ◆「業務災害補償制度(ストレスチェックサービス付帯)」 労働安全衛生法改正に伴うストレスチェック義務化に合わせ検討企業も増加。毎月加入可能、随時加入受付中。 ◆「海外PL制度(間接輸出対応型)」 2015年7月～制度開始。海外展開企業はもちろん、間接輸出の可能性のある企業にも不可欠な備えとして全国的に加入企業増加。毎月加入可能、随時受付中。 ◆「超ビジネスプロテクト(インバウンドビジネス支援サービス付)」 2016年7月～制度開始。火災や自然災害等の事故による休業リスクへの備えと賠償責任リスクをまとめ、更に火災リスクも補償可能にした給金パッケージ。多語電話通訳サービス、おもてなしサービスが無料で付帯されたインバウンド対策にも適した新しい制度。毎月加入可能。随時受付中。
B21	東京海上日動火災保険株式会社	690	女性の活躍推進に向けた環境整備	◆女性の活躍推進に向けた環境整備(東京海上日動メディカルサービス(株)) 「小児緊急電話相談を含むメディカルコールセンターによる働く女性サポート」	○「小児緊急電話相談を含むメディカルコールセンターによる働く女性サポート」について、東京海上日動メディカルサービス(株)の提供可能メニューとして準備が整っている。
B21	東京海上日動火災保険株式会社	700	CSR活動としての教育支援	◆CSR活動としての教育支援(東京海上日動火災保険(株)) 「みどりの授業(環境啓発)」「ぼうさい授業(災害対策)」※小学校向け	○「みどりの授業(環境啓発)」「ぼうさい授業(災害対策)」についてはいずれも上越地区における実施実績なし。日本全国各地で実施中。

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の実行内容
B22	上越商工会議所 政策委員会 (青年部)	710	～ストレスフリーなまちづくりで、交流人口を増やす！～ 日本海側で初めての「老いを楽しめるまち」を作る！	<p>・「ストレスフリー」「老いを楽しむ」「有意義に生きる」をキーワードとしたサクセスフルエイジングを体現できる街づくりを推進し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>・上越地域の特性を活かし、首都圏に住むリタイア世代の生活体験パッケージ『心身ともに健康でアクティブに生きる』を構築する。</p> <p>・構築にあたっては産業界(農・林・漁・商・工)、学術機関、先進地域と連携。</p> <p>・パッケージ例として、 ・発酵食品で健康に！ ・日本酒でジャパンパドックス～上越の酒で老けない人生を！ ・雪中運動で健康に！ ・体験農園でリフレッシュ！ …など</p> <p>・当地に滞在してもらうにあたっては、空き家(市街地・山間地)、農園などを有効活用する。 ※地域住民との交流を通じ地域コミュニティに溶け込み、上越市を好きになってもらう。</p> <p>・さらに、社会的ストレス過多が引き起こす“未病”(病気ではないが健康でもない状態)に関する研究も行う。</p> <p>・地元企業が連携し、未病改善に取組み、データを集積することで次世代に活用。</p> <p>・「老い」を研究する機関を設置し、福祉・医療・教育分野に活かす。</p> <p>事業共同体(構成団体は下記想定) ・自治体(新潟県及び上越市) ・民間企業(健康産業関連企業など) ・大学・研究機関(上越教育大学など) ・連携協力自治体 ※上越商工会議所青年部→事業共同体への側面的支援を担う</p>	○27年度途中での創案であり、具体的な動きはまだない。
B23	平安セレモニー グループ	720	結婚支援サポート事業	<p>事業背景 ・若い世代の結婚離れは、情報化社会、社会情勢の変化により、お付き合いに消極的な男女が増加している傾向が原因でもある。お付き合いの楽しさ、結婚を目的とすることの理解の必要性、その為には、まずは自分に自信をつけてもらい、出会いの場を提供した上で、積極的にお付き合いを後押しすることが求められている。</p> <p>事業内容 ・未婚の方が、自分に自信をつけて婚活出来るように、自分磨きが目的のプライムレッスンの開催。 ・未婚の方同士がお付き合いの相手を見つける婚活パーティーの開催。 ・登録者同士の紹介シートを用いたお見合いシステムの導入。 ・登録者へ専任のコンシェルジュが丁寧に、その方に合ったサポートを行う。</p>	○平成27年1月にファーレン新潟の事務所開設し、婚活パーティー20回の開催済 ○自分磨きのプライムレッスン10回の開催済 ○お付き合い組数10組達成 ○ファーレン新潟会員数120名(男女合計)達成
B24	上越商工会議所 政策委員会 (女性部)	730	上越商工会議所 めぐりあい事業	<p>・「上越商工会議所 めぐりあい事業」と題し、会員企業従業員の独身男女の出会いをサポートし、当市での結婚・就業・定住、そして人口減少の克服(少子化対策)を目指す。</p> <p>・会員企業約2000件のスケールメリットを活かした男女の出会いの場を提供でき、会議所が行うことで参加する男女にとっては安心感(送り出す企業も同様)がある。</p> <p>・従業員が出会うことで異業種交流にも繋がり、企業側にとっても会社経営の活性化となる</p>	○11月11日、新潟県による「あなたの婚活応援プロジェクト」の説明会に参加 ○県事業の概要を会員事業所へ情報提供
B25	上越助産師会	740	母子保健事業	<p>(1)会員 施設勤務と個人開業 (2)事業内容 ①助産師会 いいお産の日 10月24日 妊婦10名に沐浴プレゼント ②上越市母子保健事業 ③妙高市母子保健事業 ④性の健康講座 ⑤その他 個人開業で沐浴、乳房ケア、助産院経営、上教大講師、上越看護学校講師など</p>	○27年計画通り実施しました。 ○他に妙高市子育て支援フェアに参加しました。

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
B26	NPO法人マミーズ・ネット	750	子育て親子の居場所づくり	○子育て親子の居場所づくり ・地域で支えあう仲間作りと「孤育て」の解消を目的とする	○乳幼児を子育て中の親が、親子で交流し、互いに支え合える関係づくりの場として、「子育て応援ひろば ふう」を週に2回開設している。(年間94回開設)
B26	NPO法人マミーズ・ネット	760	子育て情報の発信	○子育て情報の発信 ・じょうえつ子育て応援誌 With Kids の発行 ・JCV『子育て応援団』の企画参加 ・地元密着のすぐに使える子育てに役立つ情報の提供 ・じょうえつ子育てinfo 上越市で子育てする人、特に転入者や初めて子どもをもつ親等に向けて、利用できる子育て支援制度や民間の情報、地域で子育てするために知りたい情報などを1人1人に合わせて伝え、コーディネートを行う。	○「じょうえつ子育て応援誌With Kids NEWS」を年に4回発行 ○JCV「子育て応援団」の企画参加 ○親子向けイベント情報の収集と発信
B26	NPO法人マミーズ・ネット	770	学習・啓発活動(講座・フォーラムの開催)	○学習・啓発活動(講座・フォーラムの開催) ・子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ・企業への出前子育て講座の実施	○10月7日 ミニ講座「赤ちゃんの遊びと育ち」 ○10月14日 ミニ講座「いざというときに役立つ 赤ちゃんのホームケア」 ○12月19日 子育てわいわいフォーラム「育児疲れとどうつきあう？」 (以上、新潟県少子化対策モデル事業の一環として実施) ○6月12日 勉強会「子ども子育て支援新制度を正しく学ぼう」(上越市と共催) ○11月28日 講演会「忙しいパパのための子育てハッピーアドバイス」(男女共同参画推進センター講座として企画運営)
B26	NPO法人マミーズ・ネット	780	子育てサークル支援	○子育てサークル支援	○4月20日 育児サークルの活動を促進するための情報交換・連携を目的とした「育児サークルお茶会」を開催
B26	NPO法人マミーズ・ネット	790	保育コーディネート	○保育コーディネート	○企業・行政・団体等からの依頼により随時実施
B26	NPO法人マミーズ・ネット	800	ライフステージリレーネットワーク事務局	○ライフステージリレーネットワーク事務局 ・平成26年度新潟県地域少子化対策強化事業「地域ネットワーク構築事業」として発足・上越地域で出会い・結婚・妊娠・出産・子育てに関わる37団体が参加している。	○今年度、リレーネットワークとしての活動は行っていませんが、まち・ひと・しごと創生推進協議会の「結婚・出産・子育て」ワークショップ部会自体が、同様の事業に相当すると考えています。
B26	NPO法人マミーズ・ネット	810	地域ができるネウボラ型支援プロジェクト	○地域ができるネウボラ型支援プロジェクト ・新潟県少子化対策モデル事業として今年度から29年度まで実施 ・「地域のネウボラ(地域の助言の場)」を開設し、精神的、時間的にゆとりをもって子育てできるように支援を行う。	○乳幼児を子育て中の親が、話したいときや聞きたいことがあるときに、訪れることができる「子育て応援ちょこっと」を、10月から週に2回開設している。同じ時間に短時間の一時預かりも実施している。
B26	NPO法人マミーズ・ネット	820	上越での子育ての魅力PR事業	○イメージ戦略 ・フォーラムを開催し、「子育ていちばんはこの上越で」を全国にPRし、U・Iターン者を呼び込む。上越で暮らすあらゆる世代に対して上越が子どもを産み育てやすいまちであることをPRし、上越を選び住み続けたいと考える若年層を増やす。実施主体としては、官民、大学やNPO等が連携して行う。	○県内外11か所にて、子育てに関する講演のなかで、上越の子育て支援について紹介している。

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の実施内容
B27	LLCまちみらい直江津	830	直江津地域観光のランドオペレーター事業	<p>1)背景 ・上越市の観光戦略においては選択と集中により「上杉謙信公」による観光イメージの確立を掲げ、重点エリアとして「謙信公の居城・春日山城跡周辺」と「花と雪の城下町高田」を集客の目玉とし、そこから市内各所の観光資源への周遊を目指しているが、直江津観光の生きる道は果たしてその戦略でよいのか？否、市の方針を踏まえつつ、直江津独自の観光戦略が望まれるところである。</p> <p>2)目的 ・直江津の5つの観光コンテンツを戦略をもって発信し、事業化していく。 ①首都圏から一番近い日本海・直江津 ②親鸞さまに会えるまち・直江津 ③迷路のような路地のまち・直江津 → 「人々が生き生きと暮らすまち・直江津」の実現 ④旅情あふれる物語のまち・直江津 ⑤祭りに燃える浜っ子のまち・直江津</p> <p>3)実施内容 ・観光、旅行斡旋に関する広告、宣伝、手配、観光案内に関する業務 ・まちあるきツアーの実施業務 ・観光素材の開発と情報発信業務 ・地産地消による関連産業の振興業務</p> <p>4)実施体制(協力・連携団体) ・現在模索中ですが協力体制を構築したい団体、組織として上越市、上越市観光コンベンション協会、JTB等旅行業者、地元旅行代理店等の皆様、地元商店街、地域の食文化のネットワークの皆様など</p>	<p>①旅情のまち・直江津迷宮案内まちあるきツアー(全10日)の実施 ②同上まちあるきツアーのFBページの開設 ③他地域、他団体のまちあるき学習会の受け入れ ④三八朝市エリアの地域ブランド力の強化(ライオン像の建物(旧直江津銀行)でのミニイベント。建物案内)</p>
B28	高田本町まちづくり株式会社	840	イレブンプラザ イベント誘致事業	<p>イレブンプラザイベント広場へのイベント誘致 ・商店街への来街のきっかけとして、イレブンプラザイベント広場への毎週末のイベント誘致をおこなう。 ・「毎週何かやっている商店街」というイメージの確立。 ・商店街店舗や他団体と連携し、イベント来場者による商店街の回遊及び、店舗への経済波及効果を目指す。</p>	○左記のとおり実施
B28	高田本町まちづくり株式会社	850	本町商店街出店サポートセンター	<p>○本町商店街出店サポートセンター ・物件情報、補助金情報、商店街の情報をひとつの窓口で提供し、本町商店街への出店希望者のサポートを行う。 ・本町商店街の空き店舗を管理する不動産業者・地権者・商店街・上越市・商工会議所と連携し出店希望者へ有益な情報提供を行う。月～金9時～18時開設中(要事前連絡)</p>	○左記のとおり実施
B28	高田本町まちづくり株式会社	860	本町商店街空き店舗巡りツアー	<p>○本町商店街空き店舗巡りツアー ・本町商店街の空き店舗物件内部を見学するツアーを企画・開催。 ・すぐに出店を希望する人から、いずれは起業したいと考えている人まで、気軽に参加できるツアー。 ・物件の情報だけでなく、街の雰囲気も体験してもらえるよう、イレブンプラザでのイベントの様子なども見学してもらっている。 ・不動産業者、地権者と連携してツアーを開催している。2カ月に1回開催予定(第1土曜日)</p>	○左記のとおり実施

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度取組内容																														
B29	上越商工会議所政策委員会(大島G)	870	<p>高田まちなかの「潤いとやすらぎのまちづくりプロジェクト」(新5か年計画)</p> <table border="1" data-bbox="513 1113 973 1938"> <tr> <td data-bbox="513 1113 593 1165">870-01</td> <td data-bbox="593 1113 973 1165">100年食文化と歴史のまち並み・観光創出事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1165 593 1218">870-02</td> <td data-bbox="593 1165 973 1218">まちなかの介護・医療・住い・子育て・働き場・移住の総合サービス事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1218 593 1270">870-03</td> <td data-bbox="593 1218 973 1270">若者能力開発・高校生就業体験・起業化支援促進事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1270 593 1323">870-04</td> <td data-bbox="593 1270 973 1323">企業向け軽度発達障害教育事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1323 593 1375">870-05</td> <td data-bbox="593 1323 973 1375">企業向け軽度発達障害者教育と就業・経営安定化促進事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1375 593 1428">870-06</td> <td data-bbox="593 1375 973 1428">福祉・教育・発達障害事業所の仕事・生活の調和と人づくり事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1428 593 1480">870-07</td> <td data-bbox="593 1428 973 1480">総合こども園・子育て住宅等環境整備事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1480 593 1533">870-08</td> <td data-bbox="593 1480 973 1533">商業ビル活用と首都圏交流等塾教育サービスの多角化事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1533 593 1585">870-09</td> <td data-bbox="593 1533 973 1585">高田駅・歴史まち並みにつながる福祉・商業・教育エリアまちづくり事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1585 593 1638">870-10</td> <td data-bbox="593 1585 973 1638">まちなかの空家・空店舗等の活用調査事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1638 593 1690">870-11</td> <td data-bbox="593 1638 973 1690">福祉・教育の首都圏交流体験等促進事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1690 593 1743">870-12</td> <td data-bbox="593 1690 973 1743">全国100年老舗料亭の和食文化伝承の連携ネットワーク事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1743 593 1795">870-13</td> <td data-bbox="593 1743 973 1795">福祉・食文化・教育・商業エリアで結ぶまちづくり支援事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1795 593 1848">870-14</td> <td data-bbox="593 1795 973 1848">駅まちなかの居住・介護・医療・就労と農村資源活用型移住促進事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="513 1848 593 1938">870-15</td> <td data-bbox="593 1848 973 1938">駅まちなかの移住・障害者福祉・観光体験交流によるネットワーク事業</td> </tr> </table>	870-01	100年食文化と歴史のまち並み・観光創出事業	870-02	まちなかの介護・医療・住い・子育て・働き場・移住の総合サービス事業	870-03	若者能力開発・高校生就業体験・起業化支援促進事業	870-04	企業向け軽度発達障害教育事業	870-05	企業向け軽度発達障害者教育と就業・経営安定化促進事業	870-06	福祉・教育・発達障害事業所の仕事・生活の調和と人づくり事業	870-07	総合こども園・子育て住宅等環境整備事業	870-08	商業ビル活用と首都圏交流等塾教育サービスの多角化事業	870-09	高田駅・歴史まち並みにつながる福祉・商業・教育エリアまちづくり事業	870-10	まちなかの空家・空店舗等の活用調査事業	870-11	福祉・教育の首都圏交流体験等促進事業	870-12	全国100年老舗料亭の和食文化伝承の連携ネットワーク事業	870-13	福祉・食文化・教育・商業エリアで結ぶまちづくり支援事業	870-14	駅まちなかの居住・介護・医療・就労と農村資源活用型移住促進事業	870-15	駅まちなかの移住・障害者福祉・観光体験交流によるネットワーク事業	<p>・高田駅中心市街地に、人々が集まる賑やかなまちづくり事業(四つの事業)の展開。 ・このプロジェクトは、第一次計画(H14～26年実施)の実績と評価を生かし、引き続きH28～32年の5か年を新計画として推進していく。 ・新計画は、高田駅周辺の「寺町、暮らし・福祉エリア」「本町、商業業務エリア」「仲町、食文化・商業エリア」「駅周辺の発達障害研究・研修エリア」、四つの事業拠点に新たな業務機能を導入し、みんなで連携しあうまちづくりを推進する。 ・新計画は、第一次計画の成果である、居住人口の回復(流し世代の回帰)・雇用人口の増加(新・起業化によるしごとづくり)・交流人口の拡大(来街者)を最重要課題としている。駅まちなかに人々が集まり・働き・暮らし・買い物客等で賑わうための起業化を一層進め、まちなかの活性化に取り組む。 ・事業化に要する体制・人材・事業用地は、相当部分を確保している。今後グループの各事業者(企業)がエリア別の実施計画を作成のうえ、事業着手に取り組む。なお事業化は、町内会・事業者・地域・大学・病院・行政等の多様な人々と連携を推進する。 ・新計画の「四つの事業拠点」は、以下の通り。</p> <p>1 暮らし、福祉エリア ・子供から高齢者の安心なライフステージを整備し、首都圏高齢者等の移住促進・地域の子育て・介護等の総合サービスを提供する。 ・高齢者の移住について、国立上越教育大学・県立看護大学の支援と地域コミュニティとの連携を進めていく。 ・高齢者住宅、子育て住宅、総合こども園、診療所、就労支援センター等の整備</p> <p>2 商業業務エリア ・新耐震オフィスビルの活用と進学塾の発達障害児教育・首都圏親子の体験滞在型教育・ワークライフバランス等の活力あるまちづくりを進める。</p> <p>3 食文化・商業エリア ・100年食文化・歴史のまち並み資源を活用し、商業・観光・しごとづくりが集積する、交流と賑わいのまちづくりを推進する。 ・100年を超える老舗料亭ネットワークづくり・大型バスターミナル・マルシェなど起業化ゾーン・シンボルロードの景観ゾーンの整備</p> <p>4 高田駅周辺企業向け軽度発達障害研究・研修エリア ・地域の自然・教育・文化の優れた環境を生かした研究・研修センターを整備し、企業経営活動の安定化と障害社員の健康と就労改善に貢献するモデル都市づくり</p>	<p>【寺町、暮らし・福祉エリア】 ①寺町まちづくり協議会(既存)で、新たに「生涯活躍のまちづくり」を進めるべき打合せ会を実施。(2月3日) ②いまままでに、寺町1～3、仲町5、北本町1丁目の会長と事務局担当者に事前説明を終了し、今後、どのような参加者を募るか、4月以降に新設部を設けるか等、協議研究活動を始める。 ③上越高校へ先生・生徒の協力依頼済み。 ④上越教育大学へのアプローチも予定したい。 ○いよいよ新年度活動計画を審議する。⇒この場で、『寺町、暮らし・福祉エリア』での提案内容を説明したい。</p> <p>【本町・商業エリア(1)】 ○放課後等デイサービススタッフ育成事業・運営ノウハウ提供事業およびFC設立 (ID870-06) ・27年7月に西城町で主に発達障害等の軽度の障害を持つ子どもたちをサービスの対象とした、「放課後等デイサービス また明日」を開設した。現在の利用者は16名。 ・新たな放課後等デイサービスを開所する調査を始めた。 ○首都圏や関西圏等の上越出身者の子弟対象の高付加価値型学習合宿 (ID870-08) ・2020年度入試改革に対応した英会話プログラムとプログラミング講座の導入を目指した、調査を実施。 ・高田高校校友会東京支部のイベントに参加。</p> <p>【本町・商業エリア(2)】 (全体事項) 1 市総合戦略事業の推進体制の整備 ・グループ各社連絡会議の設立(10月)と定期開催(6回) 2 提案事業の市関係課説明並びにH28年度市予算要望の実施(10月) 3 提案事業の国・関係団体へのプレゼン・要望の実施(12・1月)</p> <p>(個別事業) ○百年食文化・歴史のまち並み・観光創出事業(ID870-01) 及び 全国百年老舗料亭・和食文化伝承ネットワーク事業(ID870-12) ①基礎調査の実施 ・全国老舗料亭照会調査並びに訪問調査の実施。(6～12月) 照会調査 約3,000店、訪問ヒアリング調査(40店) ・公的補足調査の実施検討(1月) ②文化・観光資源活用調査の着手 ・国機関、大手交通事業者、観光事業者等と情報交換に着手(11月) ・全国百年料亭組織化の検討とH28市予算要望の実施(10月) (仲間づくり・国要望運動・シンポジウム等の開催等) ③観光事業の施行(プロモーション等) ・大型観光バス駐車場の整備とオープンセレモニーの実施(4月) (行政・交通・町内会・商店街・住民代表者の参加) ・マルシェ・屋台村の開設営業 (マルシェ 4～10月 5店舗、屋台村 7～9月 6店舗) ・新商品の開発販売促進(宇喜世の贈答・お土産品) 3セット</p> <p>○若者能力開発(高校生など)修行体験・起業化支援事業(ID870-03) ①マルシェ・屋台村開設による体験・出店の支援(4月)</p> <p>○高田駅・歴史まち並み・福祉・商業・教育エリアまちづくり事業(中心市街地・四つのコアづくり) ・浄興寺通り・歴史まち並み構想の事業化手法について 市・事業者の勉強会の実施(4月～3月)</p> <p>【高田発達障害研究研修エリア】 ○アール・ブリュット美術館の建設について ・7月6日～31日にかけて「ミュゼ雪小町」にて「アール・ブリュット展in上越」開催(来場者数3000名)期間中にアール・ブリュット美術館建設の署名活動を実施。5000名分が集まる。 ・上越市、柏崎市、新発田市、長岡市の社会福祉法人による障害者芸術・文化活動振興のためのネットワーク組織「新潟県障害者芸術文化推進ネットワーク(仮称)」を立ち上げる。 ・平成28年度の厚生労働省モデル事業「障害者芸術活動支援モデル事業」採択に向けて必要書類の準備や事務局体制の整備のための検討に入っている。</p> <p>○職場の発達障害研修センター ・厚生労働省と研修カリキュラムの相談を定期的実施。担当専門官より協力を取り付けている。 ・NTTデータ産業医の松村雅代Dr、広島大学・車谷洋氏をご紹介いただき、具体的な研修仮カリキュラムの策定を行い、平成28年度に試行的に行う研修事業の準備を進めている。</p>
870-01	100年食文化と歴史のまち並み・観光創出事業																																		
870-02	まちなかの介護・医療・住い・子育て・働き場・移住の総合サービス事業																																		
870-03	若者能力開発・高校生就業体験・起業化支援促進事業																																		
870-04	企業向け軽度発達障害教育事業																																		
870-05	企業向け軽度発達障害者教育と就業・経営安定化促進事業																																		
870-06	福祉・教育・発達障害事業所の仕事・生活の調和と人づくり事業																																		
870-07	総合こども園・子育て住宅等環境整備事業																																		
870-08	商業ビル活用と首都圏交流等塾教育サービスの多角化事業																																		
870-09	高田駅・歴史まち並みにつながる福祉・商業・教育エリアまちづくり事業																																		
870-10	まちなかの空家・空店舗等の活用調査事業																																		
870-11	福祉・教育の首都圏交流体験等促進事業																																		
870-12	全国100年老舗料亭の和食文化伝承の連携ネットワーク事業																																		
870-13	福祉・食文化・教育・商業エリアで結ぶまちづくり支援事業																																		
870-14	駅まちなかの居住・介護・医療・就労と農村資源活用型移住促進事業																																		
870-15	駅まちなかの移住・障害者福祉・観光体験交流によるネットワーク事業																																		

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(昨年度の報告内容)	平成27年度の取組内容
B30	城下町高田花ロード実行委員会	880	オープンガーデンとアートで繋ぐまちづくり	<p>○取組概要…全国的に人気の高い「オープンガーデン」を景観作りやまちの美化、子供たちやシニア層への園芸療法に生かし、首都圏からの「スケッチツアー」を誘惑することにより、交流実行を増やし、中心市街地の活性化に役立てる。また、来るオリンピックに向けて、商店街を中心としたインバウンド観光を提唱する。</p> <p>○ターゲット…市民/東京近郊の「スケッチ画」「水彩画」「ボタニカルアート」などの趣味の団体/花や庭づくりに興味のある人達/町歩きや美味しい日本食が好きな外国人/雪や城下町が好きな外国人</p> <p>○実施のフローチャート…中心市街地を核に特色あるオープンガーデンのまちを作る。(ガーデンと温泉、バイキングバスケットの商店街、綺麗になれる庭、海辺のガーデンetc)、公共の施設や企業内の庭などは、シニアや子供たちの園芸療法や園地体験の場として構築していく。→首都圏の「アート」サークルを対象にツアーを企画し誘客→食や物産、祭、年中行事などと合わせて地元住民とのコミュニケーションをはかり、継続的な交流と地域の活性化をはかる。以上の事業に、インバウンド観光を取り入れる。</p> <p>○協力体制…上越市/観光コンベンション/商店街/市民/博物館/温泉/旅行代理店/園芸業者</p>	<p>①平成27年5月～6月 市内のオープンガーデンの自宅、施設、学校等20軒をめぐる月間のオープンガーデンを実施。1万人以上の来場者があった。</p> <p>②平成27年10月 城下町高田花ロード実施日に合わせ、同上のお宅を巡るMapの作成。バスツアー(25人乗り×2台)を実施した。</p>
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1010	ガイドマップ作成事業	平成26年度発行のガイドマップを最も来街が見込まれる夏季に増刷するとともに、平成27年度内に掲載内容の更新版を発行。直江津地区の魅力発信による誘客と街なか回遊の向上を図り、通年の賑わいづくりにつなげる。	平成26年度に作成した「みなとまち直江津みどころガイド」を平成27年度に更新版を5000部発行。同マップを通して直江津地区の魅力発信による同地区への誘客強化と街なか回遊促進による賑い創出を図った。
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1020	鉄道資産利活用検討事業	京都など鉄道による活性化先進地区の視察や勉強会を実施して、「新潟県鉄道発祥の地・直江津」を発信する仕掛けづくりや鉄道資産も活用した地域振興策を立案。直江津地区中心部の活性化に向けた次年度以降の取り組みにつなげる。	鉄道を通じて地域活性化に取り組む地域から講師を招き、平成28年2月セミナーを開催。「鉄道のまち」を発信する仕掛けづくりや鉄道資産を活用した地域振興策を修学。「新潟県鉄道発祥の地・直江津」の発信と鉄道資産の利活用による直江津地区中心部活性化の今後の企画立案につなげた。
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1030	新水族博物館活用検討事業	新水族博物館の平成30年開業を見据え、知見を有する専門企業も交え、同館を核とする街なか誘引・回遊策や同館周辺の整備計画を検討。直江津地区中心部の活性化に向けた次年度以降の取り組みにつなげる。	平成30年、新水族博物館改行を見据え、上越市主催の「新水族博物館を核とした地域活性化検討会」、現水族博物館指定管理者などと連携し、街なか回遊策や同館周辺の商業施設整備計画を検討。直江津地区中心部の活性化に向けた次年度以降の取組みにつなげた。
B31	直江津まちづくり活性化協議会	1040	トキめき鉄道開業周年イベント事業	トキめき鉄道及び北陸新幹線の開業1周年を記念し、直江津地区の商店街や民間団体等が事業連携しながら、鉄道の歴史や直江津の食・文化等を紹介・販売するイベントを実施。直江津の魅力発信による誘客と街なかの賑わい創出を図る。	えちごトキめき鉄道開業1周年記念として平成28年3月に直江津駅自由通路を会場に沿線物産市や直江津スイーツまつり、トキ鉄PRイベントなどを実施。地元やトキ鉄の魅力を訴求し直江津地区への来訪を促進。直江津駅を中心として同地区全体の賑いづくりを図った。
B32	本町3・4・5商店街振興組合連合会	890	商店街活性化事業	<p>1. 年間を通じて「観桜会・春フェスタ」・「七夕まつり」・「越後謙信SAKEまつり」・「城下町高田花ロード」・「本町茶屋、年金セール」・「レルヒ祭協賛」などのイベントを実施。</p> <p>2. ショッピングセンターにはない専門性を重視し、個店の魅力向上のため、商店街逸品創出に取り組み、逸品創出事業「いーんだわ、これ」を実施。商品やサービスを紹介したパネル展示、見本市の開催。冊子等を発行した。</p> <p>3. 小中学校で実施している上越「ゆめ」チャレンジ職場体験学習の各店での受け入れ。高田商業高校を中心に上教大・北城中・大町小が連携して店舗経営を行うRikkaへの協力。高田農業高校食品化学科で実施している山カフェへの協力。この活動を通り、次世代の子供達に仕事をする楽しさ、キャリア教育の応援をおこなう。</p> <p>これらの事業を通じ、当商店街区の賑わいの創出および売上増進、中心市街地の活性化を図る。 協力体制…上越市/上越商工会議所/城下町高田花ロード実行委員会/(株)まちづくり上越/高田本町まちづくり(株)など</p>	<p>○商店街の専門性を活かし、商店街逸品創出に取り組み、逸品創出事業を実施。</p> <p>○ゆめチャレンジの受け入れ(職場体験学習)</p> <p>○商業高校や農業高校が実施している店舗経営への協力</p> <p>○次世代の子供達に仕事をする楽しさ、キャリア教育の応援を行う</p> <p>○年間を通じた商店街でのイベントを実施 「春フェスタ」「七夕まつり」「SAKEまつり」「花ロード」「年金セール」「レルヒ祭協賛」など</p>
B33	NPO法人くびき振興会	900	地域の連携強化	<p>現在、当団体は市から通園バス運行事業、コミュニティプラザ時間外受付事業を受託している。補助金事業として頸城の祭典、大池まつり、チャレンジスポーツ及びくびき文化祭を行っている。</p> <p>そして、今年度から新たに地域支え合い事業を受託し、区民の生活に密着した活動を行っている。</p> <p>それぞれの事業は一定の成果を上げているものの、若者、壮年者の参加が少なく、活動が区民全体の意向を反映しているかという点では課題がある。地区振興会や子ども会組織などを通して参加を募り各世代間の交流を促進・連携して活力のある活動に繋げて行きたい。</p>	○27年度の活動の反省であがった若年層の参加が少ないとの指摘に対して、実行委員会メンバーやプログラム構成を検討中

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
B34	NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部	910	地域再生を担う若者の人材育成「里創義塾」	①地域再生について専門的に学ぶ1年生、総寄宿の学校の運営「里創義塾」。 ②一般を対象とした短期間での座学による集中講義「里創義塾、夏期講習」の開催。 ③特別講師による地域づくりについての「公開講義」の開催。地域住民や地域づくりに関心のある人の学びの場を目指す。	○里創義塾の通年運営 4月中旬～3/20まで ○里創義塾「夏期講習」の実施 ○里創義塾「公開講座」の実施
B35	寺野の自然と暮らそうサポートセンター	920	光は寺野から事業	※移住支援事業に取り組んでいます 実施体制「お試し移住ハウス(1泊¥1,000/一人当たり)」による移住促進	○1. ジャンベお助け隊を設立し、ランプの里「たなか」を中心に年間を通して、ジャンベ教室を開催した。 ○2. 地元の小学4年生を寺野地区へ受入れて、子供の創造活動の一環として、ツリーハウスづくりや川遊び等を行った。
B36	高田の文化遺産継承実行委員会	930	高田の文化遺産継承事業	○これまでの取組 1.地域の文化遺産情報発信、人材育成事業 (1)『平成版・警女宿の記憶』編集事業(平成25年度) (2)『高田の文化』発信事業(平成25年度) (3)『高田の文化の語り部』育成事業(平成25年度) 2.地域の文化遺産普及啓発事業 (1)『高田警女シンポジウム』開催(平成25年度) (2)『高田の文化体験ツアー』実施(平成25、26年度) (3)『斎藤真一作品鑑賞@高田の雁木町家』展覧会の実施(平成25、26年度) (4)雁木町家で警女唄体験事業(平成25、26年度) ○今後の予定 平成27年 秋に警女資料館「警女MUSEUM高田」を開設。 11月21日、22日「体験ツアー」を実施。 平成28年 2月のレルヒ祭の時に「警女の門付け再現」を実施。	○28.2/4、5 警女体験ツアーを実施 (高田警女の文化を保存・発信する会) ◎「警女ミュージアム高田」の管理運営 ○イベント H28.6/12 高田警女ゆかりの地を巡るバスツアー H28.7/30、31 女優金澤碧「ひとり・かたり」 H28.10/8、9 ギャラリートーク H28.11/3 「放浪の系譜」シンポジウム H28.11/3～6 市川信次・信夫が残したもの 警女ミュージアム高田 開館1周年記念展(対談や警女唄演奏会) H29.2/4 門付け再現と警女唄演奏会
B37	Pens Renovation & Planning Organization(代行) 社会システム研究所(株) (事業主体)	940	「時系列人口動態分析システム」の開発 他	・上越市は2040年での出産女性の推定減少率は43.3%で消滅都市のリストには入っていない。しかし都市部を除く各区のほとんどが消滅可能都市に入る。各区の特性を生かした計画を作る。 ・日本創成会議の分析指針は以下の点で分析の視点が欠けている。 ①人口の推計を5歳階級別に行っているがこの方法では5年毎にしか正確な評価が出来ない。②移住者の促進やUIターンのようなゼロサム政策を推進するのは誤っている。③属性を年齢と性別のみで行っているが出生率に大きな影響を与える配偶関係や世帯なども考慮して分析する必要がある。 ・人口は人口変動の3要素の「出生」「死亡」「移動」のうち「出生」と「移動」をコントロールすることを目的とする。特に出生率の向上がキーポイントになる。出生率の低下は結婚しない若者が増えたことに起因するが結婚に至るプロセスの変化に着目し分析を行う。現在我々が開発中の「時系列人口動態分析システム」によるシミュレーション結果を用いて分析を進める。 ■事業概要 ・「時系列人口動態分析システム」の開発 ・調査分析を行い、研究会で結果発表。 (これまで静岡県小山町と宮城県亘理郡山元町について分析) ・分析のマニュアル作成および政策的アプローチ	-
B37	Pens Renovation & Planning Organization	950	雪のふるさと/古民家・町家再生リノベーション事業	◇上越市および上越市を含む広域での古民家の活用、上越市高田地区における町家の活用の調査研究、ビジネス化	-
B38	えちごトキめき鉄道株式会社	955	トキてつサポーターズクラブ	○サポーター会員 ・会費を払って入会。 ・会員特典は、会員証、優待乗車証、情報提供の付与、協賛店でのサービス利用。 ○サポート団体 ・駅周辺等でトキ鉄のサポート活動を実施する。 ・サポーターズクラブ事務局は、サポート活動に対して、クラブ会費から経費の一部を助成する。 ○協賛店 ・サポーター会員へ、商品の割引等のサービスを提供する。	○サポーター会員 ・会費を払って入会。 ・会員特典は、会員証、優待乗車証、情報提供の付与、協賛店でのサービス利用。 ○サポート団体 ・駅周辺等でトキ鉄のサポート活動を実施する。 ・サポーターズクラブ事務局は、サポート活動に対して、クラブ会費から経費の一部を助成する。 ○協賛店 ・サポーター会員へ、商品の割引等のサービスを提供する。

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
B39	頸城自動車株式会社	960	乗合バス事業	<p>人口急減、超高齢化、車社会の進展、交通体系の変化等を踏まえつつ、まちづくり施策と連携し、地域公共交通の活性化に取り組んでまいります。</p> <p>〈路線再編の取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市総合公共交通計画(平成27年～平成31年の5ヶ年計画)に沿って、これから市内のバス路線の具体的な再編実施計画を検討・策定していく予定です。 ・生活に密着した通学・通院・買い物の足として、また、高齢者の外出を応援するようなバスを目指して取り組んでいきたいと考えています。 ・また、新幹線駅からの市内二次交通の整備も含めて取り組んでいく予定です。 <p>〈利用促進の取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市で作成された公共交通時刻表や公共交通利用ガイドの作成・配布への協力 ・高齢者(70歳以上)を対象とした格安フリー定期券の販売 ・小学生を対象とした運賃50円「夏休みバス乗車体験」キャンペーンの実施 ・子育てジョイカード所有者を対象とした割引運賃(1乗車100円)の提供 ・高校生を対象とした区間・便限定の通学100円バスの実施 <p>(高齢者や子どもたちを対象に、気軽に路線バスを利用して外出していただける企画商品を提供し、人の交流を増やして地域の活性化につなげる取り組み。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○上越市総合公共交通計画に沿った具体的な再編実施計画の検討・策定 ○市内全域及び地区別で取り組む利用促進策の検討・計画策定 ○鉄道と路線バス、路線バス同士等の乗り換えに配慮したダイヤ改正(28年3月実施)
B40	北越急行株式会社	970	地域ローカル鉄道としてのほくほく線の利便性向上と魅力作り	<ul style="list-style-type: none"> ・超快速列車を始めとして列車全体のスピードアップを図るとともに、他鉄道との接続を改善し、速達性を向上させる。特に上越新幹線との接続に力を入れ、上越市東部エリアと首都圏とを身近なものに結び付ける。 ・地域のイベントに合わせた臨時列車や団体列車を臨機応変に設定して利用促進を行う。 ・地域の保育園から高校生までの遠足や体験に重点を置き、利用促進だけでなく市民のマイレール意識の醸成に貢献する。 ・マルシェ列車やクリスマstreインなど独自のアイデアでイベント列車を運行し、楽しむ鉄道という面を充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特急列車廃止後に超快速列車を中心に列車全体のスピードアップを図り、速達性を向上させた。 ○マルシェ列車や超低速列車など話題となるイベント列車を運行し、鉄道を楽しむ機会を提供した。
B41	しゅしゅクラブ	980	「女性の経験を生かした子育てシステム～子守り電車／子守りバス～」	<p>取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子育て経験者(市内女性)が中心となり、電車やバスを利用した子守りプランを実践し、未来の子供達を地域ぐるみで育てる環境を作る。(親子でも利用可能とする) ②月に1回～2回の約2時間程度の子守りをする事で、保護者の息抜きの時間を作り、子育てに優しい公共交通を目指す。 ③子供が小さい頃から電車やバスなど公共交通に触れることで、公共マナーやコミュニケーションの学びの場を構築する。 ④幼児を対象とした商品やサービスを事業としている大手企業の参画で、安心安全で快適なグッズやサービスを作り、他地域と差別化をはかれる二次交通を利用した子育てプランを実現する。 ⑤家族での二次交通利用や、上記サービス利用でおむつやミルク等の購入ポイントがたまる仕組みを作る。(新しい二次交通を応援する仕組み作りにも繋げる) <p>事業推進者 市内の子育て経験のある女性(50～60代を想定)／在来線事業者／バス事業者／大手子供向け商品、サービス関連事業者／保険会社／人材バンク等を想定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○会内において事業内容についてヒアリングを行っている。
B42	にいがた青年海外協力隊を育てる会	990	グローバルとローカルの両視点を持つ人材紹介事業	<ul style="list-style-type: none"> ○青年海外協力隊のJICAボランティア事業に対する地域理解と支援輪の拡大 実施例: 上越地区の首長に新隊員の表敬訪問 ○青年海外協力隊等のJICAボランティア事業参加者への地域協力支援 実施例: 青年海外協力隊・シニアボランティアの春・秋2回の募集説明会 ○地域社会における国際理解・交流及び開発教育の推進と人材育成 例: 地域の団体・学校などに出前講座の開催。地域のイベントに参加。 実施例: 上越教育大学付属小学校においてネパール地震における出前講座。 ナマステ募金(賛同企業・店等150店)と共同で行っている。 ○地域社会にグローバルとローカルの両視点を持つ協力隊員を多様な価値観を持つ社会に紹介する。 例: 隊員OBによる出前講座及び報告会。知識人の講演会。現職参加の説明。 実施例: 募集説明会におけるOB隊員の帰国報告会。 	<ul style="list-style-type: none"> ○青年海外協力隊のJICA事業に対する地域理解と支援の輪の拡大。 実施例: 青年海外協力隊50周年記念として、上越市市長・上越商工会議所会頭を青木盛久元青年海外協力隊事務局長・元ペルー大使が表敬訪問を行う。 ○青年海外協力隊のJICAボランティア事業参加者への地域協力支援。 実施例: 青年海外協力隊・シニアボランティアの春・秋2回の募集説明会 ○地域社会における国際理解・交流及び開発教育の推進と人材育成。 例: 地域の団体・学校などに出前講座の開催。地域のイベントに参加。 実施例: くびきの市民フェスタ・上越市民プラザにぎわいまつり等に参加。 ○地域社会にグローバルとローカルの両視点を持つ協力隊員を多様な価値観を持つ社会に紹介する。 例: 協力隊員OBによる出前講座及び報告会。知識人の講演会。現職参加の説明。 実施例: 青木盛久氏をむかえて青年海外協力隊と地域社会と題して座談会を開催。 募集説明会におけるOB隊員の帰国報告会。

団体ID	団体名	個別事業ID	個別事業名	事業の概要(戦略策定時の内容)	平成27年度の取組内容
B43	株式会社 上越タイムス社	1000	上越地域と首都圏を「つなぐ」プロジェクト	<p>上越タイムス社は3年前から、人口減少とそれに伴う活力の減退を少しでも防ぐ一助になればと、「上越タイムス」紙面上に首都圏面を設け、報道機関強みである情報の受発信を生かし、首都圏とのつながりを強めてきました。</p> <p>3年間の「つなぐ」活動で①ふるさと上越の人口減少は急速に進んでいる②首都圏在住の上越出身者が非常に多い③出身者のふるさと貢献意識が高い、という事実を確認しました。北陸新幹線・上越妙高駅の開業を機にこうした人たちと交流を進めるには、①上越からの情報発信②首都圏側からふるさと上越に向けた情報の受信③首都圏の出身者同士をつなぐ情報提供、が必要と思われます。あらためて、上越には、首都圏に「つながりたい」と思わせる魅力がある、首都圏には、上越と「つながりたい」と考える”上越人”がいる。このことから、当社の持つ情報を生かし、行政、団体、他企業と協力して地域活性化をすすめていきたい考えです。</p> <p>当社ですでに進めている「つなぐ」プロジェクトは、日刊紙面の首都圏版編集、首都圏向け「月刊紙」の発行をはじめ18事業、今後の実施をめざす「つなぐ」プロジェクトは19事業を整理しています。</p>	<p>①上越タイムス紙の首都圏版編集 ○毎週火曜日から土曜日まで毎日掲載している。</p> <p>②「月刊上越」の発行 ○平成26年10月号から毎月、24ページ編集で毎月3,000部を印刷している。 ○最近号は平成28年7月号。</p> <p>③上越3市の出身者組織との連携 ○ふるさと上越ネットワーク(Jネット)、東京糸魚川会、えちご妙高会をはじめ、東京新潟県人会、上越市13区の首都圏郷人会と連携している。</p> <p>④上越地域の高校同窓会の首都圏組織との連携 ○高田、直江津、高田北城、高田工業(上総)、新井、吉川、関根、上越の同窓会東京・首都圏支部と連携している。</p> <p>⑤ふるさと支援の市民活動団体やNPO法人との連携 ○妙高市出身者のNPO法人e-myoko、糸魚川出身者のNPO法人むらまち三世代の活動を支援。 「むらまち三世代」は本紙で「e-myoko」の活動を知り設立した経緯がある。 ○こうした活動支援を通して、上越市関係の支援団体づくりをサポートしている。</p> <p>⑥東京新潟県人会との連携 ○催し物の取材活動をはじめ、県人会の旅クラブの活動にも参加している。 上越出身者の県人会役員との交流促進</p> <p>⑦東京えちご祭りの上越出身実行委員との連携 ○大学生の実行委員のため、活動が不安定で、平成27年度の活動を把握できなかった。</p> <p>⑧フェイスブック新潟県人会との連携 ○時々開かれている交流会に積極参加している。</p> <p>⑨ネオ東京県人会との連携 ○全国の地方出身者による「出身地Day」のセミナーに積極参加している。</p> <p>⑩3市の空き家情報の提供 ○月刊上越で、糸魚川市と妙高市の空き家情報を毎月1ページで掲載している。</p> <p>⑪掲載情報によるビジネスや取り引きの結び目づくり ○毎月掲載の首都圏版の編集では、ビジネス関係のニュースの掲載を意識して掲載している。</p> <p>⑫首都圏の上越ゆかりの店紹介 ○毎月掲載の首都圏版で出身者の経営するお店を積極的に紹介している。</p> <p>⑬物産の販促つなぎ交流推進 ○現在、Jネットと連携し、通販連携を検討中。</p> <p>⑭3市出身のタレントや芸能人、スポーツ選手らの応援 ○上越タイムス社の日刊紙と月刊上越で積極的に掲載、紹介している。</p> <p>⑮小中学生による修学旅行の郷土アピール活動や物産販売活動サポート ○いくつかの学校の東京でのPR活動や出身者との交流を取材し、紹介した。</p> <p>⑯講演、フォーラム講師の斡旋、仲介 ○出身者の講演、フォーラム講師を積極的に紹介し、講演会やセミナーが開かれている。 ○平成27年9月22日には上越タイムス社、上越市、看護大、上越医師会の共催で上越タイムス社で連携した小柳仁氏の基調講演会と市民フォーラムも開くことができた。</p> <p>⑰北陸新幹線の開業を機にした里帰りプロジェクトの支援 ○3月14日の開業日の里帰りプロジェクトの紹介のほか、新潟県人会旅クラブの観桜会ツアー、東京牧村会による里帰り総会などを積極的に紹介した。</p> <p>⑱Iターン、Uターン、Jターンの支援 ○月刊上越にU・I・Jターン促進の紹介ページを設けて紹介している。</p> <p>①首都圏に進学、就職した卒業高校生に「月刊上越」と広報紙を成人まで配布する事業 ○未着手</p> <p>②上越教育大と県立看護大の卒業生との連携 ○上越教育大学と報道機関との情報交換会で「つなぐ」プロジェクトを説明し、JETプロジェクトを支援している。</p> <p>③ふるさと産品の通販事業の展開 ○上越市による首都圏での物産展などの運営状況の確認、並びにJネット「ふるさと市場」の運営状況の確認、Jネットとの通販をめぐる懇談会実施。 9月から月刊上越でカタログ通販を予定</p> <p>④上越市の有楽町常設マルシェの運営支援 ○有楽町マルシェ開設の情報提供を受け、告知記事を新聞掲載しているほか、現地取材もしている。</p> <p>⑤交流イベントの企画、運営、主催 ○未着手</p> <p>⑥首都圏と上越を結ぶ文化賞の創設 ○ニーズの把握</p> <p>⑦3市のふるさと納税の紹介とPR ○3市と県のふるさと納税の紹介記事の掲載</p> <p>⑧ふるさとにエールを送る便りや投稿の奨励 ○首都圏在住の「月刊上越」読者が上越タイムス広告会の「第15回コミュニティ懸賞作文・我がまち上越」に応募し、2人が入選した。</p> <p>⑨出身者がガイドを務める首都圏ツアーの企画 ○実施企画を進めたが、出身者ガイドの退社で実現できなかった。</p> <p>⑩ゆかりの施設や会社、工場めぐり企画 ○日刊紙と月刊上越で首都圏にある上越ゆかりの地の紹介をしている。</p> <p>⑪ふるさとツアーの企画 ○関係団体に推奨し、県人会旅クラブによる観桜会ツアーと東京牧村会のふるさと里帰り総会が実現した。 ○開業新幹線の貸し切りツアーは実現しなかった。</p> <p>⑫商工団体とタイアップした上越・東京経済懇談会の企画・主催 ○未実施</p> <p>⑬婚活イベント企画 ○主催事業も企画を検討する一方、市民グループや郷人グループの企画をサポートする。</p> <p>⑭就活イベント企画 ○情報発信と関連セミナーの記事紹介。並びにU・I・Jターン推進の月刊上越企画。 田舎ぐらしセミナーや地域おこし協力隊の事業を支援。</p> <p>⑮出身者の若者懇談会 ○フェイスブック新潟県人会の交流会への参加</p> <p>⑯ちりつもプロジェクトの支援 ○ちりつもプロジェクトにからむ全取材依頼への対応</p> <p>⑰前島密顕彰の年賀状コンテストの実施 ○本紙上越タイムスと合わせ企画検討</p> <p>⑱前島密ゆかりの横須賀市との交流促進 ○墓前祭の取材他2市の市長交流の取材と報道。上越市と横須賀市の顕彰団体の取り組み紹介。</p> <p>⑲郵政博物館との連携 ○郵政博物館並びに特別展示会の報道</p>

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号		事業概要	平成27年度の取組内容
	担当課						
A13	上越市	農政課	水田農業推進事業	A-1-1	A-1-4	○「新潟米」の高品質化又は食味・品質調査と区分集荷・保管のために必要なリース用機械の整備、飼料用米等非主食用米及びコシヒカリ以外の銘柄米の生産拡大に必要な機械、生産に係る作業を受託するために必要な共同利用施設の整備等に係る経費の一部を支援	○飼料用米等非主食用米及びコシヒカリ以外の銘柄米の生産拡大に必要な機械(トラクター2台・田植機1台・コンバイン2台・乾燥機2台など)、生産に係る作業を受託するために必要な共同利用施設の整備(JAカントリー)を支援した。
A13	上越市	農政課	園芸振興事業	A-1-1	A-1-4	【農林県単事業費補助金(園芸振興)】 ○園芸の生産拡大や生産コスト低減を図るため、県補助金を活用し、農業者が行う施設整備や機械整備を支援する。 【園芸振興事業費補助金】 ○米価下落や米消費の低迷による農業収入への影響を緩和し、農業所得の向上を図るため、園芸導入に必要な初度的経費の一部などを支援し、単一経営から複合経営への転換を促進する。	【農林県単事業費補助金(園芸振興)】 ○園芸用パイプハウス4棟、アスパラガス重量選別機1台の導入等に係る経費の一部を支援した。 【園芸振興事業費補助金】 ○えだまめの生産者(11)、アスパラガスの生産者(6)、ブロッコリーの生産者(4)の生産拡大に係る種苗費等の初度的経費の一部を支援した。 ○えだまめの食味向上を図るため、43の生産者に有機質肥料購入経費の一部を支援した。
A13	上越市	上越ものづくり振興センター	特産品開発支援事業	A-1-1		○上越の資源や特性を生かした特産品の開発や商品化に要する経費と販売促進に要する経費の一部を補助し、上越ならではの特産品を開発し、地域産業の活性化を図る。 ・特産品開発のために必要な研修、原材料費、マーケティング活動費、印刷費などを補助する。 補助率:1/2 補助額300千円(商品パッケージのみの変更の場合200千円)	○平成27年度は、7件の開発を支援した。(採択8件の内、1件は中止) ○平成25年度～平成27年度の間で、合計15件の特産品開発を支援している。(3年間の時限制度)
A13	上越市	農村振興課	アグリビジネス創出支援事業	A-1-1	A-1-4	○地域資源を活用した農業者等による6次産業化の取組を進めるため、研修会を開催するほか、農業者が行う農産加工品等の開発や規模拡大に必要な経費の一部を補助する。	○6次産業化セミナーの実施
A13	上越市	上越ものづくり振興センター	メイド・イン上越推進事業	A-1-1		○市内のものづくり企業等の販路拡大を支援するために、優れた工業製品及び特産品を認証し、PR等を行う。 ○特産品については、認証品製造事業者の連携による取組の支援や、ブランドイメージの定着と発信の強化を図るほか、農商工連携等による地域一丸となつての「選ばれる産品」づくりに向けた研究開発を進めるなど、事業を拡充して実施する。	○メイドイン上越認証品は、これまで食品56商品、工業製品19製品を認証している。新幹線開業に合わせ、上越妙高駅内に常設販売コーナーを設置、平成27年度には、新たに市内に2か所の常設販売コーナーを設置し、販売促進とブランドとしての発信と定着に向けた取り組みを行っている。
A13	上越市	環境保全課	雪エネルギーを活用した新産業創出事業	A-1-1		○雪冷熱エネルギーの普及促進と産業振興のため、(仮称)雪むろ食品推進プロジェクトを立ち上げるとともに、新たに雪中貯蔵食品等の商品化と事業展開への支援を実施する。	○雪冷熱エネルギー活用の手引作成 ○プロジェクト組織の立ち上げ支援 ○雪室改修への支援 ○雪室推進セミナー開催の支援
A13	上越市	産業振興課	eコマース推進事業	A-1-1		○市内の中小事業者によるインターネットを利用した販売活動を促進し、商品やサービスの売り上げ増加と販路拡大を図るため、インターネットショップの開設等に係る経費の一部を助成する。 ○市内事業者がインターネットを活用した販売活動の利点やノウハウを普及啓発するため、eコマースセミナーを開催する。	○eコマース参入に向けたセミナーを2回開催(7月、9月)した。 ○IT活用販売促進事業補助金を創設し、市内中小企業によるインターネットショップの開設、インターネットショッピングモールへの出店等に係る経費を一部補助(27件)した。
A13	上越市	上越ものづくり振興センター	見本市等出展事業	A-1-1		○市内のものづくり企業等が市外・海外で行われる見本市、展示会、商談会等に出展する際の経費の一部を補助し、新規受注先の獲得など販路開拓を支援する。	○平成27年度は、一般枠で4社、新市場開拓枠で6社を支援した。見本市等への出展を契機として、一般枠で10件、新市場開拓枠で14件、合計24件の商談成立があった。
A13	上越市	産業振興課	地域商業活性化事業	A-1-1		○地域商業の発展を図るため、商店街振興組合等による活性化に資する主体的な取組を支援する。 ○平成29年4月に予定される消費税率引上げに備え、地域経済の底上げと、中小企業者の業績改善、経営の安定化を図るため、地域商業活性化事業補助金に特別枠を設け、拡充して実施する。	○地域商業振興のため、商工会議所、商工会、商店街、関係団体が主体となって行うイベント事業、人材育成事業等を支援し、商店街及び商工団体等の振興を支援した。 ○地域自治区を超えた広域的な連携を支援し、市外からの集客増につなげながら地域商業の活性化を図った。

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の取組内容	
		担当課					
A13	上越市	農村振興課	農産物販売促進事業	A-1-1	○農業者等の所得向上を図るため、首都圏等において、当市の優れた農産物や農産加工品等の効果的な販売促進活動を実施するほか、都市生協組合員による農作業体験や交流を通じて、上越産品の販売を促進する。	○首都圏等の飲食店と生産者のネットワークを確立するため、上越市ゆかりの飲食店シェフらを招いた産地見学による農産物のマッチングや、生産者が飲食店を訪問し交流を進めた。 ○首都圏等における継続販売につながる体制作りのため、生産者自らが首都圏直売所へ出店する活動を支援した。 ○米をはじめとする主要産品の新たな販路開拓のため、生産者自らが全国規模の商談会へ出展する活動を支援した。 ○首都圏等における観光イベント等で、農産物や農産加工品等の積極的なPRを行った。 ○大消費地における上越産米のトップセールスを行った。 ○「食料と農業に関する基本協定」に基づく推進計画の改定 ○「こだわりを持った上越市の農産物への理解を深めてもらうため、生協組合員を対象とした農作業体験、地域農業を学ぶ交流事業に要する経費の一部を支援した。 ○生協主催のイベントに出店し、上越市の農産物や農産加工品等の優位性を発信した。	
A13	上越市	農政課	学校給食用野菜産地化事業	A-1-1	○学校給食に使用される野菜の地場産比率を高めるとともに、地場産野菜の安定的供給を推進するため、農業者の作付に要する種苗費の一部を支援する。	○学校給食用野菜を作付する34の生産者団体等に対し種苗費の一部を支援した。 ○これまでの合併前上越管内の学校に野菜を供給する生産者への支援に加えて、頸城区(6)、名立区(1)管内の学校に野菜を供給する7の生産者団体等に対しても支援した。	
A13	上越市	農村振興課	食育推進支援事業	A-1-1	○自らの健康に関心を持ち、食を選び取っていく力を身につけるため、市民等に対し、アクションプランに基いた個別事業を実施するほか、第3次上越市食育推進計画の策定を行う。	○食育フォーラムの開催 ○食育アンケートの実施 ○食育の普及のための啓発資料の作成 ○地産地消推進の店ガイドブックの更新 ○地産地消認定店を活用したキャンペーンの実施	
A13	上越市	農村振興課	上越米輸出促進事業	A-1-1	○海外への販路拡大を図るため、農業者等に対し、輸出に関する情報を的確に提供するほか、中国への米の輸出が再開された場合には「中国向け新潟米輸出促進協議会」と連携し中国における販売促進活動を実施する。	○新潟米輸出促進セミナーへ参加	
A13	上越市	農村振興課	上越伝統野菜推進事業	A-1-1	○「上越野菜」の生産と消費拡大を図るため、上越市内の生産者、飲食店、食品加工業者、流通業者、JA、行政などで組織する「上越野菜」振興協議会の活動を支援し、生産から調理・加工、販売までを総合的に推進する持続可能な体制を確立する。	○「上越野菜」振興協議会の活動を支援し、生産から調理・加工、販売までを総合的に推進する体制を整備した。 生産拡大:種子、苗等の支援 商品開発:事業者等が行う加工品開発の費用助成 啓発・普及:学校等への出前講座、イベント出店などによるPR	
A13	上越市	上越ものづくり振興センター	発酵のまち上越推進事業	A-1-1	A-1-3	○上越の発酵食品の振興を図るため、異業種で構成する「上越発酵食品研究会」が中心となって行う発酵食品の開発・磨き上げ、PR等を支援し、発酵のまち上越のイメージ確立を図る。	○平成27年度は、市内外の各種イベントへの積極的な出展により、PR、ブランドイメージの定着を図った。メディアへの露出機会も増加し、発酵のまち上越の意識の醸成が図られた。
A13	上越市	産業立地課	企業誘致促進事業	A-1-2	A-3-2	○当市に立地を検討している企業の立地実現に向けた取組を行う。 ○新潟県南部産業団地に製造業や卸売業、道路貨物運送業(物流センター)を誘致するための取組を行う。 ○上越妙高駅周辺地区への企業の事務所等の誘致に、継続して取り組む。	○市職員による誘致活動…企業訪問件数246件 ○民間のノウハウを活用した誘致活動 ○産業団地パンフレットの作成
A13	上越市	産業立地課	企業誘致トータルサポート	A-1-2	A-1-3	○企業の新規立地から操業後までのフォローを産業立地課が総合窓口としてサポートするとともに、新規立地企業に対して定期的にニーズ把握を行う。	○庁内支援体制の整備が完了
A13	上越市	産業立地課	直江津港振興事業	A-1-2		○荷主企業等を対象にポートセールスを行うほか、一定の条件を満たした荷主等に補助金を交付する。 ○港湾事業者と連携して港湾サービスの一層の利便性向上に取り組む。	○荷主企業等へのポートセールスの実施…131企業・団体 ○業種別団体への説明…128企業・団体 ○外資定期コンテナ利用促進支援補助金の交付 ○物流アドバイザーの助言を踏まえた港湾事業者との連携やワンストップ窓口設置等の検討
A13	上越市	産業立地課	上越国際ビジネス研究事業	A-1-2		○市内企業を対象に上越国際ビジネス研究会を開催し、海外事業展開に関するノウハウや海外の経済情勢などの情報を提供するほか、個々の課題解決に向けた参加者同士の意見交換等を行う。	○研究会を開催し、個々の企業の海外事業展開力の向上を図った。(5/13、10/7、2/17の3回 延べ参加者24人) ○市内企業の海外取引の現状や今後の意向に関するアンケート調査を実施し、市内企業の新たなビジネスチャンスの可能性検討のための情報を把握した。

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の取組内容	
	担当課						
A13	上越市	産業立地課	地域エネルギー活用事業	A-1-2	○資源の調査や商業化における直江津港の拠点港化のために、関係機関に対する情報収集や支援策の検討を行う。 ○将来の商業化に向けた機運醸成のために、市民にメタンハイドレートの周知・啓発を行う。	○情報収集 産業技術総合研究所等の訪問や、国や関係機関が開催したメタンハイドレートフォーラム2015(10/1)、第2回メタンハイドレート研究会(1/22)、国による資源量調査結果検討会(3/16)などに参加し情報収集を行った。 ○周知活動 上越市環境フェア(6/28)、青少年のための科学の祭典上越大会(11/21・22)などにPRブースを設置したほか、市内商業施設での環境イベント(バロー、アコーレ)でのパネル展示等により周知活動を実施した。	
A13	上越市	道路課	上越魚沼地域振興快速道路整備促進事業	A-1-2	○上越魚沼地域振興快速道路 上越三和道路(寺IC～(仮)三和IC)L=7.0kmの整備	○期成同盟会等の要望活動 ○道路建設関係団体との連絡調整	
A13	上越市	道路課	都市計画道路黒井藤野新田線整備事業	A-1-2	○広域交通ネットワークを構築するため、黒井藤野新田線の整備する。 ・用地取得、物件補償・調査委託、測量委託 ・道路、橋梁詳細設計・道路改良工事・橋梁下部、上部工事	○道路詳細設計 ○橋梁詳細設計 ○土質調査(CBR試験) ○用地測量・用地調査 ○営業補償調査	
A13	上越市	河川海岸砂防課	保倉川治水対策促進事業	A-1-2	○国・県と連携し、地元関係者との話し合いを通じ治水対策の合意形成を図る。また、国・県へ保倉川の抜本的治水対策の早期推進を要望する。	○国県市の関係機関との定期打合せ ○関係町内等へ関川流域委員会及び関川・保倉川治水対策検討部会における再点検内容に事前説明 ○関川流域委員会(1回)及び関川・保倉川治水対策検討部会(2回)の開催	
A13	上越市	産業振興課	U・I・Jターン雇用促進事業	A-1-2	A-3-2	○UIJターンと若者の地元定住を図るため、市内企業への就職を促進する。 ・当市に転入・就労した者及び市内在住の30歳未満の若者で初めて就労する者への家賃補助 ・県外の学生が市内企業の就職試験を受ける際の旅費を一部補助	○専門員による企業や学校訪問等を通じ、ニーズや効果的支援内容等を把握し、それらを踏まえた検討を行い、平成28年度の事業化した。
A13	上越市	上越ものづくり振興センター	企業支援コーディネート事業	A-1-3	○市内のものづくり企業等の振興を図るため、産学連携や企業間連携のコーディネート、各種支援制度の紹介などを行う専門員を配置する。	○平成27年度は、コーディネート実績としては、産学官連携で17件、企業間連携で8件のマッチングを支援。その内、産学官連携で、14件、企業間連携で2件が成立させた。	
A13	上越市	産業振興課	創業の促進事業	A-1-3	○上越市創業支援ネットワークが中心となった創業者・第二創業者に対する支援の充実を図る。 ・創業塾・創業セミナーの開催、事業計画の策定支援、融資相談、創業後のアフターフォロー等 ○上越市創業支援利子補給補助金の交付を通じて、創業・第二創業を促進する。	○上越市創業支援ネットワークが中心となり、創業・第二創業希望者に対する総合的な支援を実施した。 ・創業塾(9月から11月)の開催 ・創業・eコマースセミナーの開催(7月、9月) ・創業に役立つ情報発信(パンフレットの作成・配布、HPの作成・公開) ・創業相談 ・ネットワーク会議(5回)等 ○上越市創業支援利子補給補助金を創設し、創業塾修了者による創業・第二創業に係る資金の借入に伴う利子相当額を補助(2件)した。	
A13	上越市	上越ものづくり振興センター	上越ものづくり協議会支援事業	A-1-3	○市内のものづくり企業等の販路拡大を支援するため、企業等で組織する上越ものづくり協議会が取り組む展示会への共同出展を支援する。	○平成27年度は、第18回関西機械要素技術展に5社で共同出展した。期間中は、具体的な商談が10件あった。(試作依頼3件、見積図面検討依頼4件、後日訪問3件)	
A13	上越市	上越ものづくり振興センター	上越ものづくり企業データベース事業	A-1-3	○市内のものづくり企業等の受注機会の拡大や連携を支援するため、各企業等が保有する技術・設備等の情報を発信するホームページを継続するとともに、紹介冊子を拡充・更新する。	○登録企業の情報登録を随時更新するとともに新規登録企業の掘り起こしを行っている。(新規登録はなし)関係機関等の支援等の有益な情報発信に努め、過去最高のアクセス数となった。(対前年比 28%増加、31,612件の増加) ※H27アクセス総数=142,181件	
A13	上越市	上越ものづくり振興センター	中小企業研究開発支援事業	A-1-3	○市内のものづくり企業等が行う新しい分野への参入、新技術や新製品の開発等を推進する。	○平成27年度は、4件の研究開発を支援した。商品化には至っていないものの、商品化に向け着実な成果が得られており、今後、磨き上げを行っていく。(採択4件の内、3件が新たな商品の開発、内1件は、商品化済みの設備の検証)	
A13	上越市	産業立地課	設備投資促進事業	A-1-3	○大規模な設備投資を行う企業を奨励企業(指定工場)に指定し、奨励金を交付する。また、奨励企業へ工場等設置資金を融資する。 ○市内産業団地等の分譲に際して産業団地等取得補助金を交付する。 ○企業訪問によるニーズの掘り起こし及び企業振興制度の周知を行う。	○奨励企業指定状況 ・指定件数:18件 ・設備投資額:9,668,626千円 ・新規雇用:85人 ○市の施策や地域経済の動向を踏まえ、企業設置等奨励金等交付対象業種の絞り込みを行うとともに補助率を見直す。 【平成27年度の取組】 ・制度設計	

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の取組内容	
	担当課						
A13	上越市	産業振興課	中小企業融資支援事業	A-1-3	<p>【経営力強化資金預託金】</p> <p>○金融円滑化法終了後の市内中小企業の資金繰りと事業継続を支援するため、中小企業等の経営力の強化を図ることを目的とした「経営力強化保証制度」(国の全国統一保証制度)と連動した融資制度を運用する。</p> <p>【信用保証協会保証料補助金】</p> <p>○中小企業者の資金繰りの安定と設備投資の促進を図るため、中小企業者が信用保証協会の保証付きで市制度資金及び一部の新潟県制度資金を利用した場合、中小企業者が負担する信用保証料の一部を市が負担する。</p> <p>【審査・預託事務】</p> <p>○中小企業者の経営の安定化及び設備投資を支援するため、市が金融機関に一定の資金を預託し、金融機関による中小企業者に対する融資の円滑化を図る。</p> <p>・金融機関は市の預託金に自己資金を加えて融資を実行</p> <p>・金融機関経由で各種資金の融資申込を受け付け、市で審査の上、貸付を決定</p> <p>【経営改善支援資金(景気対策特別資金)にかかる損失補償】</p> <p>○中小企業者の資金繰りの安定化を図るため、市と新潟県信用保証協会が締結した損失補償契約に基づき、信用保証協会が金融機関に対して経営改善支援資金(景気対策特別資金)を代位弁済する際に損失が発生した場合、その損失の一部又は全部を市が負担する。</p>	<p>【経営力強化資金預託金】</p> <p>○市と金融機関が協調し、金融機関を通じて中小企業に融資を行った。</p> <p>・経営力強化資金預託金</p> <p>【信用保証協会保証料補助金】</p> <p>○中小企業者が信用保証協会の保証付きで資金を借る場合、信用保証料の一部を市が負担した。</p> <p>・信用保証協会保証料補助金</p> <p>【審査・預託事務】</p> <p>○市と金融機関が協調し、金融機関を通じて中小企業に融資を行った</p> <p>・地方産業育成資金預託金 ・中小企業振興資金預託金</p> <p>・工場移転特別資金預託金 ・経営改善資金預託金</p> <p>・中心市街地活性化資金預託金 (・中小小売業活性化資金預託金)</p> <p>(・商店街近代化資金預託金) ※()償還のみ</p> <p>【経営改善支援資金(景気対策特別資金)にかかる損失補償】</p> <p>○損失補償契約に基づき、信用保証協会が金融機関に対して経営改善支援資金(景気対策特別資金)を代位弁済する際に損失が発生した場合、その損失の一部又は全部を市が負担した。</p> <p>・経営改善支援資金(景気対策特別資金)に係る損失補償料</p>	
A13	上越市	産業振興課	中小企業振興対策事業	A-1-3	<p>○各地区内の商工業の総合的な改善発展を図るため、各区商工会及び上越商工会議所の運営費に対して補助金を交付し、市内商工業の振興と中小事業者の経営の安定化に資する経営改善普及事業をはじめとした企業支援を促進する。</p>	<p>○上越商工会議所への補助</p> <p>・上越商工会議所が行う商工業の振興対策や金融税務対策及び上越地域の振興に関する調査研究、情報収集、経営改善に係る相談業務等に要する経費を対象とした補助金を交付した。</p> <p>○13区商工会への補助</p> <p>・本市の13区の商工会に対し、H26年度「新潟県小規模事業経営支援事業費補助金」をベースとして算出した補助金を交付した。</p> <p>・補助金の算定方式を事務事業の総点検の結果を踏まえて見直した。</p>	
A13	上越市	上越ものづくり振興センター	ものづくり人材育成事業	A-1-3	<p>○市内のものづくり企業等の人材育成を支援するため、階層別の各種研修を実施する。</p>	<p>○平成27年度は、関係機関との共催で2つの研修を実施。その他、市主催事業として2つのテーマで研修事業を実施した。延べ参加者127名</p>	
A13	上越市	農政課	担い手育成確保支援事業	A-1-4	<p>【上越市担い手育成総合支援協議会支援事業費補助金】</p> <p>○米価下落や産地間競争に対応できる強い経営体の育成を図るため、関係機関で構成する上越市担い手育成総合支援協議会に、認定農業者の確保・育成、集落営農による法人化等の促進及び各種研修会の開催に要する経費を支援する。</p> <p>【農林県単事業費補助金(担い手育成)】</p> <p>○就農時の条件整備を行い就農の円滑化を図るため、新規就農者に機械の整備に要する経費を支援する。</p> <p>【青年就農給付金給付事業】</p> <p>○青年の就農後の定着を図るため、原則45歳未満の新規就農者に経営が不安定な就農直後(5年間)の所得を確保する給付金を給付する。</p>	<p>【上越市担い手育成総合支援協議会支援事業費補助金】</p> <p>○法人化を志向する集落への法人設立や担い手の確保を推進するとともに、農家組合長に農地中間管理事業を活用した農地の集積と集約及びそれによる支援事業を説明し、農地集積率は65.2%となった。</p> <p>【農林県単事業費補助金(担い手育成)】</p> <p>○新規就農者が行う農業用施設の導入経費を支援し、就農の円滑化を図った。</p> <p>【青年就農給付金給付事業】</p> <p>○新規就農に向けた説明会と個別相談会を開催するとともに、経営が不安定な就農直後を支援し、新規就農者の確保・育成に努めた。</p> <p>○上越市担い手育成総合支援協議会等と連携して巡回訪問を実施し、新規就農者や新規就業者の定着に努めた。</p>	
A13	上越市	農政課	中山間地域等活性化対策事業	A-1-4	C-1-2	<p>○中山間地域元気な農業づくり推進員の配置や市単補助事業等の実施を通じ、地域マネジメント組織の育成と中山間地域農業・農村の自立を推進する。</p>	<p>○集落を超えて連携し、地域の課題に取り組む地域マネジメント組織の活動を支援することにより、元気な農業・農村づくりを進めた。</p> <p>・中山間地域元気な農業づくり推進員を2名配置</p> <p>・中山間地域元気な農業づくり推進協議会を2回開催</p> <p>・現地研修会を開催</p> <p>・中山間地域元気な農業づくり推進大会を農政研修会に兼ねて開催</p> <p>・農産物等庭先集荷サービス事業の実施: 実施地区11地区(市補助金を活用しない取組含む)、販売額計13,981千円、市補助額計1,406千円</p> <p>・多様な主体との連携活動支援事業の実施: 実施地区6地区(市補助金を活用しない取組含む)、実施回数計19回、市補助額計253千円</p> <p>・ふるさと玉手箱事業の実施: 実施地区7地区(市補助金を活用しない取組含む)、販売額計10,903千円、市補助額計977千円</p>

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の取組内容
	上越市	担当課				
A13	上越市	観光振興課	観光イベント推進事業	A-2-1	○観桜会パレード、観桜茶会、各種民謡、ボンボリ設置、桜のライトアップ、駐車場設営とシャトルバス運行など	○事業主体である上越観光コンベンション協会への補助金の交付
A13	上越市	観光振興課	観光イベント推進事業	A-2-1	【上越まつり委員会交付金】 (高田・直江津地区) 花火大会、民踊流し、神輿の川下り、お饅米奉納、小中学校マーチングパレード等を実施 (春日地区) 出陣行列、川中島合戦の再現、献納米合戦、民踊流し、奉納武道大会等を実施 【上越はすまつり実行委員会交付金】 ○はすの花を主役に、観蓮茶会や観光ボランティアによるはすのガイド、俳句・短歌の会、はすウォッチング、物産コーナー、はす麵・はすアイスの実演販売、上越オクトーバーフェストなど多彩な催しを行う。 【レルヒ祭実行委員会交付金】 前夜祭／本祭／レルヒマンス ○上越食の陣レルヒ屋台村IN本町・食の宝石箱 ○レルヒ冬のあったか味覚市・屋台、あめ湯サービス ○レルヒ少佐の絵画展・レルヒ冬の大花火大会 ○一本杖スキー、たいまつ滑降、スキー教室 など	【上越まつり委員会交付金】 ○事業主体である上越まつり委員会への交付金の交付 【上越はすまつり実行委員会交付金】 ○事業主体である上越はすまつり実行委員会への交付金の交付 【レルヒ祭実行委員会交付金】 ○事業主体であるレルヒ祭実行委員会への交付金の交付
A13	上越市	観光振興課	観光振興対策事業	A-2-1	【各区 観光振興対策事業】 ○各区の観光PR及び観光振興を推進するため、観光振興団体への運営費を補助する。 【観光物産宣伝推進委託料】 ○当市への誘客を促進するため、姉妹都市との観光と物産展の開催を通じて、当市の観光資源と特産品をPRする。 【地区別各種団体等への補助金、負担金】 ○観光事業の振興を図る一環として、交流人口の拡大を目指すため活動している団体に対し活動運営費の一部を支援する。	【各区 観光振興対策事業】 ○各区の観光振興団体への補助金の支出 【観光物産宣伝推進委託料】 ○観桜会物産展 ○姉妹都市での物産展(岩内町、静岡市) ○当市での姉妹都市物産展 ○大阪物産展 【地区別各種団体等への補助金、負担金】 北陸新幹線の開業効果を最大限取り込むため、当市の観光素材を集中的にPRしたことで、誘客促進及び地域経済の活性化に繋げることができた。
A13	上越市	観光振興課	田舎体験推進事業	A-2-1	○地域の方々の暮らしや豊かな自然をいかし、交流人口の拡大を図るとともに、地域住民の活力向上及び地域経済の活性化を図るために、都市部の小・中・高校生の団体を対象に「体験旅行」を提供する。	○体験の受入れ ○体験受入れ促進のための営業 ○新規受入地域・家庭の開拓 ○全国ほんもの体験フォーラム、みらい会議等への参加
A13	上越市	観光振興課	謙信公ゆかりの地振興事業	A-2-1	○官民一体となった「謙信公の郷振興協議会」が主体となり、上杉謙信公や春日山城を中心とした各PR等の実施により、「上杉謙信公のふるさと・上越市」を全国に発信し、誘客促進を図る。	○謙信公と春日山城展の開催 ○誘客・宣伝事業(雑誌、新聞などへ広告掲載、宣伝物(パンフレット、チラシ等)の作成) ○上杉謙信公ゆかりの地をめぐるリレー講演会の開催
A13	上越市	観光振興課	「越後上越上杉おもてなし武将隊」事業	A-2-1	○甲冑武者による観光客の出迎えや観光案内等のおもてなしを行うことにより、上杉謙信公のふるさと・上越市であることの魅力を全国にPRする。	○企画展や春日山城跡において、おもてなしを実施。 ○市内外へのイベント出演やメディア露出により、当市の魅力を全国に発信する観光PRを実施。
A13	上越市	文化振興課	地域の歴史的・文化的資源の保存と継承ほか	A-2-1	○地域の歴史的・文化的資源の保存と継承を図るため、市民を対象に高田瞽女に代表される地域の伝統文化や偉人・先人の顕彰事業を実施する。	○郷土の偉人の生誕○○年等の節目の年に市民団体と連携して顕彰事業(具体的には前島密生誕180年)を行うとともに町内会、学校その他市民団体等に対しパネルを貸し出し、市ゆかりの偉人を市民に紹介した。 ○市民団体との協働により瞽女唄演奏会などを開催し、地域固有の文化である高田瞽女の歴史や文化を市民に紹介した。 ○地域の歴史文化の掘り起こし 地域に古くから伝わる伝統芸能や歴史資産を広く紹介するため、小学校の総合学習への協力や郷土の偉人顕彰を行う市民団体への助言を行った。
A13	上越市	観光振興課	インバウンド推進事業	A-2-1	○当市のインバウンド推進の訴求テーマである「桜」と「雪」を生かした着地型旅行商品の造成に取り組むほか、豊かな自然・歴史・文化・食などの観光資源の魅力をさらに発信し、インバウンドの増加を図る。 ○上越市インバウンド推進協議会への交付金を交付し、誘客促進国(地域)から当市への旅行商品造成に向けたプロモーション活動等を拡充する。	○外国人アンケート調査の実施 ○誘客促進国(台湾)の旅行社エージェンツへの営業活動 ○アメリカンスクールインジャパンへのPR活動 ○訪日(妙高市)外国人観光客の当市への誘客活動 ○外国人おもてなし研修(全4回) ○手作りマップ(高田地区)作成

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の取組内容
	上越市	担当課				
A13	上越市	観光振興課	旅行商品造成・宣伝事業	A-2-1	○大都市圏での上越市の知名度向上のため、高い宣伝力を持つJRの宣伝媒体を活用し、当市の主要なイベントの情報を発信することで市外からの誘客促進を図る。	○JR首都圏、新潟、長野、高崎の各支社管内の駅及び山手線の列車内窓上へのイベントポスターの掲出 ○JR首都圏、中京圏及び関西圏主要駅でのデジタルサイネージによる情報発信
A13	上越市	観光振興課	観光営業事業	A-2-1	○首都圏及び関西圏等で行われる旅行会社への営業活動及び商談会に参加する。	市と(公社)上越観光コンベンション協会とで役割を分担し、当市の観光誘客に向けた取組を行う。 ○首都圏・関西圏での観光キャンペーン活動 ・イベントや季節に合わせた観光キャンペーンを首都圏・関西圏等を中心に開催。 ・県観光協会や県大阪事務所主宰の観光キャンペーン等への参加。 ○他自治体でのキャンペーン活動 ・北陸新幹線開業に係る、沿線自治体や姉妹都市、集客プロモーションパートナー都市などの関連自治体のイベントでのキャンペーン活動。 ○観桜会時のPR活動およびツアー対応 ○NEXCO東日本主催の観光キャンペーン活動 ○北陸新幹線10都市観光推進会議等との広域観光連携によるPR活動など
A13	上越市	観光振興課	観光情報提供環境強化事業	A-2-1	○平成27年度に整備した観光インフォメーションウェブサイト新たに位置情報を利用したARサービスや外国人観光客向けに翻訳を行い、充実を図る。	○観光スポットを訪れた来訪者に、周辺の施設や飲食店などの店舗の詳細情報を基にしたお勧めの観光プランを提供できるよう、観光情報発信機能を充実させた。
A13	上越市	総務管理課 観光振興課	公共施設の「無線LAN」整備事業	A-2-1	○交流人口の増加と来訪者の満足度向上を図るため、高田公園や水族博物館など、平成27年度に整備した公衆無線LANを安定的に運営するとともに、新たに春日山城跡とキューピットバレイに公衆無線LANを整備し、積極的な情報発信を行う。	○高田公園、水族博物館などに公衆無線LANを整備
A13	上越市	観光振興課	観光周遊バス運行支援事業	A-2-1	○上越妙高駅と直江津港の間を結ぶ観光周遊バスを運行することにより、利用者に市内の回遊を促すとともに、観光客の利便性と誘客の確保につなげる。	○北陸新幹線「上越妙高駅」を起点に、市内の主要観光スポットを巡りながら周遊ができる観光周遊バス「ぶらっ」と春日山・高田号」の運行助成 1日平均利用者:16.1人
A13	上越市	観光振興課 教育総務課 体育課	コンベンション活動強化事業	A-2-2	【地区別各種団体等への補助金、負担金】(観光振興課) ○市内において、教育・研究機関・スポーツなど大規模な大会や会議を誘致し、交流の促進を図る。 【東京オリンピック・パラリンピック事前合宿招致事業】(教育総務課、体育課) ○2020年東京オリンピック・パラリンピック上越市合宿招致委員会を設置し、官民一体となった合宿招致に向けた活動を行う。	【地区別各種団体等への補助金、負担金】 ○市内において、教育・研究機関・スポーツ7件の全国規模及びブロック規模のコンベンションの開催について財政支援を行い、市内において一定の経済効果が図られた。 【東京オリンピック・パラリンピック事前合宿招致事業】 ○2020年東京オリンピック・パラリンピック上越市合宿招致委員会が10月21日に発足し、オリンピック参加国の当市への合宿の実現に向け、官民一体となった取組を実施した。 (主な取組内容) ・ホストタウン登録団体の決定 ・ドイツ体操連盟との交渉
A13	上越市	体育課	体育施設整備事業	A-2-2	【体育施設整備事業】 ○体育施設の修繕及び機能拡充 【陸上競技場改修事業】 ○中央スタンドの老朽修繕及び諸室の整備 ○東側スタンドを除却し、器具庫を備えたスタンドを新築 ○トラック面のウレタン舗装 ○その他第2種公認の更新への対応 【教育プラザ大小体育館改修等事業】 ○耐震補強及び屋根・外壁・床等の老朽修繕 ○玄関・トイレ・更衣室・器具庫の改修 ○会議室の新設ほか 【(仮称)上越市体操アリーナ整備事業】 ○器械体操、新体操及びトランポリンの体操専用施設を整備する。 ○施設の規模・機能は、県大会及びブロック大会が開催できる施設とする。	【体育施設整備事業】 ○オールシーズンプール屋根防水工事 ○中郷総合体育館改修工事 ○牧体育館屋根防水工事 ○安塚B&G海洋センター屋根修繕工事 【陸上競技場改修事業】 ○陸上競技関係団体との検討会の開催 ○整備内容等の整理 ○基本・実施設計 【教育プラザ大小体育館改修等事業】 ○利用団体からの整備要望等の聞き取り ○整備内容等の整理 ○基本・実施設計 【(仮称)上越市体操アリーナ整備事業】 ○体操競技関係団体との検討会の開催 ○整備内容等の整理 ○基本設計
A13	上越市	都市整備課	(仮称)厚生産業会館建設事業	A-2-2	○高田地区に、市民が気軽に集い、憩い、そして語らうことができる場として(仮称)厚生産業会館を建設する。	○10月の入札・仮契約を経て工事請負契約を締結した。 ○H27年度末までに杭工事が完了した。

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号		事業概要	平成27年度の取組内容
		担当課					
A13	上越市	学校教育課	キャリア・スタート・ウィーク推進事業	A-3-1	A-3-2	○職場体験活動を通して、働くことの意義・自分の将来を明確に考えることができる生徒を育てるため、職場体験の受入れ体制などの教育条件の整備・充実を図る。	○全ての市立中学校において取組み、2年に在籍する生徒1,755人が、5日間の職場体験を行った。 ○受け入れ事業所数、肯定的評価のいずれも目標を達成できた。
A13	上越市	産業振興課	上越市高校生資格取得支援事業	A-3-2		○市内高等学校在学者の就職機会を拡大し、就職率の向上を図るため、市内在住の高校生が、就職に役立つ技能系の資格を取得する際の受験料を助成する。	○市内在住の高校生が、就職に役立つ技能系の資格を取得する際の受験料を助成した。 ・高校生資格取得支援補助金
A13	上越市	産業振興課	インターンシップ促進事業	A-3-2		○学生や保護者に対し、市内企業の情報の発信や就職に関する情報を提供することによりインターンシップを実施しやすい環境を整備し、市内企業への就職を促進する。	○インターンシップを実施しやすい環境整備を支援し、若者の市内企業への就職を促進した。 ・専門員による市内企業、学校等の訪問によるニーズの把握 ・インターンシップホームページ及びフェイスブックの開設 ・インターンシップホームページ掲載数:64事業所(H28.3月末時点)
A13	上越市	産業振興課	若年無業者就労支援事業	A-3-2		○ニート、ひきこもり状態の若年者の就労支援を行う。 ○地域における若年者を取り巻く関係機関とのネットワークにより、若年者の就労支援体制を強化する。	○地域若者サポートステーションを中心に、ハローワーク等の関係機関とのネットワークにより、若年者の就労支援を行った。
A13	上越市	産業振興課	若者のしごと定着支援事業	A-3-2		【若者の自立支援事業】 ○ニート、ひきこもり状態の若年者の就労を支援するため、関係機関とのネットワークを強化し、地域全体で若者が職業的自立に向けて抱える様々な課題の解決に取り組む。 【若手社員定着支援事業】 ○若手社員の早期離職を防止し、企業への定着率の向上を図るため、新入社員やその指導者を対象に、更に内容を充実したセミナーを開催する。	【若者の自立支援事業】 ○地域若者サポートステーションを中心に、ハローワーク等の関係機関とのネットワークにより、若年者の就労支援を行った。 【若手社員定着支援事業】 ○セミナーを開催し若手社員のニーズを把握するとともに、専門員による企業や学校訪問等を通じ、懸案や要望等を把握し、それらを踏まえた検討を行い、平成28年度の事業化した。
A13	上越市	福祉課 農村振興課	農福連携障害者就労支援事業	A-3-3		○障害のある人の就労や就労機会の拡大を図るため、農作業の難易度の数値化等に係る検討について、モデル事業を実施する。	○作業難易度の数値化や検証を行う農作業 ○農業者へ障害者雇用に係るアンケート調査 ○農業者団体を対象とした障害のある人の就労に向けた説明会 ○福祉事業所による先進視察
A13	上越市	産業振興課	障害者雇用対策事業	A-3-3		○障害を持つ方の就職機会の拡充を図るため、障害者雇用啓発チラシを作成・配布するほか、就職に有利な資格を取得するための試験を受験する際の受験料及び旅費に対する助成制度を実施する。	○障害者雇用促進のための意識啓発を図った。 ・障害者資格取得支援補助金 ・啓発チラシの作成 ・企業訪問等による意識啓発
A13	上越市	福祉課	就労支援事業	A-3-3		○障害のある人に対して就労や雇用相談・支援を行うため、就労支援コーディネーターによる障害特性に応じた職業面及び生活面の一体的な訓練・指導等の支援を実施する。	○障害者就業・生活支援センターさくらに就業支援コーディネーター1名を委託。
A13	上越市	共生まちづくり課	女性相談事業	A-3-3		○家庭問題や配偶者からの暴力など、悩みや問題を抱える相談者に対し、適切な指導・助言を行い、安心して生活できるよう相談業務を行う。	○女性相談員…3人 ○出張相談…公的施設等へ出向き相談を受ける(事前予約制) ○相談実人数:281人、相談延件数2,544件
A13	上越市	産業振興課	勤労者福祉事業	A-3-3		○中小企業を支える人材の定着を図るため、労働意欲の向上と、安心して働くことができる環境づくりを推進する団体を支援する。 ・新しい社会人を励ますつどいの開催 ・労働団体(連合上越、上越地区総連合)の活動費支援	○市内の中小企業で働く勤労者の福祉の向上を図り、生活の安定と地域への定着を促進した。 ・新しい社会人を励ますつどいの開催 ・労働団体の活動費への助成
A13	上越市	産業振興課	ワーク・ライフ・バランス推進事業	B-1-1		○働きやすい職場環境の整備を促進するため、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業を支援する。	○ワーク・ライフ・バランス促進のための意識啓発を図った。 ・ワーク・ライフ・バランス推進企業利子補給補助金 ・啓発チラシの作成 ・企業訪問等による意識啓発

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の取組内容	
	上越市	担当課					
A13	上越市	共生まちづくり課	男女共同参画事業	B-1-1	<p>【男女共同参画推進センター事業】</p> <p>○市民向け啓発講座の実施等</p> <p>・男女共同参画推進センター講座 ・男女共同参画推進センター出前講座</p> <p>・男女共同参画推進センター登録団体懇談会の開催 ・情報紙「ウィズじょうえつ」の発行</p> <p>【男女共同参画その他事業(広報事業・女性人材バンク事業)】</p> <p>○男女共同参画の取組を継続的に実施し、男女共同参画審議会の開催、サポーター及び職員の意識啓発に取り組む。</p> <p>【男女共同参画推進センター事業】</p> <p>○自分磨き応援講座(「まち・ひと・しごと総合戦略関係事業」)</p> <p>○出会いや就職など自らが希望するライフプランを実現するため、自分を磨き、魅力やコミュニケーション力の向上を図る講座を開催する。</p>	<p>【男女共同参画推進センター事業】</p> <p>○男女共同参画推進センター講座の開催8講座13回 ○出前講座の開催…16回</p> <p>○センター登録団体懇談会の開催…4回 ○情報紙の発行…年4回発行</p> <p>○男女共同参画啓発リーフレットの作成…10,000部発行</p> <p>【男女共同参画その他事業(広報事業・女性人材バンク事業)】</p> <p>○男女共同参画審議会の開催…1回 ○男女共同参画サポーター懇談会の開催6回</p> <p>○職員研修会の開催…2回</p> <p>【男女共同参画推進センター事業】</p> <p>○自分磨き応援講座「幸せを創るホントのポジティブ思考」を2/13に開催。(43人参加)</p>	
A13	上越市	健康づくり推進課	不妊治療助成事業	B-2-2	○不妊治療を行っている市民に、不妊治療費の一部を助成する。	○子どもを産み育てたいと願う方々の思いを後押しするため、これまで5回を上限としてきた不妊治療の治療費助成について回数の制限をなくし、あわせて助成率及び上限額を引き上げるなど、支援制度の拡充を検討した。	
A13	上越市	健康づくり推進課	母子保健事業	B-2-2	<p>【妊産婦・新生児訪問指導事業】</p> <p>○母子の健康の増進を図るため、妊婦や産婦、新生児への家庭訪問により、妊娠・出産・育児等に必要な指導を実施する。</p> <p>【妊婦一般健康診査等事業】</p> <p>○妊婦一般健康診査費用の14回分を公費負担する。県外で妊婦健診を受診した場合は、対象となる部分についての健診費用を還付する。</p> <p>○すくすく赤ちゃんセミナーを開催し、生涯を通じた健康づくりは妊娠期から始まるという視点で、妊娠中の生活や妊婦健診結果の説明、生まれてからの子どもの発育発達についての健康教育や、沐浴指導等を実施する。</p> <p>【産前・産後ヘルパー派遣事業】</p> <p>○妊娠中及び産後の母親の育児や家事を支援するために、ホームヘルパーを派遣する。</p> <p>【子育て・女性・思春期相談事業】</p> <p>○生涯を通じた健康づくりを推進するために、思春期や妊産婦、更年期の市民を対象に、健康相談室を開設し、健康相談等を実施する。特に、中高生には学校に向いて、思春期保健講座及び健康相談を実施する。</p>	<p>【妊産婦・新生児訪問指導事業】</p> <p>○全数訪問を目指し、訪問指導を行った。</p> <p>○延3,075件(4か月までのこんにちは赤ちゃん訪問を含む)</p> <p>○長期の里帰りや入院中のため4か月以内に訪問できなかった母子に対しては、その後の家庭訪問や健康診査等により支援した。</p> <p>【妊婦一般健康診査等事業】</p> <p>○妊婦一般健康診査費用14回分を公費負担により実施した。</p> <p>○すくすく赤ちゃんセミナー(妊娠基本編、妊娠応用編、出産編)を開催し、妊婦とその家族に対する健康教育を行った。</p> <p>○妊娠応用編では、将来を見据えた生活習慣病予防や生涯を通じた健康づくりの重要性について意識付けを行った。</p> <p>参加者534組、903人。初産婦参加率 72.0%</p> <p>【産前・産後ヘルパー派遣事業】</p> <p>○医療機関等へのポスターやパンフレットの設置、各種母子保健事業における事業内容の周知に努めた。</p> <p>○利用希望者の依頼に対して適切かつ迅速な対応を行った。また、他事業との連携により、産前・産後の育児支援の充実を図った。</p> <p>【子育て・女性・思春期相談事業】</p> <p>○電話相談を週5回開設し、子育てや思春期等に関する相談に対応した。予約による来所相談では、乳児の体重測定や母乳相談を実施し、利用者の育児不安の軽減に努めた。</p> <p>○中学校、高等学校において思春期保健講座を開催した。</p>	
A13	上越市	子ども課	子育てジョイカード事業	B-2-2	○18歳未満の子どもが3人以上いる世帯に、「子育てジョイカード」を交付し、協賛企業・店舗等からカードを提示した人に対して、商品の割引や特典等のサービスを提供する。	○市内のトキっ子くらぶサポート店のうち、ジョイカード未協賛企業に対し、募集チラシを送付した。	
A13	上越市	子ども課	子育てひろば	B-2-2	○子育ての不安感や孤立感を緩和するため、子育てひろばにおいて、未就園児とその保護者を対象に親子の遊びの場や保護者同士の交流の場を提供するとともに、子育てについての相談、情報の提供、講座等を実施する。	○市の子育て支援情報の提供を行った。	
A13	上越市	子ども課	子どもセンター運営事業	B-2-2	○子育ての不安感や孤立感を緩和するため、子どもセンターにおいて、児童とその保護者を対象に親子の遊びの場や保護者同士の交流の場を提供するとともに、子育てについての相談、情報の提供、講座等を実施する。	○市の子育て支援情報や保育園、幼稚園、認定子ども園の情報提供を行った。	
A13	上越市	子ども課	ファミリーサポートセンター運営事業	B-2-2	○地域の子育ての相互援助活動を支援するため、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児の援助を行いたい人(提供会員)との相互援助活動に関する連絡、調整を実施する。	○提供会員を確保するため、広報上越に会員募集の記事を掲載するほか、民生委員児童委員協議会や各種団体を対象に説明会を行った。	
A13	上越市	子ども課	子育て支援情報の提供	B-2-2	B-2-5	○ホームページ「上越市子育て応援ステーション」に、子育てに関するイベントや各種制度等の情報を見やすく掲載し、子育てに関する情報を発信する。	○利用者が得たい情報をスムーズに取得できるようホームページの一部改修を行った。

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の取組内容
	上越市	担当課				
A13	上越市	保育課 こども課	特別保育事業	B-2-2	<p>【延長・一時保育等事業等】(保育課)</p> <p>○保護者の就労形態や保育ニーズの多様化に対応するため、延長保育や一時預かり、未満児保育事業などの多様な保育サービスを提供する。</p> <p>【病児・病後児保育室運営費】(こども課)</p> <p>○保育園・幼稚園・認定こども園及び市内の小中学校に在籍している児童が、病気及び病後回復期にあり、集団保育等が困難な場合に病児・病後児保育室で保育等を行う。</p>	<p>【延長・一時保育等事業等】(保育課)</p> <p>○障害児保育、延長保育、未満児保育、一時預かり、休日保育など多様な保育サービスを提供した。</p> <p>【病児・病後児保育室運営費】(こども課)</p> <p>○利用申込みに対する受入体制を確保し、必要なサービスを提供した。(利用申込数に対する受入れ率)100%</p>
A13	上越市	保育課	公立保育所施設整備事業	B-2-2	<p>【公立保育所再編整備事業】</p> <p>○保育室が不足している稲田保育園にプレハブ棟を設置し、保育環境を確保する。</p> <p>【北本町保育園整備事業】</p> <p>○上越市保育園の再配置計画に基づき、北本町保育園を移転整備することとし、建築工事等を実施する。</p> <p>【吉川区新保育園整備事業】</p> <p>○上越市保育園の再配置計画に基づき、吉川区内の公立2園、私立1園を統合移転整備することとし、建築工事、用地造成工事等を実施する。</p> <p>【直江津地区新保育園整備事業】</p> <p>○上越市保育園の再配置計画に基づき、直江津地区の公立2園を統合移転整備することとし、建築工事等を実施する。(平成27年12月補正予算:地質調査、建築設計等)</p> <p>【名立区新保育園整備事業】</p> <p>○上越市保育園の再配置計画に基づき、名立区内の公立1園、私立1園を統合移転整備することとし、建築工事、用地造成工事等を実施する。</p>	<p>【公立保育所再編整備事業】</p> <p>○稲田保育園に保育室プレハブ棟を設置(リース)した。</p> <p>【北本町保育園整備事業】</p> <p>○次の業務を実施した。 ・地質調査・建築基本実施設計・建設用地取得</p> <p>【吉川区新保育園整備事業】</p> <p>○次の業務を実施した。 ・建築実施設計・造成工事・建築工事</p> <p>【直江津地区新保育園整備事業】</p> <p>○次の業務を実施した。 ・建設地の決定及び地元への整備方針説明・地質調査 ・現況、用地測量・建築基本設計</p> <p>【名立区新保育園整備事業】</p> <p>○名立区新保育園の整備に当たり、地元への整備方針を説明した。</p>
A13	上越市	すこやかなくらし支援室	すこやかな育ち総合支援事業	B-2-3	<p>○児童虐待の発生予防や早期発見、早期対応のために、保護者等の子育てに対する不安や負担の軽減に努め、関係機関と連携しながら、迅速かつ適切な対応を図る。</p>	<p>○家庭相談員による子育てに関する相談支援・情報提供を行うことで、子育てに対する不安や負担の軽減を図り、虐待予防や虐待の早期発見につなげた。</p> <p>○要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関と情報を共有しながら連携して要保護児童等への適切な支援を行った。</p>
A13	上越市	学校教育課	学習ボランティアサポート事業	B-2-3	<p>○生徒の一層の学習の習慣化と学習内容の定着を図るため、地域の人材等を活用した学習ボランティアによる支援を実施する。</p>	<p>○直江津中、直江津東中、頸城中、城西中にて実施。保護者、地域コーディネーター、学校運営協議会委員、元教員、大学生、教育補助員がボランティアとして、希望する生徒に対して、朝や放課後に宿題や自主学習の点検や指導を行った。</p> <p>○4校合計で398回(人)実施した。</p>
A13	上越市	学校教育課・教育センター	教育相談事業	B-2-3	<p>【不登校児童生徒適応指導教室の開設】</p> <p>○不登校児童生徒適応指導教室を開設し、不登校児童生徒に個別指導や体験活動を行い、自立心と集団生活への適応能力を高め、学校復帰に向けて支援する。</p> <p>【電話相談「子どもほっとライン」の開設】</p> <p>○相談電話「子どもほっとライン」を開設し、児童生徒や保護者等のいじめや不登校などの悩みに援助・助言し、問題の解消や改善を図る。</p> <p>【カウンセリング研修会の開催】</p> <p>○教職員の指導力向上のためのカウンセリングや教育相談等の研修を行う。</p>	<p>【不登校児童生徒適応指導教室の開設】</p> <p>○不登校児童生徒適応指導教室2教室の開設と各教室2人の指導員の配置</p> <p>○不登校児童生徒を対象に学習指導・体験活動・教育相談の実施</p> <p>○訪問指導や児童生徒の在籍校への連絡相談及び学校訪問の実施</p> <p>【電話相談「子どもほっとライン」の開設】</p> <p>○月曜日から金曜日、午前9時から午後6時の間の相談電話の開設</p> <p>○30人の電話相談員による対応</p> <p>【カウンセリング研修会の開催】</p> <p>教育相談、学級経営、いじめ・不登校などに関するカウンセリング研修会の開催</p>
A13	上越市	学校教育課	小中学校学力向上対策事業	B-2-3	<p>【小学校学力向上対策事業】</p> <p>○上越市内の各学校の学力実態を、客観的かつ経年で把握するために小学校の全学年の国語と算数の学力検査を実施するとともに、学力検査結果をもとに分析し、授業改善への指導を行う。</p> <p>【中学校学力向上対策事業】</p> <p>○上越市内の各学校の学力実態を客観的かつ経年で把握するため、中学校の全学年の国語と数学と英語の学力検査を実施するとともに、学力検査結果をもとに分析し、授業改善への指導を行う。</p>	<p>【小学校学力向上対策事業】</p> <p>○市立小学校(54校)に在籍する1～6年生全員を対象に、国語・算数の2教科の全国標準学力検査(NRT)を全学年において実施した。結果の分析を行い、今後の指導支援への活用を図った。</p> <p>【中学校学力向上対策事業】</p> <p>○市立中学校に在籍する1～3年生全員を対象に、国語・算数・英語の3教科の全国標準学力検査(NRT)を実施した。結果の分析を行い、今後の指導支援への活用を図った。</p>

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の取組内容
		担当課				
A13	上越市	学校教育課	小中学校学習指導支援事業	B-2-3	<p>【LD(学習障害)指導員の配置】</p> <p>○障害の特性に合わせた多様な学びの場の充実を図るため、学習障害の指導ができる教員を配置し、個の認知特性に合わせた学習面の指導ができるようにするとともに、児童生徒が自校で指導が受けられるように、教員が巡回指導を行う。</p> <p>【UD(授業のユニバーサルデザイン化)推進指導主事の配置】</p> <p>○授業改善支援訪問において、すべての小中学校をUD推進指導主事等が訪問し、授業のユニバーサルデザイン化と合理的配慮について学校の実態に即した指導を行う。</p> <p>また、合理的配慮の提供が必要な児童生徒が在籍する学校に、継続的に訪問し、指導助言を行う。</p> <p>【教育補助員設置】</p> <p>○配置を必要とする小学校に44人の教育補助員を配置するとともに、適切な対応が行えるよう研修を行い、専門性を向上させる。</p> <p>【特別支援教育巡回相談事業】</p> <p>○発達障害等のある児童のきめ細かい指導を行うことにより、児童の学習を充実させ、生きる力を育てるため、巡回相談員による学校巡回相談を行うほか、巡回相談員や特別支援教育コーディネーター等を対象とした特別支援教育に係る研修会を開催する。</p> <p>【介護員配置】</p> <p>○特別支援学級に在籍し特別な支援を必要とする児童に対して、一人一人のニーズに応じた教育を提供するため、小学校に63人の介護員を配置するとともに、適切な対応が行えるよう研修を行い、専門性を向上させる。</p> <p>【教育補助員設置】</p> <p>○特別支援学級に在籍し特別な支援を必要とする児童に対して、一人一人のニーズに応じた教育を提供するため、中学校に27人の教育補助員を配置するとともに、適切な対応が行えるよう研修を行い、専門性を向上させる。</p> <p>【介護員配置】</p> <p>○通常の学級に在籍し特別な支援を必要とする生徒に対して、一人一人のニーズに応じた教育を提供するため、中学校に13人の介護員を配置するとともに、適切な対応が行えるよう研修を行い、専門性を向上させる。</p>	<p>【LD(学習障害)指導員の配置】</p> <p>市内2校に4人のLD指導員を配置し、巡回指導校4校を含む6校の学習障害の児童に対して指導を行った。ワークテストの成績向上、学習意欲の向上等の成果が現れてきている。</p> <p>【UD(授業のユニバーサルデザイン化)推進指導主事の配置】</p> <p>○授業改善支援訪問において、すべての小中学校をUD推進指導主事等が訪問し、授業のユニバーサルデザイン化と合理的配慮について学校の実態に即した指導を行った。</p> <p>○合理的配慮の提供が必要な児童生徒が在籍する10校の小・中学校に、継続的に訪問し、指導助言を行うことで、学校は合理的配慮の提供を行うことができた。</p> <p>【教育補助員設置】</p> <p>通常学級における特別な支援を要する児童の指導・支援を行うため、小学校に45人の教育補助員を配置するとともに、適切な指導・支援ができるよう、年2回の研修会を実施し、専門性を向上させた。</p> <p>【特別支援教育巡回相談事業】</p> <p>特別な支援を要する児童・生徒のニーズに応じた支援が提供できるよう、年3回の全体会と年4回の研修会を実施し、事業の理解啓発を図るとともに、巡回相談員の専門性を向上させた。</p> <p>【介護員配置】</p> <p>特別支援学級に在籍し特別な支援を必要とする児童に対して、一人一人のニーズに応じた教育を提供するため、中学校に13人の介護員を配置するとともに、適切な対応が行えるよう年2回の研修会を実施し、専門性を向上させた。</p> <p>【教育補助員設置】</p> <p>通常学級における特別な支援を要する生徒の指導・支援を行うため、中学校に29人の教育補助員を配置するとともに、適切な指導・支援ができるよう、年2回の研修会を実施し、専門性を向上させた。</p> <p>【介護員配置】</p> <p>特別支援学級に在籍し特別な支援を必要とする児童に対して、一人一人のニーズに応じた教育を提供するため、中学校に13人の介護員を配置するとともに、適切な対応が行えるよう年2回の研修会を実施し、専門性を向上させた。</p>
A13	上越市	すこやかなくらし支援室 こども発達支援センター	こども発達支援センター事業	B-2-3	<p>【すこやかな子どもの育ちのための親支援】(すこやかなくらし支援室)</p> <p>○子どもがすこやかに育つことができる環境を整えるため、乳幼児健診、公立保育園保護者参観の機会やこども発達支援センターにおいて、子育てで不安や悩みを抱える保護者に対し、子どもの特性の理解やライフステージに応じたより良いコミュニケーションの習得など、家庭の育児力を高めるための親支援を行う。</p> <p>【児童発達支援事業】(こども発達支援センター)</p> <p>○子どもの育ちが気になる保護者の不安等を受け止め、すこやかな育ちを支援するため、相談を受け、必要な療育サービス等を提供する。</p> <p>○多様化する相談ニーズにきめ細かく対応するため、児童発達支援専門員を配置する。</p> <p>【就学支援委員会】(こども発達支援センター)</p> <p>就学アドバイザーを1人配置し、増加する相談者への対応や心理検査や園訪問等を計画的に実施し、早期からの就学相談・支援を実施するとともに、小学校を訪問し就学後の適応状況を把握することで支援の充実を図る。(こども発達支援センターの機能強化)</p>	<p>【すこやかな子どもの育ちのための親支援】(すこやかなくらし支援室)</p> <p>○基本的な親子コミュニケーション支援 ○丁寧な親子コミュニケーション支援 ○子どもの育ちに係る発達障害療育医との意見交換会</p> <p>【児童発達支援事業】(こども発達支援センター)</p> <p>○子どもの育ちの支援について、現状の課題を整理した上でセンターの機能強化を検討することとし、部内関係課及び教委と協議を始めたものの、センターの機能集約の方針決定には至らなかった。</p> <p>○モデル園事業を4園に拡大して実施し、年度末には実践報告会を開催した。</p> <p>【就学支援委員会】(こども発達支援センター)</p> <p>○就学アドバイザーを1人配置し、増加する相談者への対応や心理検査や園訪問等を実施し、早期からの就学相談・支援を実施するとともに、小学校を訪問し就学後の適応状況を把握することで支援の充実を図ることができた。(こども発達支援センターの機能強化できた)</p> <p>○年長児中心の現在の対応を年中児から就学につながる早期からの就学相談や園訪問等を計画的に実施した。保護者への早期からの情報提供と障害理解を促すことができた。</p>
A13	上越市	社会教育課	地域の子どもの居場所づくり運動	B-2-4	<p>○地域の子どもの居場所づくり運動の実施に向けた実態把握を行う。</p> <p>・児童・生徒を対象とし、放課後の居場所等に関するライフスタイル調査を実施する。</p> <p>・保護者を対象とし、子どもの居場所の必要性に関する調査を実施する。</p>	<p>○児童・生徒を対象とし、放課後の居場所等に関するライフスタイル調査を実施した。</p> <p>○保護者を対象とし、子どもの居場所の必要性に関する調査を実施した。</p>
A13	上越市	学校教育課	コミュニティ・スクール事業	B-2-4	<p>○保護者や地域の意見を反映し、保護者、地域住民等とともによりよい学校づくりを進めるため、全ての公立小・中学校に学校運営協議会を設置し、学校、家庭、地域が連携した教育を推進する。</p>	<p>○学校運営協議会指定校 市立小学校:52校 市立中学校:22校</p> <p>○学校運営協議会委員数:896人</p> <p>○「全国コミュニティ・スクール研究大会in上越」の開催</p> <p>○代表者懇談会</p> <p>○スクールマネジメント研修会実施</p> <p>○各校で学校運営協議会開催(年3回程度)</p>

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号		事業概要	平成27年度の取組内容
	担当課						
A13	上越市	社会教育課	地域青少年育成会議活動支援	B-2-4		○地域の教育力の向上を図るため、地域青少年育成会議協議会に交付金を交付し、地域ぐるみの青少年の健全育成活動を支援する。	○地域青少年育成会議協議会への交付金の交付を通じ、各地域青少年育成会議の活動を支援した。 ○各地域青少年育成会議を訪問し、課題の解決に向けた相談・支援等を行った。 ○各地域青少年育成会議の事務局担当者会議を年3回開催し、実務指導や意見交換を通じ事務局体制の強化を図った。
A13	上越市	社会教育課	謙信KIDSスクールプロジェクト	B-2-4		○地域資源や地域の人材を活用した体験活動を通して、子どもたちの興味・関心を高めるとともに、異学年・異学校の子も同士の交流を推進し、協力し合う力、自主的な行動力、コミュニケーション能力を育成する。	○地域資源及び地域の人材を活用した講座を20講座実施した。 ○体験活動を通じて、各分野の興味・関心を高めた。 ○グループによる体験活動を通じて、協調性、自主性、コミュニケーション能力の向上を図った。
A13	上越市	学校教育課	小中学校夢・志チャレンジスクール事業	B-2-4		○コミュニティ・スクール制度を活用しながら、学校と保護者・地域が共有した目指す児童を育てるために、「夢・志ある人づくり」活動に必要な経費を予算の範囲内で交付する。	○コミュニティ・スクール制度を活用しながら、学校と保護者・地域が共有した目指す生徒を育てるために、「夢・志ある人づくり」活動に必要な経費を予算の範囲内で交付した。 ・本物体験 ・郷土の偉人、先人についての学習活動 ・あこがれの大人や先輩との交流活動 ・生活、総合における探究活動(小学生) ・豊かな情操を育て、温かくかつ、強靱な心をはぐくむ活動(小学生) ・総合的な学習やキャリア教育にかかわる活動(中学生) ・地域貢献活動やボランティア活動(中学生)
A13	上越市	教育総務課	みんなで育む教育推進事業	B-2-4		○市民ぐるみで教育を大切にす機運を高めていくために、教育委員会と上越教育大学、教育関係団体が連携し、11月の「上越市教育を考える市民の月間」に併せて、市民が教育への関心と理解を深めるきっかけとなるよう、各種研修会、発表会、体験コーナーなどの事業を実施する。	○上越教育大学や関係団体と連携し、テーマや事業の絞り込みを行った。 ○小中学生による地域おこしフォーラム、学校支援プロジェクト紹介、上越カリキュラム研究発表、上越キャリア教育研究会実践発表、学校職員の仕事紹介・体験コーナー
A13	上越市	産業振興課	まちづくり会社支援事業	C-1-1		○市が策定した中心市街地活性化プログラムに位置付けた事業等を支援し、中心市街地の集客力向上とにぎわい創出を推進する。	○中心市街地活性化プログラムに位置づけた登載期間事業等の支援をまちづくり会社交付金により行った。(春フェスタ、花ロード、SAKEまつり、鉄道まつりなど)
A13	上越市	都市整備課	まちなか居住推進モデル整備事業	C-1-1		○民間活力を活用した宅地供給等の事業化に向けた検討を実施する。 ・大手町地区 面積:約1.4ha	○まちなか居住推進協議会等の中で、公的不動産の有効活用等について検討
A13	上越市	産業振興課	空き店舗等利用促進事業	C-1-1		○中心市街地の空き店舗や空き家の利用を一層促進するため、補助金交付の対象区域や利用区分等を変更し、補助制度を拡充して実施する。	○各関係団体の連携及び補助金制度をインターネットや広報により情報発信をした。 利用実績(高田地区 1件、直江津地区 2件 計3件)
A13	上越市	文化振興課	歴史資源活用推進事業	C-1-1	C-1-3	【雁木整備補助金事業】 ○市民による雁木整備を推進するための経済的支援策として、雁木整備を行う市民に対して補助金を交付する。 【歴史資源活用調査・研究事業】 ○歴史資源の保存及び活用を推進するため、調査活動などを行う。	【雁木整備補助金事業】 ○市民による雁木整備を推進するための経済的支援策として、雁木整備を行う市民に対して補助金を交付した。 【歴史資源活用調査・研究事業】 ○市域の歴史的建造物の現況や先進地の歴史資源活用状況を調査した。
A13	上越市	文化振興課	歴史的建造物等整備支援事業	C-1-1	C-1-3	○歴史的建造物等の保全・活用と市民のまちづくりの機運醸成を図るため、市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に要する経費に対して補助金を交付し支援する。	○歴史的建造物等の保全・活用と市民のまちづくりの機運醸成を図るため、市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に要する経費に対して補助金を交付し支援した。
A13	上越市	産業振興課 新水族博物館整備課	新水族博物館を核とした地域活性化事業	C-1-1		【まちづくり会社交付金事業】(産業振興課) ○平成27年度から検討を進めてきた新水族博物館を核とした地域活性化に向けた事業を実施し、施設周辺の住民、関係団体、商業者などによる主体的な取組を推進する。 【新水族博物館を核とした地域活性化事業(調査研究)】(新水族博物館整備課) ○当市に賑わいを生み出す新たな力となる新水族博物館の集客力を地域活性化につなげるため、来館者のニーズや動向等の調査研究を行い、地元関係者への情報提供や周遊ルート等の検討に活用する。	【まちづくり会社交付金事業】(産業振興課) ○新水族博物館を核とした地域活性化検討会を設置し、ワークショップの開催や先進地視察を行い、具体的取組を一部実施した。 検討会7回(ワークショップ4回、指定管理者との意見交換会1回) 先進地視察の視察(群馬県富岡市) 上教大学生によるマップ作成 【新水族博物館を核とした地域活性化事業(調査研究)】(新水族博物館整備課) ○8/13-17 調査実施(1,381枚回収) ○9/19-20 調査実施(328枚回収) ○「新水族博物館を核とした地域活性化検討会」及び関係課に提供
A13	上越市	新水族博物館整備課	新水族博物館整備事業	C-1-1		○新水族博物館基本計画の内容を具体化し、楽しみながら学ぶことができ、まちを元気にする一大集客施設として、新水族博物館を整備する。	○H28.3.15実施設計の完了

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の実績内容	
	担当課						
A13	上越市	産業振興課	直江津まちなかアテナント設置事業	C-1-1	○直江津地区のまちなかの賑わいを創出するため、「直江津まちなかアテナント」を設置し、まちの歴史・文化、イベント等の情報を発信するほか、直江津まちづくり活性化協議会や市民団体等の取組を支援する。	○「直江津まちなかインフォメーションボード」の活用 ○空き店舗等把握調査の実施 ○地元新聞を通じた定期的な情報発信 ○直江津活性化方策の推進に向けた支援 ○まちのイベント等の情報収集、情報発信	
A13	上越市	文化振興課	旧直江津銀行活用事業	C-1-1	○歴史的建造物の保存と活用、次世代への継承を図るため、旧直江津銀行の適正な維持管理と建物公開による活用を促進する。	○耐震診断・耐震改修案検討業務を行うとともに、施設活用に向けた社会実験を行った。	
A13	上越市	都市整備課	高田公園整備事業	C-1-1	○(仮称)厚生産業会館の建設により、新たな交流の核が生まれる高田公園を交流拠点と位置付け、交流を支える施設整備や交流促進に必要なソフト戦略を検討・実施する。	○スポーツセンター前改築工事 ・護岸工 L=48m ・歩道車道整備 L=125m	
A13	上越市	自治・地域振興課	中山間地域支え隊事業	C-1-2	C-2-2	○企業や学校等の多様な主体による地域貢献活動を促進し、「支え隊」(ボランティア)を確保することにより、中山間地域の集落や地区における労力を補完するとともに、市民全体で中山間地域の公益的機能を支えていくための意識醸成を図る。	○派遣実績 ・団体 16団体 ・人数 延べ113人 (当初目標) ・人数 延べ60人
A13	上越市	市民安全課	自主防災組織の結成促進及び活動支援事業	C-1-2	○自主防災組織の実効性ある活動促進に向け、防災士会との連携による研修会等を開催するほか、防災士の資格取得や資機材整備等を支援する。	○自主防災活動の支援として防災アドバイザーを派遣 ○自主防災活動のリーダーとなる防災士の養成 ○防災活動に必要な資機材整備費等の補助金交付 ○自主防災総合研修の開催 ○スキルアップ研修の開催 ○関係部局・区と連携し、自主防災組織が未結成の町内会の現況を把握	
A13	上越市	自治・地域振興課	地域集落支援事業	C-1-2	C-2-2	「中山間地域の暮らしは、地域の支え合いで守る」ため、高齢化や人口減少などにより、維持が困難となっている集落に対して、コミュニティ機能の強化を図り、支え合いや自主的・自発的な地域づくり活動が継続的に行われるよう支援を行う。	○集落づくり推進員の配置 ○集落づくりアドバイザーの派遣 ○ふるさと支え合い等事業補助金 ○地域おこし協力隊の活用 ○地域支え合い体制づくり事業補助金 ○緊急除排雪支援 ○暮らし応援ガイドの作成、配布
A13	上越市	市民安全課	冬期生活安全・安心確保事業	C-1-2	○冬期間における中山間地の生活環境を維持するため、町内会に委託し、生活道路等の除雪や雪処理が困難な高齢者世帯等の見守りなどを実施する。	○全7地区で業務委託に統一して実施し、集落の安全安心を確保	
A13	上越市	自治・地域振興課	地域おこし協力隊を活用した集落支援事業	C-1-2	D-1-1	○総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、地域外の人材を新たな担い手として受け入れ、3年後の定住・定着により地域の維持・活性化を図るため、新たに隊員を配置する地域を拡充する。	○就農希望者が多数集まる「新・農業人フェア」への出展や現地体験(現地見学)等の実施、市や関係団体HPにおける情報発信により募集活動を実施
A13	上越市	自治・地域振興課	移住サポート団体の活動支援事業	C-1-2	D-1-1	○首都圏等から当市への移住を促進させるため、地域住民が設立した移住希望者の定住をサポートする団体が実施する移住体験ツアーに係る経費の一部を補助する。	○移住サポート団体が実施する移住体験ツアーに対する補助
A13	上越市	産業振興課	地域商業支援事業	C-1-2	○人口減少に伴い商店が著しく減少した大島区において、高齢者等交通弱者の買い物の利便性を確保するため、「大島やまざくら」を設置するとともに、買い物弱者向けに移動販売車両を運行する。	○大島やまざくら指定管理業務委託の着実な遂行を図るため、指導・助言等を行った。 ・目標達成に向けた経営指導 ・移動販売車の軽自動車への変更 ○老朽化した備品を更新し、安全な商品販売環境を整備した。 ・ショーケース4台	
A13	上越市	高齢者支援課	高齢者見守り支援ネットワーク事業	C-1-2	○認知症になっても住み慣れた地域で生活していくため、認知症初期集中支援チームの配置や認知症に関する教室を地域で開催し、増加する認知症の支援を強化する。 ○認知症高齢者の見守り支援のためネットワーク会議を開催するほか、見守り協力事業所の登録を行う。	○認知症初期集中支援チームを配置し、関係機関と共に当市の認知症初期の対応についての体制を協議し、連携して事業を推進することができた。 ○認知症高齢者の見守りに特化した見守り支援ネットワーク会議を開催し、関係機関における見守りの取組について協議を行った。	
A13	上越市	自治・地域振興課	地域支え合い体制づくり事業	C-1-2	○地域の暮らしは地域で守るという視点から各区の住民組織等による除雪ボランティア派遣事業の支援を行う。	○補助実績 ・団体数 3団体 ・補助率 10/10 ・限度額 5万円	

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号	事業概要	平成27年度の取組内容	
		担当課					
A13	上越市	社会教育課	公民館地区館事業	C-2-1	○学習活動を通じて、地域づくりを担う人づくりを推進するため、「学びのきっかけづくり」、「すこやかな暮らしの応援」、「未来を支える人づくり」、「行動する人づくり」、「行動している人への支援」の5つの柱で事業を行う。 ○地区公民館を拠点に学習機会を提供し、社会教育や地域づくりの推進を図る。また、講座修了後の自主活動を支援し、協働やまちづくり活動の推進を図る。	○地域の特性を生かしながら、5つの事業方針に沿った事業を実施した。 ○広報上越、市ホームページ、町内回覧、チラシの配架などを通じて、事業の周知に努めた。	
A13	上越市	企画政策課 建築住宅課 健康づくり推進課	域学連携推進事業	C-2-1	○大学と地域の連携促進 大学、地域住民・市民団体等との連携体制の構築を図り、地域の課題解決やまちづくりの推進に取り組む。 ○域学連携のモデル事業として、上越教育大学や新潟県立看護大学との連携により、学生の街なか居住を推進するとともに、上越地域の医療・健康福祉をテーマとした市民フォーラム等を開催する。	○街なか居住に関する、学生や地域への意向調査及び情報収集 ○町家を活かしたまちなか居住プロジェクトとして町家のシェアハウス化に係る10件のモデルプランを作成 ○上越地域の医療・健康福祉をテーマとした市民フォーラムの開催	
A13	上越市	自治・地域振興課	地域協議会の開催	C-2-1	C-2-2	○諮問事項及び自主的審議事項について、審議を行うための会議を開催する。また、地域協議会の運営状況や市政運営等に係る情報共有を図るため、地域協議会会長会議を開催する。	○地域協議会の開催 ○地域との意見交換会の開催 ○新たな自主的審議への取組 ○委員改選に向けた周知、委員募集
A13	上越市	自治・地域振興課	地域活動支援事業	C-2-1	C-2-2	○地域の課題解決や活力向上を図るため、地域活動資金を28の地域自治体に配分し、地域住民の自発的・主体的な取組を推進する。	○地域活動支援事業の募集、補助金交付
A13	上越市	共生まちづくり課	住民組織活動基盤整備事業	C-2-1	C-2-2	○住民組織等が行う地域の活力向上に資する活動を支援し、組織の活動基盤の強化を図る。	○住民組織の活動を支援するため、車両等の備品購入費を補助(13区)
A13	上越市	共生まちづくり課	町内会関係支援事業	C-2-1		○町内会長に対して地域づくりに関する情報及び市政方針を伝える機会を設ける。	○町内会長まちづくりの集いを6/26に開催。町内会長の出席が498人、町内会長以外の参加者が108人となった。
A13	上越市	共生まちづくり課	地域コミュニティ活動サポート事業	C-2-2		○地域コミュニティが抱える課題の解決のきっかけとするため、事業の改善や新たな事業の企画に取り組むための技術・手法を学び、習得するセミナーを開催する。 ○セミナーを受講した団体に対し、課題解決の進捗状況の確認や専門家によるアドバイスなどのフォローアップを行う。	○地域コミュニティが抱える課題解決のため、事業の改善や新たな事業の企画に取り組むための技術・手法を学ぶセミナーを開催
A13	上越市	共生まちづくり課	ボランティア活動推進事業	C-2-2		○市民向けの市民活動体験ツアーによる啓発事業や市民活動団体の交流会、セミナーを通じた情報交換、情報共有を推進する。 ○NPO・ボランティアセンターを拠点にボランティアに関するニーズ情報の収集、提供及びコーディネートを行うほか、市民活動室の提供を行う。	○NPO・ボランティアセンターの業務委託(市民活動、ボランティアの相談やコーディネート、市民活動室等管理、市民活動団体交流会の開催、メール配信、ホームページ管理、子ども向け情報紙発行など) ○新しい公共及び協働に関する職員研修を開催
A13	上越市	新幹線・交通政策課	バス運行対策事業	C-3-1		【バス運行対策費補助金】 ○生活交通を確保するため、上越市生活交通確保計画に位置づけている71系統の路線バスの運行に対し補助金を交付し、バス路線を維持する。 ・国庫補助路線(幹線系統): 4系統 ・国庫補助路線(フィーダー系統): 12系統 ・県単補助路線: 18系統 ・市単補助路線: 37系統 【上越市地域公共交通活性化協議会負担金】 ○上越市総合公共交通計画及び上越市バス交通ネットワーク再編計画に基づき、持続可能な市内公共交通網への再編を進めるとともに、利用者の増加に向けた企画乗車券等の販売促進やわかりやすい情報提供の推進などの利用促進に取り組む。	【バス運行対策費補助金】 ○補助対象 国庫補助路線(幹線系統): 4系統 国庫補助路線(フィーダー系統): 13系統 県単補助路線: 25系統 市単補助路線: 30系統 【上越市地域公共交通活性化協議会負担金】 ○宮口線、上直海線、森本線にデマンド運行導入を決定した。 ○公共交通見直しの実施計画である「上越市バス交通ネットワーク再編計画」を作成した。 ○バスの日フェスタの実施や啓発チラシの頒布など利用促進を行った。 ○高校生アンケートを実施した。
A13	上越市	新幹線・交通政策課	並行在来線対策事業	C-3-1		○在来線の利便性向上と利用促進を図るため、利用環境の改善を鉄道事業者に働きかけるとともに沿線交流の活性化等に取り組む。 ○投資・支援スキームに基づき、えちごきめき鉄道(株)の安定経営に向けた支援を開始する。	○補助要領の制定 ○関係市との調整
A13	上越市	共生まちづくり課	ふるさと上越ネットワーク事業	D-1-1		○新規会員の募集や特産品の通信販売の拡大などJネットの運営及び活動を支援するための交付金を支出する。 ○首都圏をはじめ、大阪、名古屋などの在住者に対し、当市の観光・物産及びイベント情報等を広く発信するため、Jネット会員を通じて関係情報の提供を行う。	○ふるさと上越ネットワークに交付金を支出 (広報上越や上越市のイベントチラシなどを会員に配布、Jネット会員から上越市の専門員や各種委員会委員として協力、上越市PRのための協力、ふるさと市場の運営を通じてJネット会員向けに上越市の米などの特産品を通信販売)

団体ID	団体名		個別事業名	体系番号		事業概要	平成27年度の実施内容
	上越市	担当課					
A13	上越市	自治・地域振興課	上越市ふるさと暮らし支援センター事業	D-1-1		○首都圏の移住や移住体験を希望する方に対する情報発信や相談対応を通じて、多様な地域を有する上越市をPRL、本市への移住者を積極的に迎え入れ、定住につなげる。	○上越市ふるさと暮らし支援センターが核となり、移住サポート団体(市内)や県及びNPO法人ふるさと回帰支援センターとの連携による情報発信、移住相談対応
A13	上越市	広報対話課	広報事業	D-1-1		○掲載内容の充実と適切な更新を行い、的確で速報性の高い行政情報を発信し、市民の市政に対する理解を深めるとともに、イベントや観光施設など本市の魅力等を積極的に全国に発信する。	○各課で作成するページ掲載内容の充実と適切な更新を実施。 ○保守期限を迎えたCMSサーバー等の機器を12月に更新し、あわせて表示項目などを改善。

国の地方創生交付金を活用した事業について

	交付金事業の名称	目的	事業概要	事業費(千円)	評価指標(KPI)					評価(案)
					指標	目標値	単位	目標年月	実績値	
1	就労支援充実事業	若年者の地元定着率の向上及び労働力人口の確保を図るため、関係機関や企業等との連携を強化し、若年者の職業能力の向上と地元就職の促進、UIJターン者の就業支援、障害者の雇用促進などに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○ワーク・ライフ・バランス推進事業(ワーク・ライフ・バランスを推進する企業の資金借入に対する利子補給) ○障害者雇用対策事業(障害者の資格取得に対する補助) ○インターンシップ促進事業(学生の市内企業へのインターンシップを推進するための専門員の配置) ○若手社員定着支援事業(若手社員早期離職防止セミナーの開催) ○高校生資格取得支援補助金(高校生の資格取得に対する補助) ○農福連携障害者就労支援モデル事業(障害者の就労や就労機会の拡大に向けた農業者団体へのニーズ調査、就労のマッチング及び障害者の作業サポート) 	5,123	有効求人倍率(常用)	0.90	倍	H28.3	0.88	・KPIを相当程度達成 ・社会経済状況の外 部要因もあるが、若 手社員の早期離職防 止や定着率向上の取 組が有効であった。
					有効求人倍率(34歳以下常用)	0.95	倍	H28.3	1.01	
					高校新卒者の地元就職割合	79	%	H28.3	78.6	
2	ものづくり産業・商業振興事業	域内消費の維持、商店街の活性化、企業の業況等の安定化を図るとともに、地域内経済循環を高めるため、地域に根付いたものづくり産業や商業者はもとより市民全体が関わる仕組みを構築し、地域資源をいかした優れた商品・特産品の開発、PR、販路拡大を一体的に支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ○メイド・イン上越推進事業(地域資源をいかした優れた商品の認証審査会の開催、認証品の磨き上げと“選ばれる上越産品”づくり等) ○中小企業研究開発支援事業(中小企業等の研究開発の補助) ○発酵食品研究開発支援事業(発酵食品の開発や既存商品の磨き上げ、販売促進を行う団体への支援) ○eコマース活用事業(企業等のネットショップ開設・ネットモール出店の経費補助等) ○地域商業活性化事業補助金(商工団体等が実施するイベントや商店街等の利用を高める取組の補助) ○地域エネルギー活用事業(雪を活用した事業展開の手引書の作成、雪むろ食品推進団体への補助) 	13,138	新商品・新技術の開発・市場化の支援件数	4	件	H28.3	4	・KPIを達成 ・メイド・イン上越推進 事業や、eコマース活 用事業など、今年度 に拡充又は新規で実 施した事業が有効で あった。
					メイド・イン上越認証品数	69	品	H28.3	75	
					新規でのeコマース参入事業者数	10	事業者	H28.3	12	
					商店街等の活性化イベントの支援件数	12	件	H28.3	13	
3	物流・貿易振興事業	陸・海の広域交通網や上越沖日本海のメタンハイドレートの存在、直江津港の物流・貿易面等での拠点機能を最大限発揮し、地域経済の発展につなげていくため、国際的な製品競争力の向上や直江津港の利用促進などに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○上越国際ビジネス研究会(市内企業を対象とした海外取引の現状・意向調査、研修会開催) ○上越沖メタンハイドレート商業化促進事業(メタンハイドレートの理解促進・啓発チラシの作成) ○港湾振興企画事業(直江津港に寄港する外貿定期コンテナ航路を利用する荷主企業に対する補助) 	1,924	コンテナ船の仕向け地航路数	3	航路以上	H28.3	3	・「外貿定期コンテナの取扱量」のKPIの未達成は、中国経済の成長鈍化が要因にある。港湾サービスの利便性向上が必要である。
					外貿定期コンテナの取扱量	3.3	万個	H28.3	2.9	
4	新産業・ビジネス機会創出事業	地場産業の新陳代謝を進め、自立性の高い地域経済を構築していくため、商工団体、経済団体及び金融機関と連携し、新規創業者の創業支援、ビジネスチャンスの拡大に向けた支援等などに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○創業の促進(創業者に対する融資額の利子相当額の補助、創業セミナーの開催) ○見本市等出展事業補助金(市内中小企業等の市外での見本市や商談会等への出展費用の補助) ○園芸振興事業費補助(園芸品目の栽培面積拡大や品質向上に取り組む農業者の支援) 	3,348	創業支援件数	45	件	H28.3	269	・KPIを相当程度達成 ・経済団体や金融機 関と連携した創業の 促進の取組が有効で あった。
					創業件数	16	件	H28.3	100	
					見本市等への出展支援件数	20	件	H28.3	10	
5	観光振興事業	海外を含む観光誘客の増加を図るため、新潟県や近隣自治体等と連携し、観光資源の魅力発信、「新水族博物館」等の新たな地域資源の活用、市内外の観光スポットをつなぐ回遊性の向上などに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○「越五の国」インバウンド推進事業(外国人観光客のニーズ等調査を基にしたモデルコース造成及び受入体制構築) ○観光インフォメーション利用環境整備事業(現地観光ガイドサービスホームページ作成) ○食の魅力発信イベント(大規模イベントを開催する実行委員会への補助) ○「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業(おもてなし武将隊による観光客受入体制の整備) ○公衆無線LAN整備事業(高田公園や水族博物館等の利用者の多い観光等施設への公衆無線LANの整備) ○新水族博物館を核とした地域活性化事業(来館者のニーズや動向等の調査研究、まちづくり会社によるワークショップの実施等) 	33,323	市内への観光客入込数	6,600	千人	H28.3	5,380	・インバウンドや観光 インフォメーションの 環境整備の取組は有 効であり、それらの取 組の一層の強化が必 要である。
					市内宿泊施設の定員稼働率	38.1	%	H28.3	33.1	

国の地方創生交付金を活用した事業について

交付金事業の名称	目的	事業概要	事業費(千円)	評価指標(KPI)					評価(案)
				指標	目標値	単位	目標年月	実績値	
6 交流機会拡大事業	コンベンションを通じた交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、広域からの誘客促進や市内での回遊性の向上、各種スポーツ大会やコンベンション等の誘致に取り組む。	○地区別各種団体等への補助金、負担金(上越観光コンベンション協会による各種コンベンションの開催誘致活動の強化、観光の二次交通の確保等の取組に対する補助)	45,854	100人以上の宿泊を伴うコンベンションの誘致件数	8	件	H28.3	7	・KPIを相当程度達成 ・継続的な取組が必要である。
7 子育てに関する負担や不安の軽減事業	子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じられるまちの実現を図っていくため、妊娠・出産への支援や、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげるための各種支援や仕組みづくりに取り組む。	○不妊治療費助成事業(不妊治療費の助成) ○就学支援委員会(こども発達支援センターの機能強化のため、就学アドバイザーを新たに配置)	6,052	不妊治療費の助成件数	120	件	H28.3	201	・KPIを達成 ・不妊治療の助成が特に有効であった。
				子どもの発達や子育てに不安を抱える保護者からの就学相談の対応件数	180	件	H28.3	189	
8 地域コミュニティ活動促進事業	高齢化の進行等に伴うまちづくりの担い手の不足を解消し、地域の活性化を図るため、人と地域のつながりを再構築するための仕組みづくり、地域を支える人材・団体の育成、域学連携などに取り組む。	○公民館事業(市民の学びの輪が人を育み地域を支えるまちの実現に向けた講座等の開催、公民館協力員の配置) ○地域コミュニティ活動サポート事業(地域コミュニティが抱える課題を解決するための技術・手法を学ぶセミナーの開催) ○中山間地域支え隊事業(企業・学校等から労力が不足する中山間地域集落・地区へのボランティア派遣) ○域学連携推進事業(街なかでの学生居住に向けた空家・ニーズの調査、地域住民と学生による空家改修案のワークショップの開催、医療・健康福祉をテーマに地域づくりを推進するための専門家による公開講座の開催補助)	48,236	元気の出るふるさと講座受講者数	660	人	H28.3	922	・KPIを相当程度達成 ・新規事業が多いため、継続が必要である。
				支援により地域コミュニティ活動が始まる地区数	3	地区	H28.3	2	
				中山間地域支え隊の派遣数	60	人	H28.3	113	
9 雪冷熱エネルギーを活用した雪室食品の地域ブランド化事業	農業者や食品関連事業者の所得向上と雇用創出を図ることで地域産業の振興につなげるため、「雪室推進プロジェクト」が推進主体となり、付加価値の高い雪室商品を開発する。	○雪室改修事業(雪室推進プロジェクトの参加事業者が商品開発に利用する雪室の改修工事費を補助) ○雪室推進セミナー事業(雪室推進プロジェクトによるセミナー開催を補助)	11,873	雪室食品の開発に取り組む食品関連事業者	5	事業者	H28.3	8	・KPIを達成 ・雪室商品の開発と市場開拓の取組を推進すべき。
				雪室推進セミナーに参加する食品関連事業者等	50	事業者等	H28.3	67	
10 観光プロモーション強化事業	観光客の増加を図るため、上杉謙信など戦国武将ゆかりの地としての歴史・観光資源を活用した新たな観光プロモーション等を実施する。	○上杉謙信その他観光資源をテーマとした観光プロモーション車両の製作、ポスター等宣伝物作製 ○観光PRや観光客へのおもてなしを担う武将隊スタッフの演武用及び観光客の着用体験用の甲冑等の作製	10,000	春日山城跡入込客数の増	5,000	人	H28.3	7,513	・KPIを達成 ・甲冑の着用体験が観光客に人気であり、特に有効であった。
合計(総合戦略策定事業費667千円を含む。)			179,538	—					